

第5期横浜市障害者プラン策定の概要について

1	趣旨	2
2	計画期間	3
3	第5期計画の方向性	4
4	障害施策等の関連データ	7
5	市民の皆様からの意見等	8
6	策定スケジュール	10
	参考1～3	11

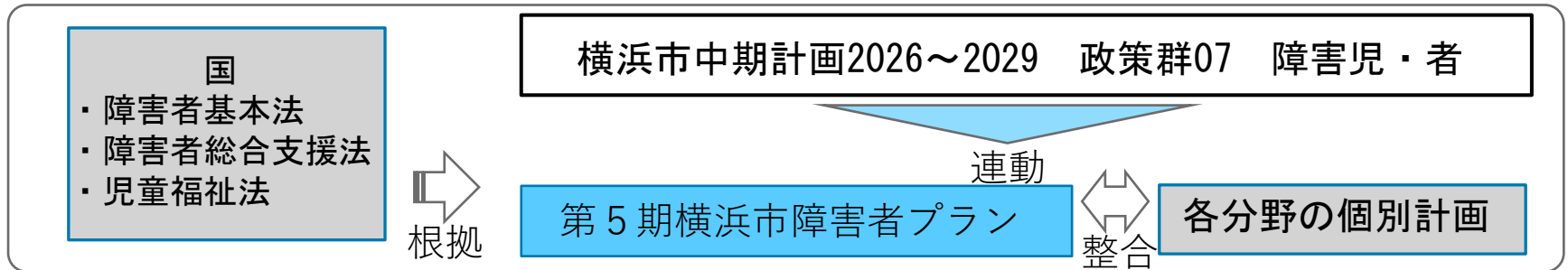
・第5期横浜市障害者プラン作成のための当事者向けアンケート結果報告書

1 趣旨

「横浜市障害者プラン」は、障害者基本法第11条に基づき市町村に策定が義務づけられた障害者施策の基本計画である「障害者計画」と、障害者総合支援法第88条に基づく「障害福祉計画」及び児童福祉法第33条に基づく「障害児福祉計画」の3つの計画を、一体的に作成したものです。

このたび、令和8年度をもって現行の第4期計画の期間が終了となるため、第5期計画を策定します。

計画の策定にあたっては、現在策定を進めている中期計画を上位計画とし、「横浜市地域福祉保健計画」、「こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン」、「第5期横浜市教育振興基本計画」など、他の関連する個別計画との整合性を図り、策定します。



2 計画期間

令和9年度から14年度（6年間）

この計画に基づき、6年間の施策の方向性及び個別の事業等を定めます。

また、障害福祉計画及び障害児福祉計画において、3年間のサービス利用の見込量等を定めます。

障害福祉計画及び障害児福祉計画は計画期間が3年と定められていますので、第5期障害者プランの中間期に見直しを行い、改定します。

年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	
名称	第5期横浜市障害者プラン						
構成	障害者計画（障害者基本法）						
	障害福祉計画（障害者総合支援法）			見直し	障害福祉計画（障害者総合支援法）		
	障害児福祉計画（児童福祉法）				障害児福祉計画（児童福祉法）		

(※) サービス利用の見込量とは…各自治体が今後3年間に必要となる障害児・者の福祉サービスや事業の量を、実績から見込んで設定するもの。

3 第5期計画の方向性

(1) 現状・課題

障害のある方の増加により、障害福祉サービス等にかかるニーズのさらなる増加が見込まれています。

一方で、国の制度やサービスの充実が進み、これまで横浜市が独自に実施してきた事業は、国のサービス等により補完されるようになってきました。

こうした中であっても、保健・医療との連携の強化や、児童から成人期までのライフステージを通じた切れ目のない支援の充実、重度の障害のある方等が地域で安心して暮らし続けるための仕組みづくりなどについては、依然として十分とは言えない状況にあります。

さらに、サービス利用量の増加に伴い、サービスの質や適正な供給量の確保のほか、人材不足といった課題も生じています。

(2) 施策の方向性

現状や課題を踏まえ、障害のある方もない方も、暮らしやすいまちになっていることが実感できるよう、様々な施策・事業を検討していきます。また、障害福祉制度が持続可能な仕組みとなるような取組も検討します。

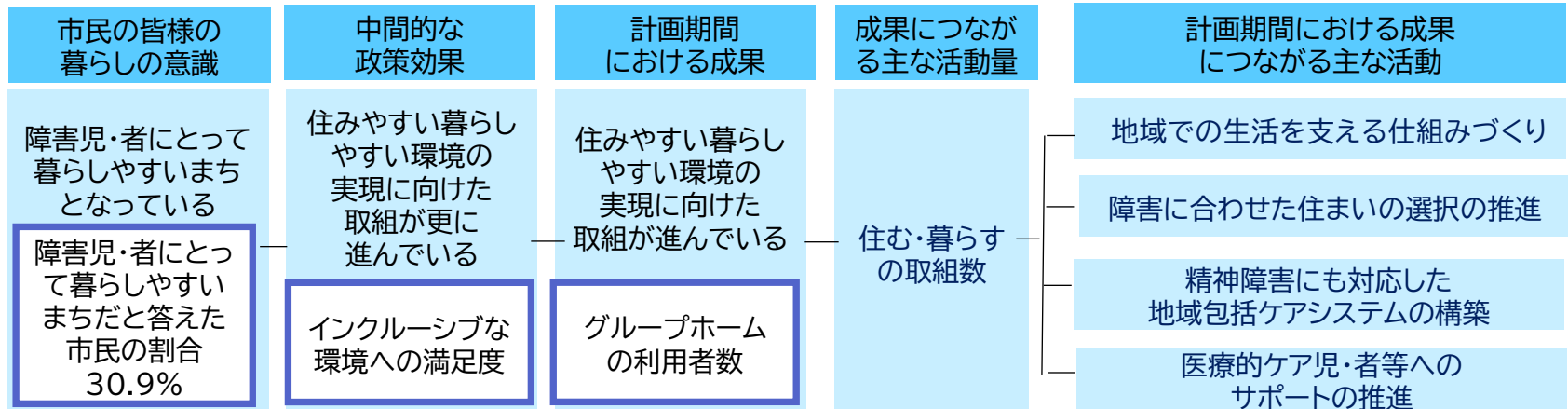
<検討テーマ例>

- ・乳幼児期から成人期に至るまでの切れ目のない支援
- ・グループホームや就労支援など、地域生活を支える取組
- ・障害理解や差別解消に関する取組
- ・福祉サービス事業所の自立的な経営に向けた取組
- ・サービスの質や適正な供給量の調整に向けた取組 等

(3) 計画のポイント

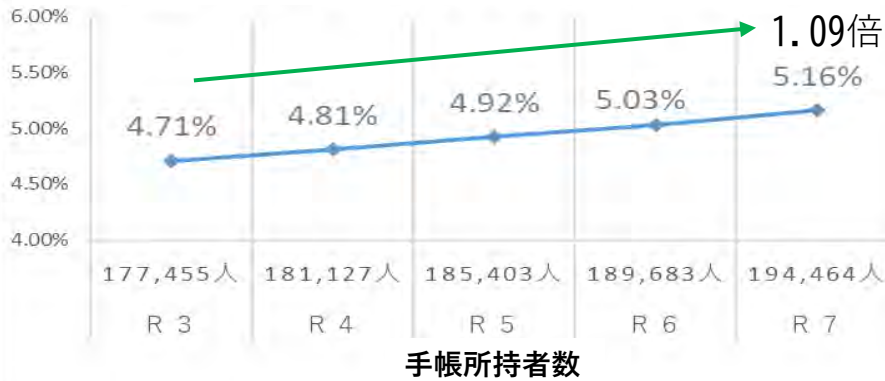
- ・ 障害当事者からのご意見や、支援者・市民の皆様からのご意見など、幅広い意見を参考に検討を進めます。
- ・ 「市民の実感」を上位の指標とした、ロジックモデルを活用した計画とします。
- ・ サービス利用の見込量については、地域の実情や需給バランスを分析し、適正な目標値を設定します。

【参考】「住む・暮らす」に関する施策についてのロジックモデル一例

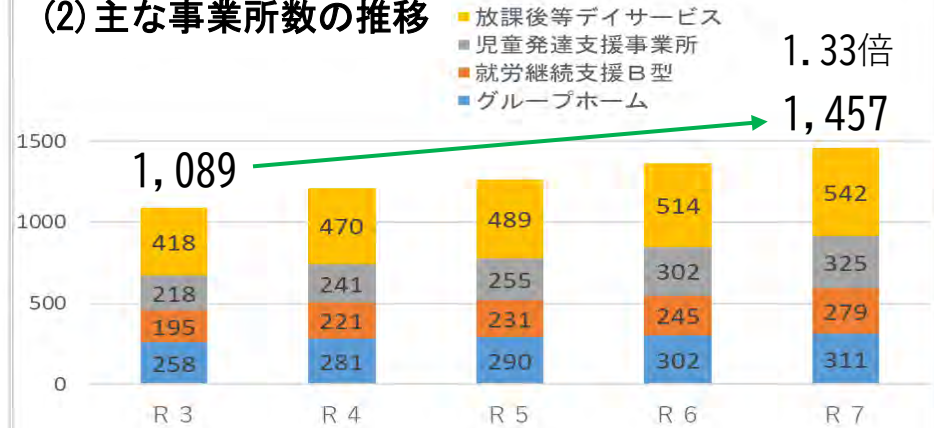


4 障害施策等の関連データ

(1) 横浜市人口における手帳所持者数の割合の推移

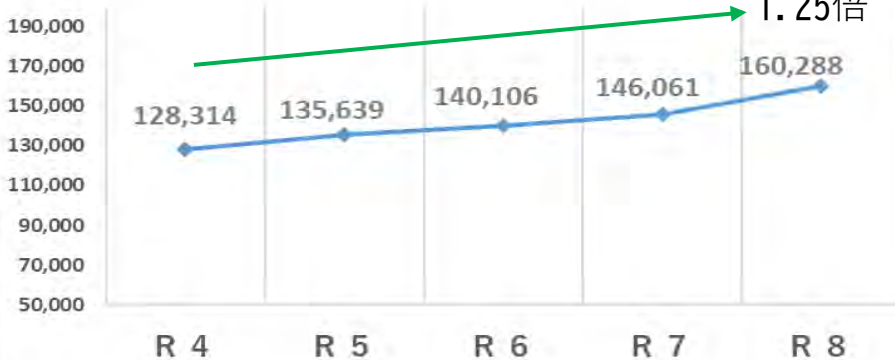


(2) 主な事業所数の推移



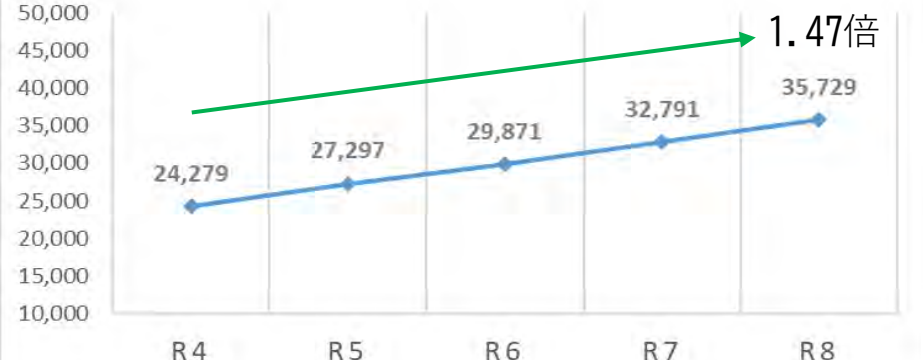
(3) 障害福祉費予算額の推移

(百万円)



(4) 障害児福祉費予算額の推移

(百万円)



5 市民の皆様からの意見等

(1) これまでにいただいたご意見

ア 中期計画素案に対するパブリックコメント（障害児・者）【抜粋】

「障害のある方の支援は、お子さんから大人になるまで切れ目なく行ってください。」

(切れ目のない支援に関する同意見他21件)

イ 障害者プランの策定に向けて実施した当事者向けアンケート等

(ア) 質的調査

実施内容：障害当事者や当事者団体等に、グループインタビュー等を実施し、抱えている課題などについて、意見を聴取。

実施期間：令和7年6月～令和8年2月

実施回数（人数）：39回（376人）

(イ) 量的調査

実施内容：障害者手帳の所持者（身体・知的・精神）及び難病の方、計19万人のうち、10%の1.9万人を無作為抽出し、アンケート形式で調査を実施。

実施期間：令和8年1月～2月

回答数（回収率）：6,622人（34.9%）

○当事者向けアンケート【抜粋】

Q 将来どこに住みたいか

①自宅 79.7% ②グループホーム 6.6% ③障害者の入所施設 3.1%

Q 将来の理想の社会や生活のために必要なこと

①必要なときに十分な介助が受けられる	37.9%
②困ったときの相談体制が整っている	31.8%
③安心して住めるところがある	31.3%
④介助に必要な経済面での支援が受けられる	30.9%
⑤健康管理や治療・リハビリを受けやすい	20.5%
⑥災害時に安全が確保できる	20.3%
⑦周囲の人が理解してくれる	18.5%
⑧自分に適した学校や就職が選択できる	18.5%

必要とされている取組・事業

- ・切れ目のない支援
- ・障害福祉の人材確保
- ・福祉施設から地域移行するため、介助・相談・住まいの確保と維持
- ・障害理解の普及啓発
- ・進学・就職先や選択の支援

(2) 今後いただくご意見

パブリックコメントや市民説明会を実施するなど、幅広くご意見をいただいております。

6 策定スケジュール

時期		内容
令和8年	5月	第2回市会定例会 (計画策定の概要、当事者アンケートの調査結果概要等)
	9月	第3回市会定例会 (計画素案) ※議会基本条例に基づく議決事件に該当するかご判断いただく予定です。
	9月～10月	市民説明会、パブリックコメント実施
	12月	第4回市会定例会 (パブリックコメント結果報告)
令和9年	2月	第1回市会定例会 (計画原案)
	3月	計画策定

【参考1】グループインタビュー等での主な意見（質的調査）

項目	意見要約	件数
障害理解・啓発	障害理解促進や差別解消のため、啓発活動とインクルーシブ教育の充実、地域や学校での学びと交流の場が必要。	89
人材確保・処遇改善	福祉人材の確保と育成、待遇改善や職場環境の整備が必要。	87
住まいの確保、質向上	住まいや居場所の確保、質の向上、親亡き後の安心できる支援体制の整備が必要。	74
相談支援体制の整備・充実	相談支援体制の整備・充実、連携強化や利用者が使いやすい仕組み作りが必要。	63
制度・サービスの見直し	制度・サービスの見直しや簡素化、ICT活用による効率化と利便性向上が必要。	58
就労支援の充実、企業の理解促進と合理的配慮	就労支援の充実や雇用環境の改善、企業の理解促進と合理的配慮の徹底が必要。	47
移動の利便性と支援の充実	移動や交通機関の利便性向上、バリアフリー化の推進、割引や制度の充実が必要。	46
医療と健康の支援	医療・健康支援の充実、予防・健康維持の仕組みが必要。	43
障害福祉分野の負担軽減と報酬改定	障害福祉分野における費用負担の軽減、助成金拡充、報酬改定の実施が必要。	42
人材育成支援	職員や支援者の質向上のため、研修や人材育成支援の充実が必要。	37
サービス・制度の周知	サービス・制度の拡充と周知、情報発信や利用促進の仕組み作りが必要。	34
ライフステージ間の連携	児・者・高齢の各ライフステージ間での連携強化や支援のスムーズな引継ぎが必要。	34

【参考2】アンケート調査結果の概要（量的調査）回答者6,622人

（1）生活の困りごと（手続き・制度・サービス、外出）

「困ることがある」（複数回答）	
①役所や病院、銀行などの手続きが難しい	36.3%
②制度やサービスがわかりにくい	34.8%
③外出が困難	33.0%

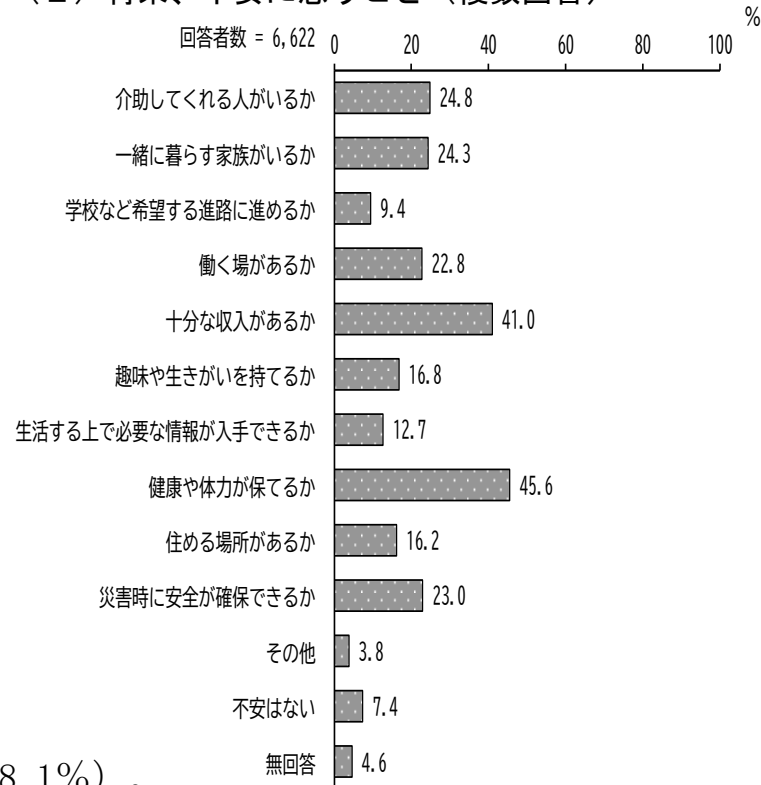
（2）将来、不安に思うこと（健康、収入、介助）

「将来、とくに不安を感じること」（複数回答）	
①健康や体力が保てるか	45.6%
②十分な収入があるか	41.0%
③介助してくれる人がいるか	24.8%

（3）就労状況

- ・現在働いている方2,834人(42.8%)のうち、
「今後も今の仕事を続けたい」方の割合は64.3%。
- ・現在働いていない方3,314人(50.0%)のうち、
「今後働きたい」意向を持たれている方は、1,261人(38.1%)。

（2）将来、不安に思うこと（複数回答）



【参考3】 これまでにいただいたその他の市民の皆様からの意見（地域の関係者など支援者からの意見）

項目	意見要約	件数
相談支援体制の充実・整理	計画相談・基幹相談・二次相談などの相談支援機関の役割が分かりにくく、どこに相談すればよいか迷う状況がある。相談員の数や質を高め、ワンストップで切れ目なく支援につながる体制を整えてほしい。	40
人材不足・人材育成・処遇改善	支援者やヘルパーが慢性的に不足しており、賃金や報酬が見合っていない。研修やOJTを充実させ、安心して働き続けられる環境を整えて人材の定着を図りたい。	35
グループホームの量・質の拡充	グループホームの数が足りず、特に重度障害や高齢期に対応できる施設が少ない。職員体制や支援の質にばらつきがあり、安心して暮らせる環境整備が必要。	30
ライフステージを切れ目なくつなぐ支援	学齢期から成年期、高齢期への移行時に支援が途切れやすい。制度変更時の情報引き継ぎや移行期の支援を強化し、切れ目のない支援体制を構築してほしい。	30
医療アクセス・医療と福祉の連携	障害特性を理解し、診断書対応や通院支援をしてくれる医療機関が少ない。医療と福祉が連携し、通院同行や継続的な支援が受けられる体制が必要。	25
住まいの選択肢・居住支援の拡充	一人暮らしやグループホームなど住まいの選択肢が限られており、物件が借りにくい現状がある。親亡き後も含め、安心して住み続けられる居住支援が必要。	25
安全・安心（災害・緊急時対応）	災害時や夜間・休日に対応できる行き場や支援体制が不足している。緊急時でも安心して支援につながる仕組みや受け入れ先の確保が必要。	20
障害理解・啓発（地域・企業）	見えない障害に対する理解が十分でなく、地域や企業での配慮が行き届いていない。ヘルプマークや制度の周知を進め、共生への理解を深めたい。	20
働く場・就労の柔軟な選択肢	短時間就労や体調に合わせた柔軟な働き方ができる職場が少ない。雇用率ありきではなく、一人ひとりに合った働く場の拡充が必要。	20
余暇・居場所・社会参加の場	働くこと以外にも、安心して過ごせる居場所や楽しめる場が不足している。当事者やピア同士がつながれる社会参加の機会を増やしたい。	18

だい き よこはまししょうがいしゃ さくせい
第5期横浜市障害者プラン作成のための
とうじしゃ む
当事者向けアンケート

けっかほうこくしょ
結果報告書

ぜんたいほうこく
全体報告

れいわ ねん がつ
令和8年3月
よこ はま し
横 浜 市

もくじ

I	<u>調査の概要</u>	1
1	<u>調査の目的</u>	1
2	<u>調査対象</u>	1
3	<u>調査方法</u>	1
4	<u>調査期間</u>	1
5	<u>回収状況</u>	1
II	<u>調査結果</u>	2
	はじめに、このアンケートを <u>記入</u> される <u>方</u> についておたずねします.....	2
	あなたやあなたのご <u>家族</u> のことについておたずねします.....	3
	あなたの <u>地域</u> での <u>生活状況</u> についておたずねします.....	23
	<u>近所の人</u> とのおつきあいや <u>余暇</u> についておたずねします.....	38
	<u>医療</u> と <u>健康</u> についておたずねします.....	51
	<u>災害関係</u> についておたずねします.....	55
	その他、 <u>自由意見</u> など.....	57

I 調査の概要

1 調査の目的

横浜市では障害福祉施策の方向性や福祉サービスの必要量を定める「横浜市障害者プラン」を策定している。令和9年度から令和14年度までの6年間を期間とする「第5期横浜市障害者プラン」を策定するため、障害者手帳をお持ちの方々の生活状況の把握やご意見を聴くことを目的にアンケートを実施した。

2 調査対象

令和7年12月現在、「身体障害者手帳をお持ちの方」、「愛の手帳をお持ちの方」、「精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方」、「障害者総合支援法の福祉サービスを利用している、障害者総合支援法対象疾病の患者の方」のうち、約10%の方19,000人を無作為抽出。

3 調査方法

郵送または横浜市電子申請・届出システム（以下、「システム」という。）によるアンケート形式

4 調査期間

郵送回答：令和8年1月14日～令和8年2月6日
システム回答：令和8年1月22日～令和8年2月11日

5 回収状況

アンケート配布数 19,000通
回収数 6,622件
回収率 34.9%

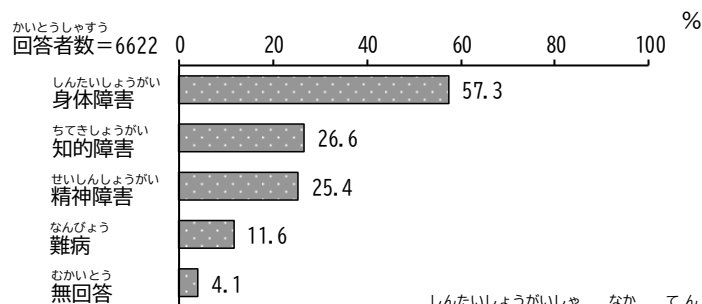
回答方法	配布数	回収数
郵送	19,000通	4,949件
システム		1,673件

※集計結果の見方

①数値はそれぞれ割合(%)を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている。

全体 (n=6,622)

身体障害者 (n=3,793)、知的障害者 (n=1,760)、精神障害者 (n=1,679)、難病 (n=769) 注：重複有



(身体障害者の中で点字回答1件)

②複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

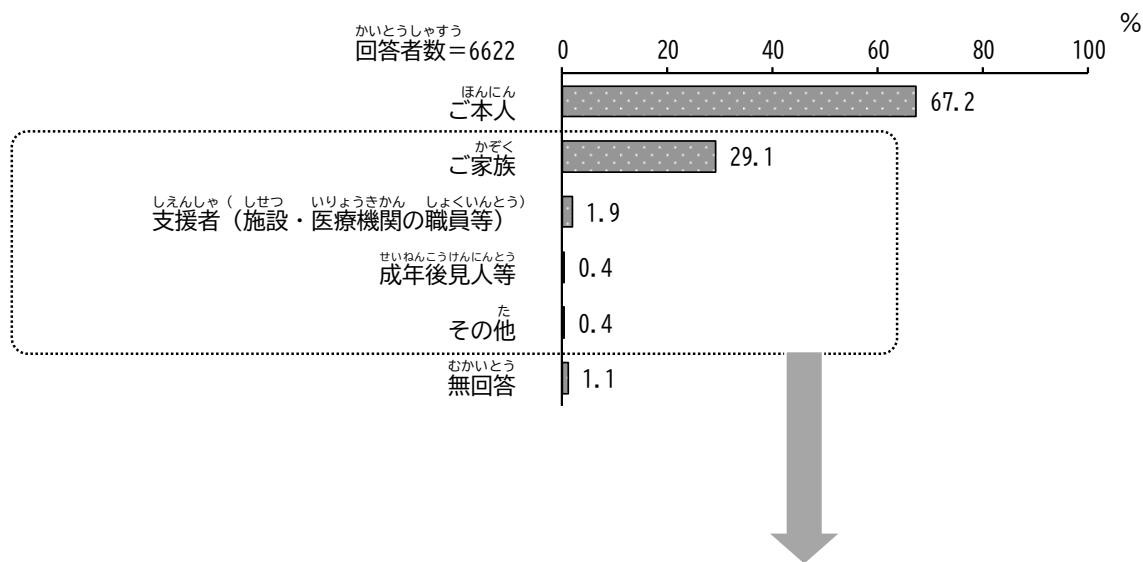
③回答者の属性別（居住、居住形態など）の回答状況を示す表（クロス集計）を掲載した。また、クロス表中で、選択肢の中で第1位の項目について網掛にしている。

II ちょうさけっか 調査結果

はじめに、このアンケートを記入される方についておたずねします

問1 このアンケートはどなたが記入されますか。(○は1つだけ)

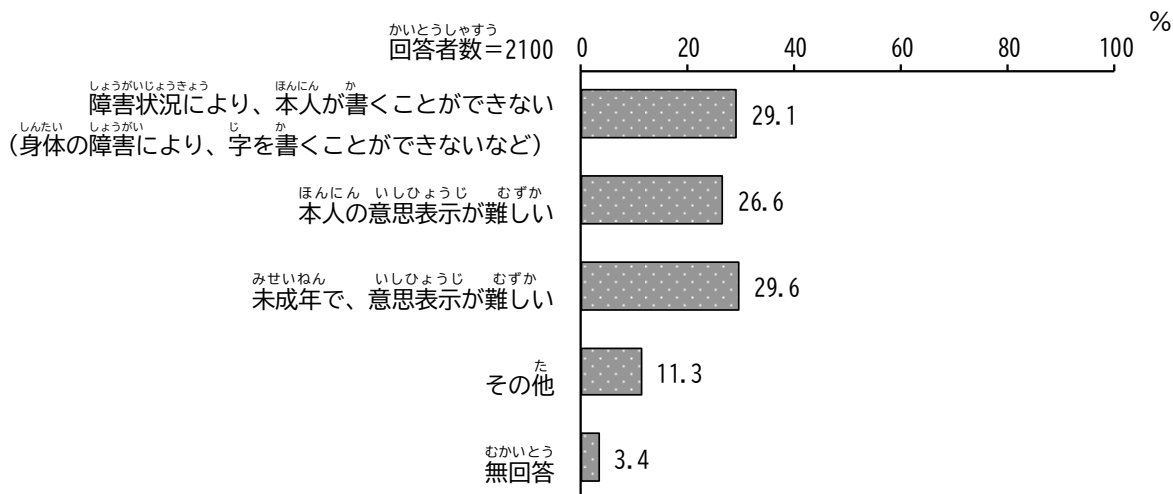
「ご本人」の割合が67.2%と最も高く、次いで「ご家族」の割合が29.1%となっています。



問1で「ご家族」から「その他」を選んだ方にうかがいます。

問1-1 本人以外の方が記入するのは、どのような状況からですか。(○は1つだけ)

「未成年で、意思表示が難しい」の割合が29.6%と最も高く、次いで「障害状況により、本人が書くことができない」の割合が29.1%、「本人の意思表示が難しい」の割合が26.6%となっています。

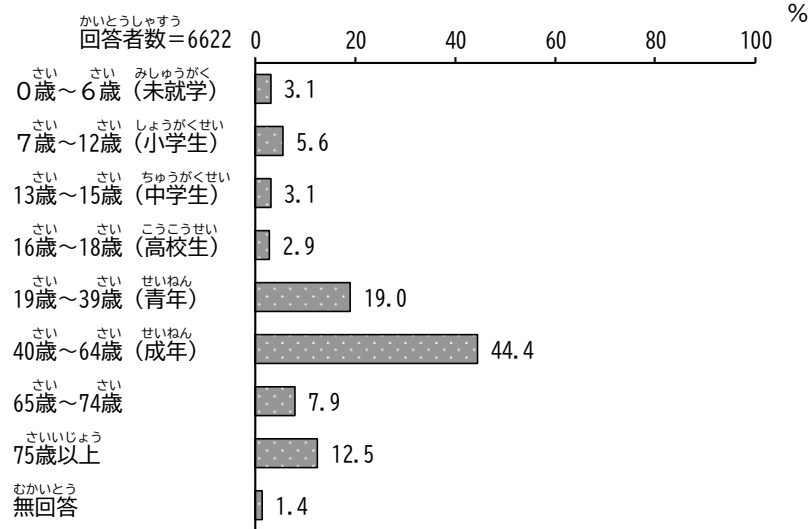


あなたやあなたのご家族のことについておたずねします

この後の質問で、「あなた」とは障害者本人のことです。

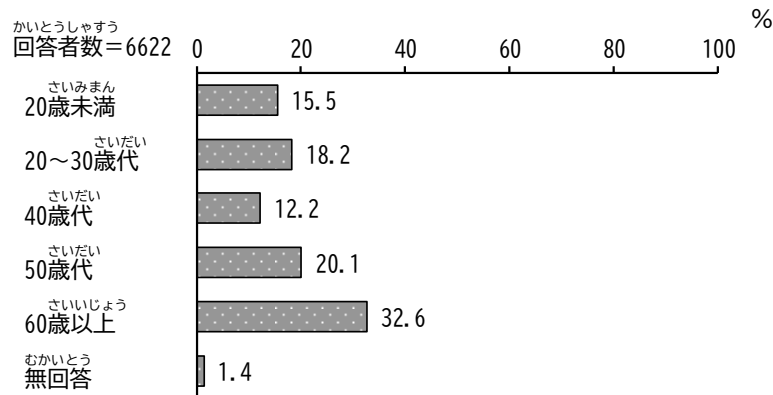
問2 あなたの年齢（歳）

「40歳～64歳（成年）」の割合が44.4%と最も高く、次いで「19歳～39歳（青年）」の割合が19.0%、「75歳以上」の割合が12.5%となっています。



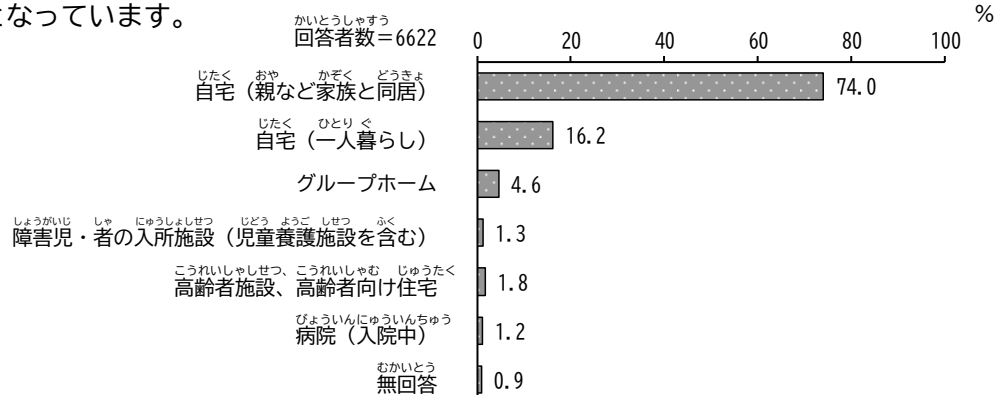
年代別

「60歳以上」の割合が32.6%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が20.1%、「20～30歳代」の割合が18.2%となっています。



問3 あなたは現在どこで暮らしていますか。（○は1つだけ）

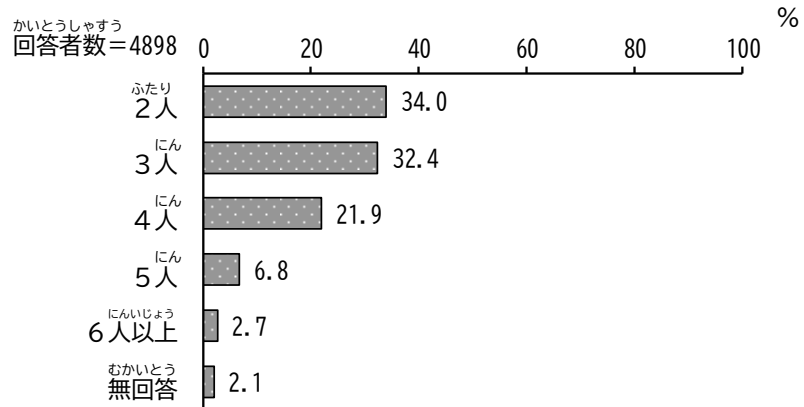
「自宅（親など家族と同居）」の割合が74.0%と最も高く、次いで「自宅（一人暮らし）」の割合が16.2%となっています。



問3で「自宅（親など家族と同居）」を選んだ方にうかがいます。

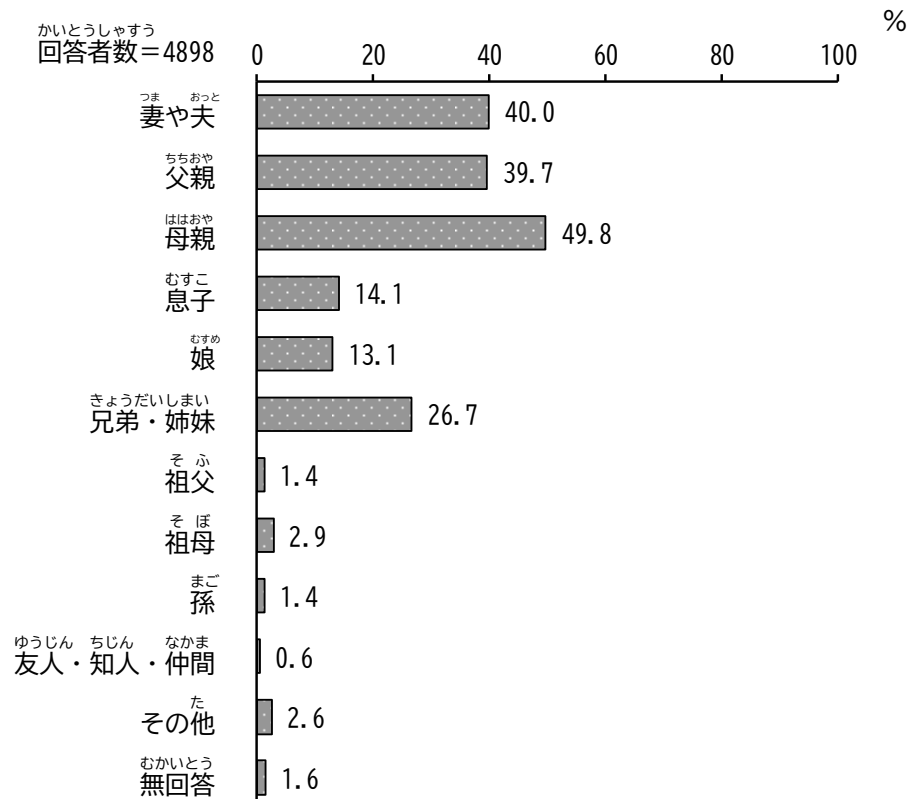
問3-1 自宅で暮らしている場合、一緒に暮らしている人はあなたを含めて何人ですか。
(○は1つだけ)

「2人」の割合が34.0%と最も高く、次いで「3人」の割合が32.4%、「4人」の割合が21.9%となっています。

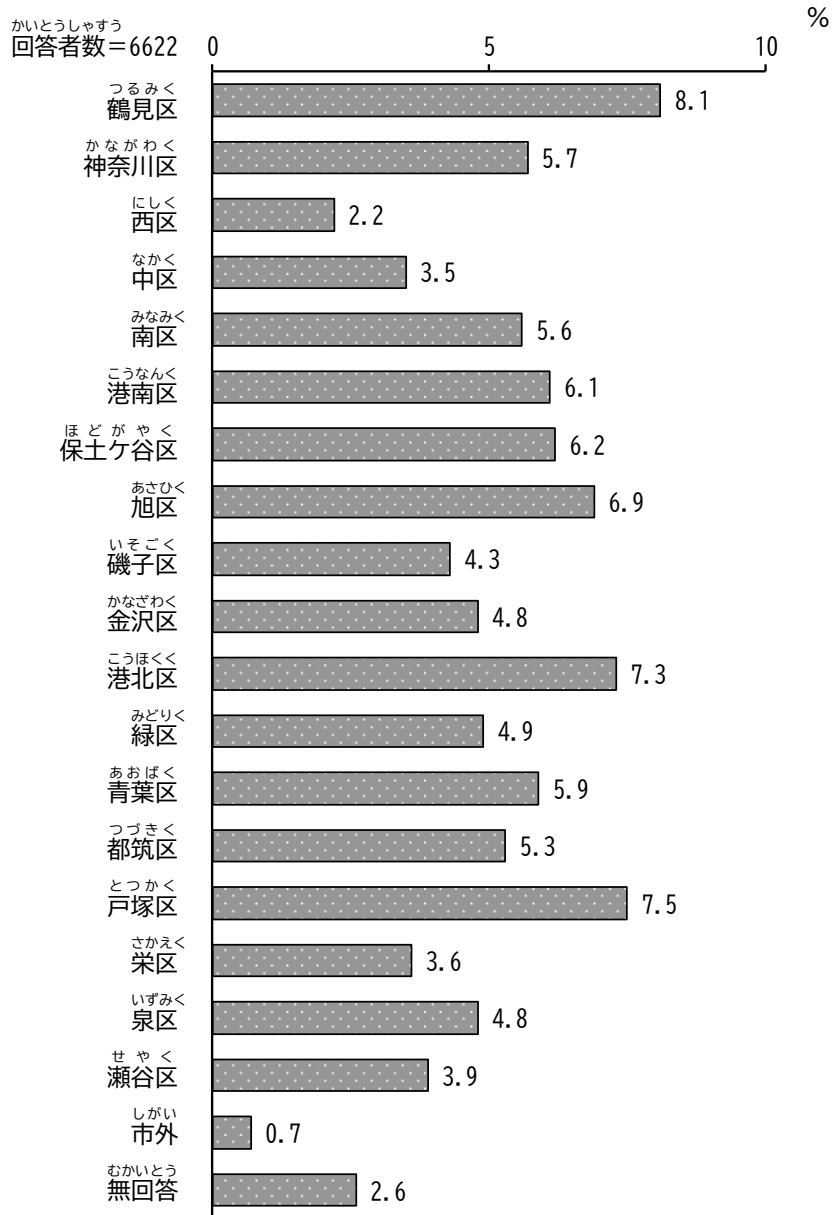


問3-2 あなたと一緒に暮らしている方すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「母親」の割合が49.8%と最も高く、次いで「妻や夫」の割合が40.0%、「父親」の割合が39.7%となっています。

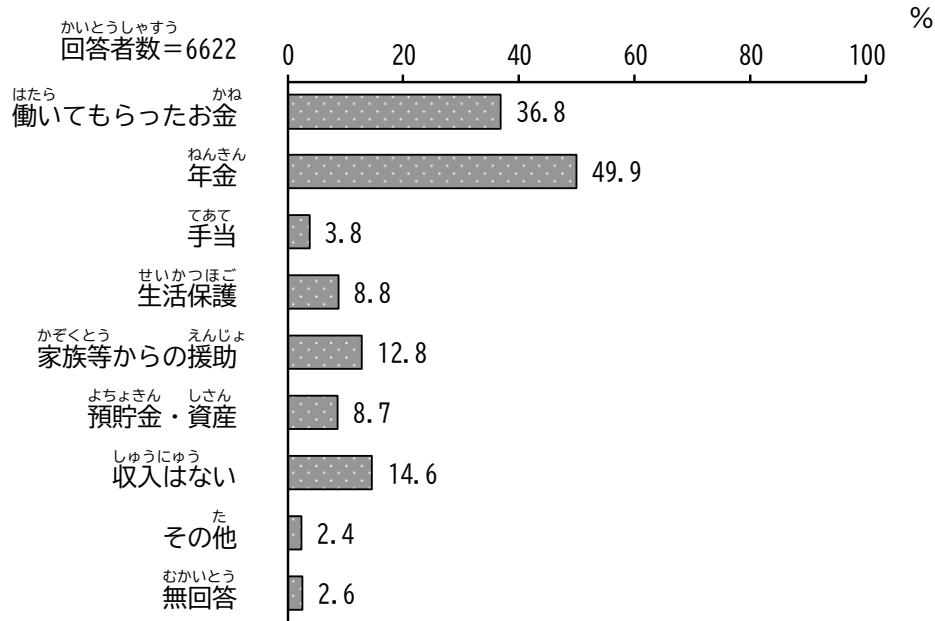


問4 あなたが現在暮らしているのは何区ですか。(○は1つだけ)



問5 あなたの収入源は何ですか。(○はいくつでも)

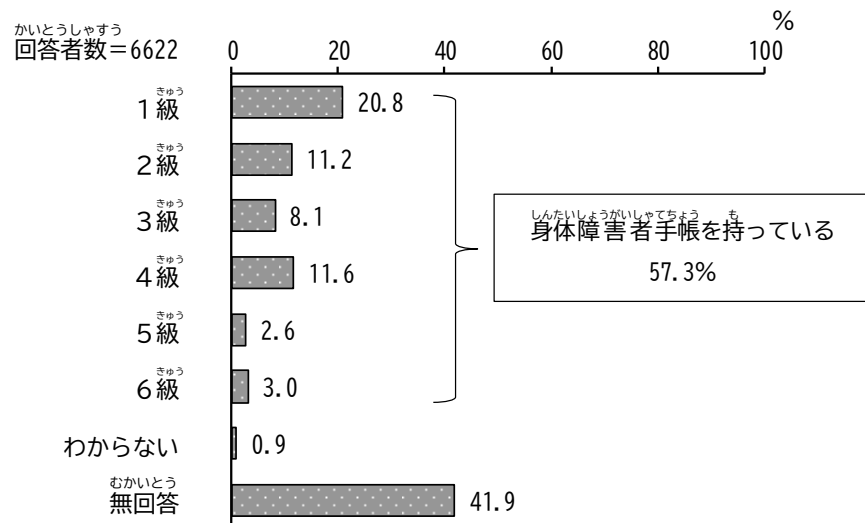
「年金」の割合が49.9%、「働いてもらったお金」36.8%、「家族等からの援助」12.8%の順に高くなっています。一方、「収入はない」の割合は14.6%となっています。



身体障害者手帳をお持ちの方は問6、愛の手帳をお持ちの方は問7、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は問8、をお答えください。複数にあてはまる方は、それぞれお答えください。

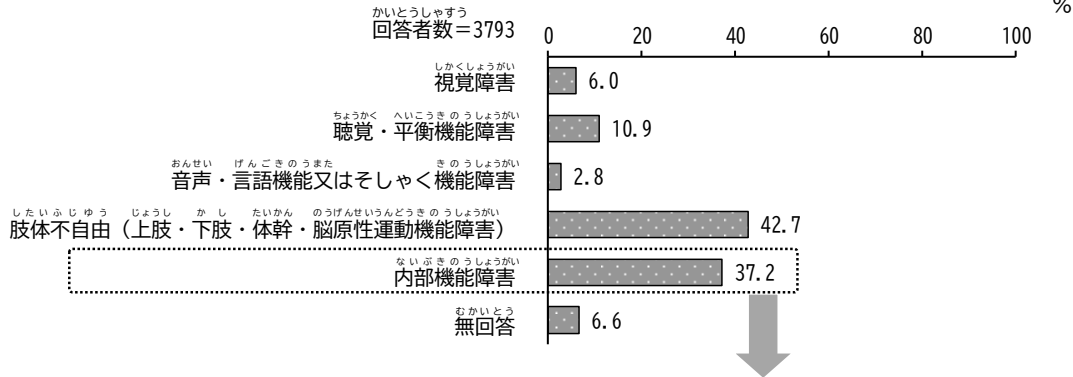
問6 あなたは「身体障害者手帳」をお持ちですか。お持ちの方は、「身体障害者手帳」に記載された現在の障害の程度をお答えください。(○は1つだけ)

「身体障害者手帳」を持っている方は、全体の57.3%、「身体障害者手帳」の障害の程度は、「1級」の割合が20.8%と最も高く、次いで「4級」の割合が11.6%、「2級」の割合が11.2%となっています。



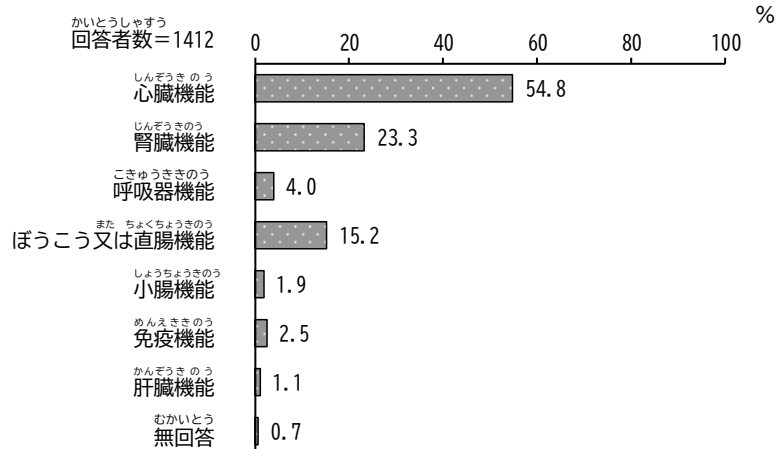
問6-1 「身体障害者手帳」をお持ちの方は、記載されている項目に○をつけてください。(○はいくつでも)

「肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳原性運動機能障害)」の割合が42.7%と最も高く、次いで「内部機能障害」の割合が37.2%、「聴覚・平衡機能障害」の割合が10.9%となっています。



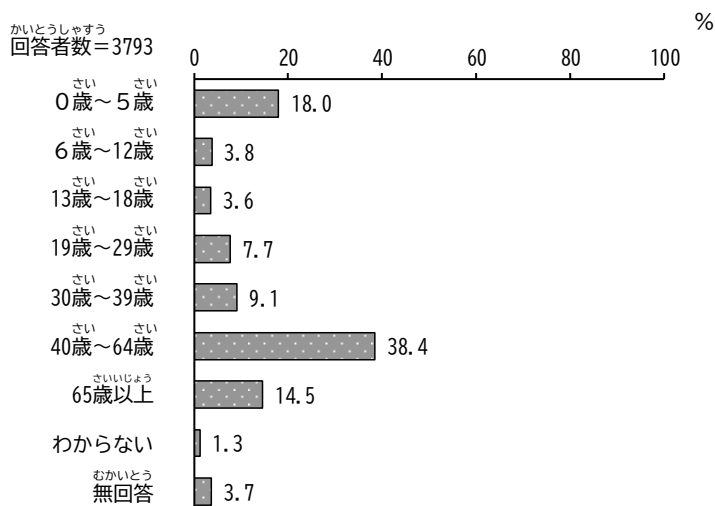
問6-1-1 「内部機能障害」の方は、障害の種別に○をつけてください。(○はいくつでも)

「心臓機能」の割合が54.8%と最も高く、次いで「腎臓機能」の割合が23.3%、「ぼうこう又は直腸機能」の割合が15.2%となっています。



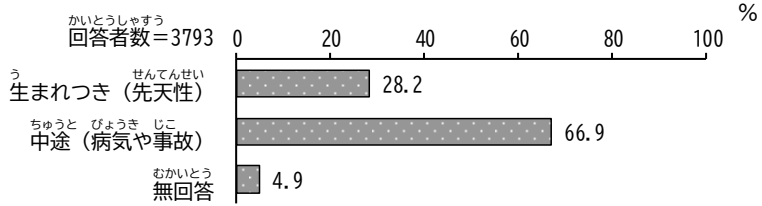
問6-2 身体障害者手帳を初めて取得した年齢についてお答えください。(○は1つだけ)

「身体障害者手帳」を取得した年齢は、「40歳～64歳」の割合が38.4%と最も高く、次いで「0歳～5歳」の割合が18.0%、「65歳以上」の割合が14.5%となっています。



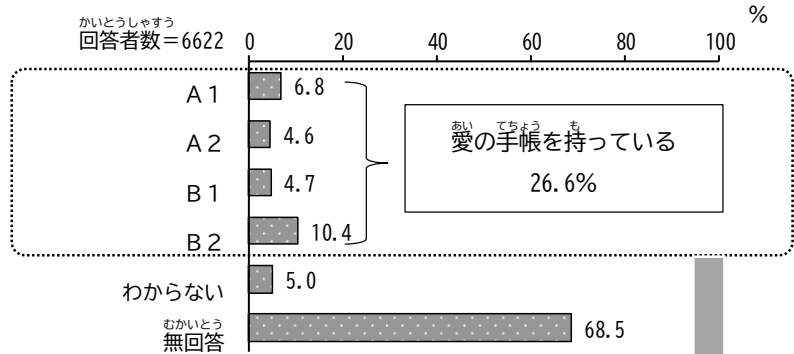
問6-2-1 障害の発症はいつですか。(〇は1つだけ)

「中途(病気や事故)」の割合が66.9%、「生まれつき(先天性)」の割合が28.2%となっています。



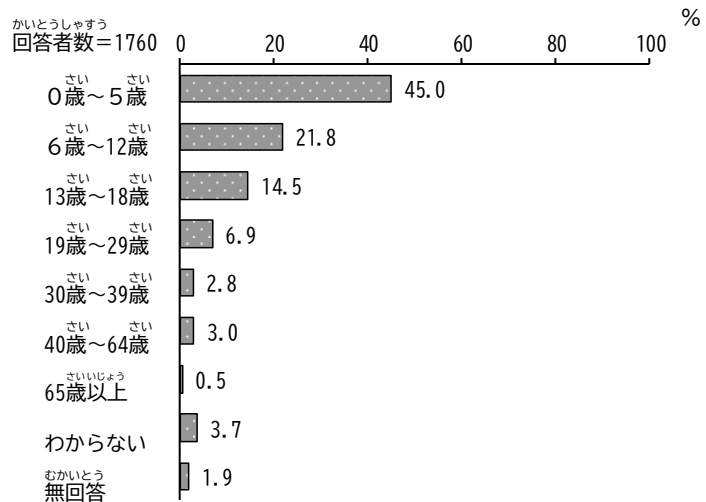
問7 あなたは「愛の手帳」をお持ちですか。お持ちの方は、「愛の手帳」に記載された現在の障害の程度をお答えください。(〇は1つだけ)

「愛の手帳」を持っている方は、全体の26.6%で、「愛の手帳」に記載された障害の程度は、「B2」の割合が10.4%と最も高く、次いで「A1」の割合が6.8%、「B1」の割合が4.7%となっています。



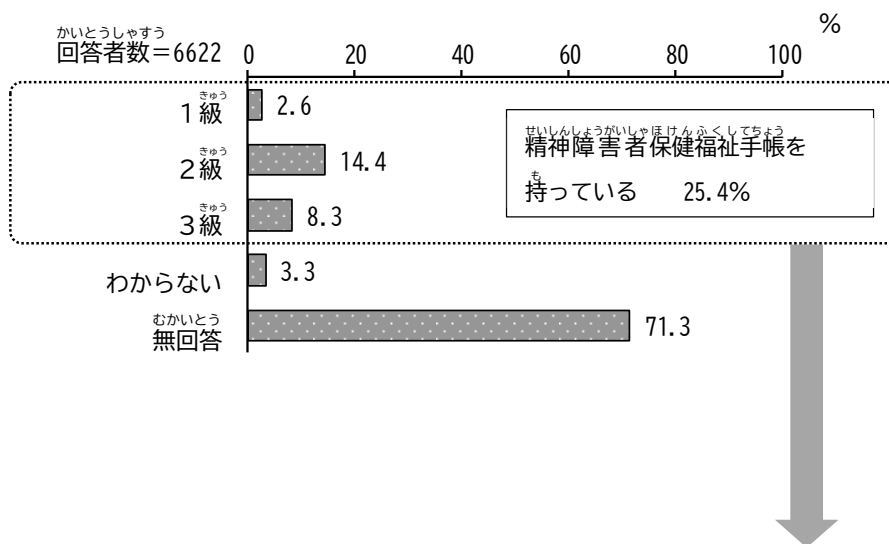
問7-1 あなたが「愛の手帳」を初めて取得した年齢についてお答えください。(〇は1つだけ)

「愛の手帳」を取得した年齢は、「0歳~5歳」の割合が45.0%と最も高く、次いで「6歳~12歳」の割合が21.8%、「13歳~18歳」の割合が14.5%となっています。



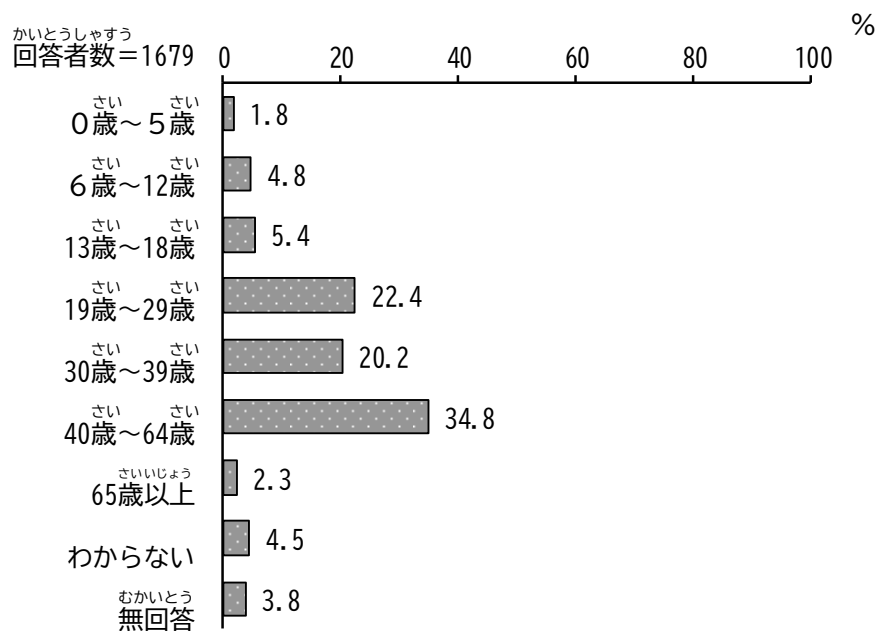
問8 あなたは「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちですか。お持ちの方は、「精神障害者保健福祉手帳」に記載された現在の障害の程度をお答えください。(○は1つだけ)

「精神障害者保健福祉手帳」を持っている方は、全体の25.4%で、「精神障害者保健福祉手帳」に記載された障害の程度は、「2級」の割合が14.4%と最も高く、次いで「3級」の割合が8.3%、「1級」の割合が2.6%となっています。



問8-1 精神障害者保健福祉手帳を初めて取得した年齢についてお答えください。(○は1つだけ)

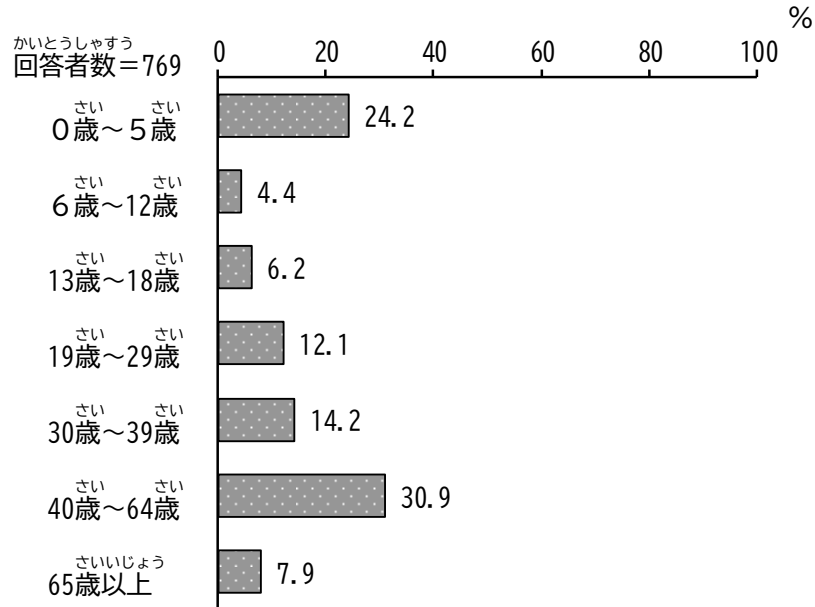
「精神障害者保健福祉手帳」を取得した年齢は、「40歳～64歳」の割合が34.8%と最も高く、次いで「19歳～29歳」の割合が22.4%、「30歳～39歳」の割合が20.2%となっています。



難病の方は問9、医療的ケアを受けている方は問10をお答えください。あてはまらない方は問11へ

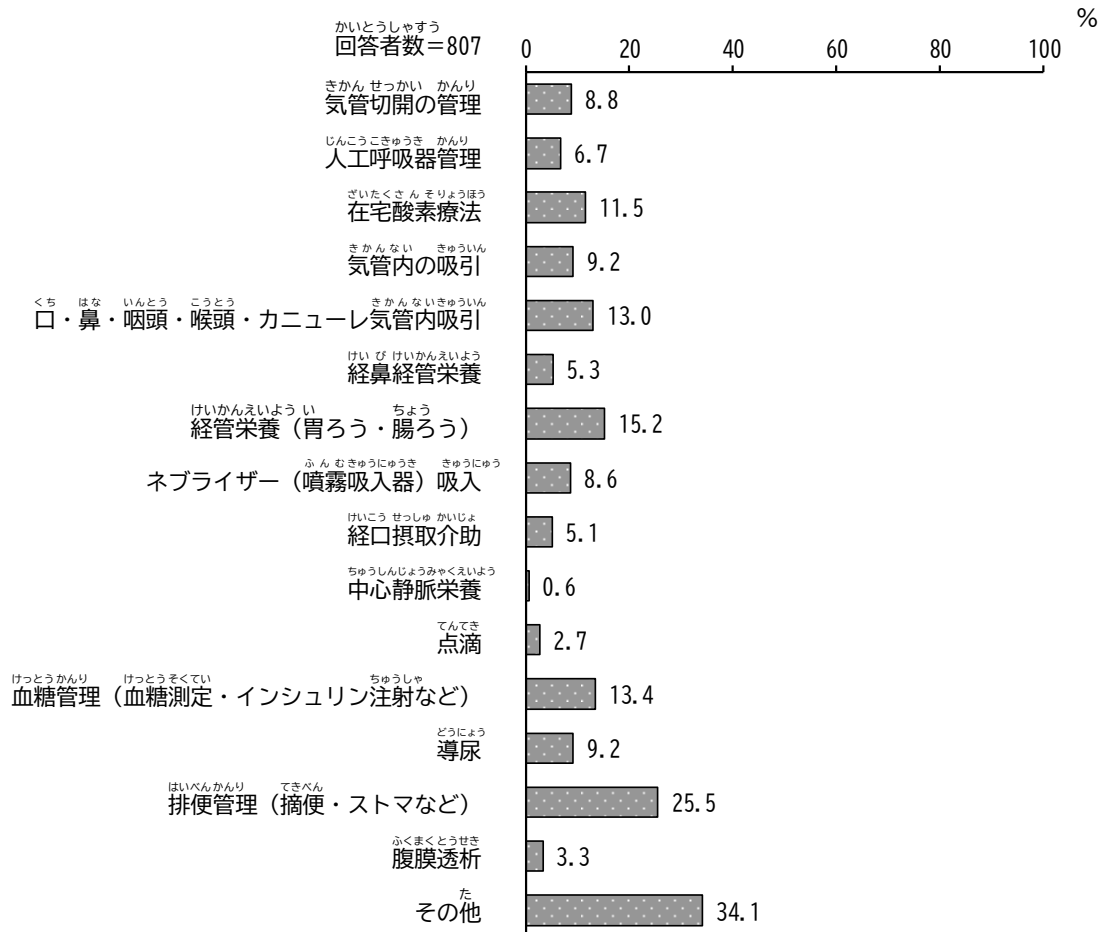
問9 「難病」の診断を受けている方にお尋ねします。診断を受けた年齢はいつですか。
(○は1つだけ)

「難病」の診断を受けていると回答した方は回答者全体6,622人中769人(11.6%)で、診断を受けた年齢は、「40歳～64歳」の割合が30.9%と最も高く、次いで「0歳～5歳」の割合が24.2%、「30歳～39歳」の割合が14.2%となっています。



問10 医療的ケア等を必要としている方にお尋ねします。必要としている医療的ケア等に○をつけてください。(○はいくつでも)

医療的ケア等を必要としていると回答した方は、回答者全体6,622人中807人(12.2%)で、医療的ケア等の内容は、「排便管理(排便・ストマなど)」の割合が25.5%と最も高く、次いで「経管栄養(胃ろう・腸ろう)」の割合が15.2%、「血糖管理(血糖測定・インシュリン注射など)」の割合が13.4%となっています。



【医療的ケア等の有無と災害時の備えのクロス】

医療的ケアを必要としている方が、災害時の備えとして行っていることをみると、「災害時の水や食糧を準備している」が最も高く、医療的ケアを必要としない方に比べ、「障害状況により必要な装具・補装具・薬・酸素ボンベなどを準備している」の割合が高くなっています。

単位：%

		回答者数(件)	問33 災害時への備え											
			自分の避難先(地域防災拠点など)を確認している	災害時の水や食糧を準備している	ボンベなどを準備している	障害状況により必要な装具・補装具・薬・酸素	準備している	在宅医療機器の予備電源や予備バッテリーを	て、話をしている	家族や支援してくれる人と、災害時の対応について	防災訓練などに参加している	の記載など)	地域の人に事情を伝えている(要援護者名簿等へ)	避難所に移動する場所があることを確認している
全体		6622	39.9	43.0	8.8	3.9	17.0	11.9	5.8	2.9	4.0	27.0	6.4	
問10 必要としている医療的ケア	医療的ケア等が必要	807	39.2	40.9	21.7	10.8	18.6	10.3	10.0	5.2	6.8	24.2	8.4	
	医療的ケア等は不要	5815	40.0	43.3	7.1	2.9	16.8	12.1	5.2	2.5	3.6	27.4	6.1	

【医療的ケア等の有無と災害時の不安のクロス】

医療的ケア等を必要としている方の、災害時の不安をみると、「避難所の設備が障害に配慮されている(バリアフリーになっている)か」が最も高く、医療的ケアを必要としない方に比べ、「停電で在宅医療機器が使えなくなるのではないか」の割合が高くなっています。

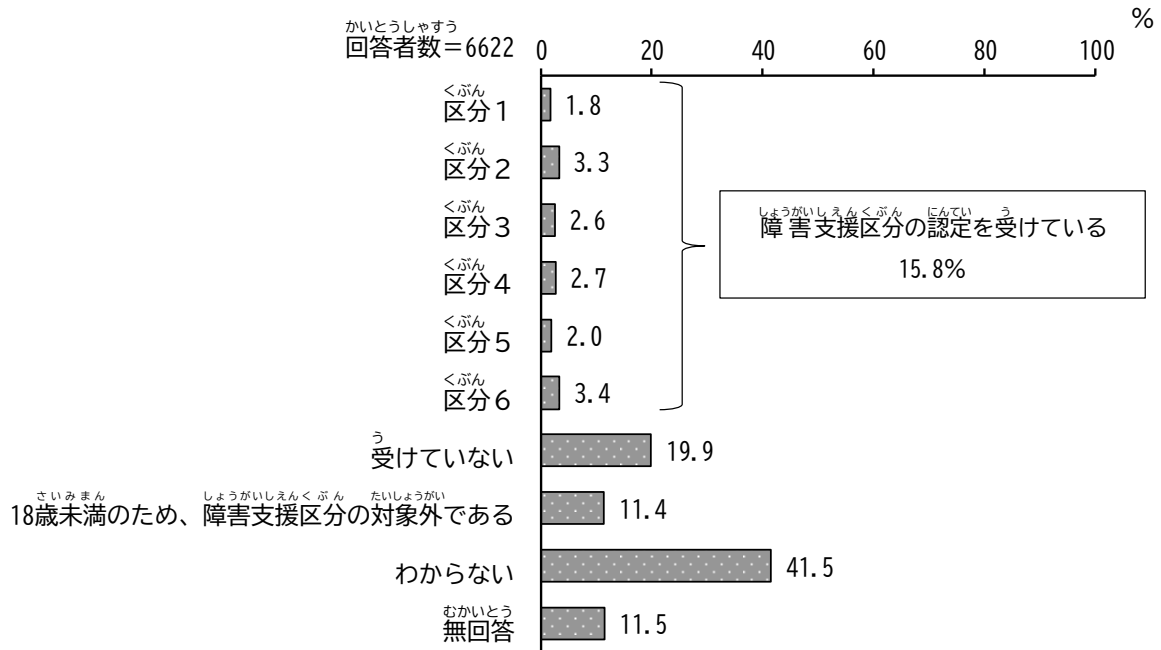
単位：%

		回答者数(件)	問34 災害に備えていても、不安に思うこと											
			避難所で周りの人や知らない人とうまく過ごせるか	避難所の設備が障害に配慮されている(バリアフリーになっている)か	避難所の人が自分の障害を理解してくれるか	さちんと障害者にも入ってくるか	避難指示などの重要な情報が	避難所までたどり着けるか	ではないか	停電で在宅医療機器が使えなくなる	風水害に対する対処方法がわからない	避難所がわからない	避難所がわからない	避難を支援してくれる人がいない
全体		6622	40.6	23.5	33.3	21.0	30.9	5.9	10.7	10.8	11.0	8.8	16.8	8.6
問10 必要としている医療的ケア	医療的ケア等が必要	807	31.7	36.2	34.8	21.7	34.9	19.6	10.7	9.7	14.7	12.0	13.3	10.5
	医療的ケア等は不要	5815	41.9	21.7	33.1	20.9	30.4	4.0	10.7	11.0	10.5	8.3	17.3	8.3

以下の質問は、全員がお答えください。

問11 あなたの障害支援区分について、教えてください。(○は1つだけ)

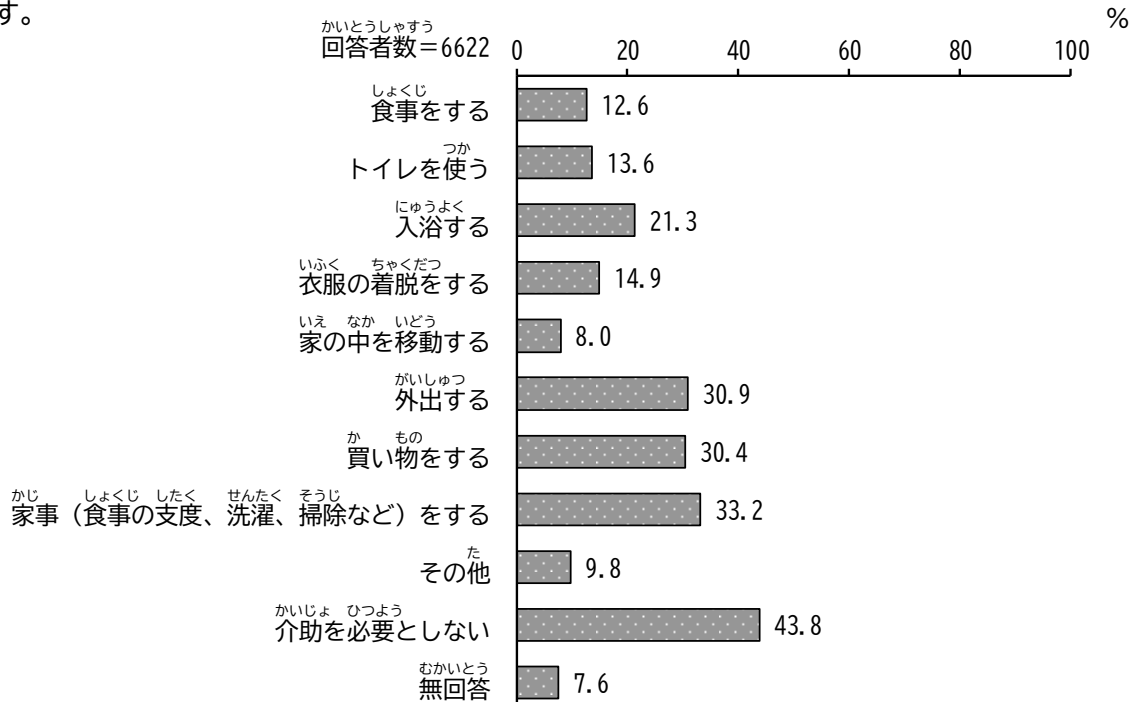
障害支援区分の認定を受けている方は全体の15.8%で、障害支援区分の内訳は、「区分6」が3.4%、「区分2」が3.3%、「区分4」が2.7%、等の順となっており、一方、「受けていない」の割合は19.9%と最も高くなっています。また、41.5%が「わからない」と回答しています。



ふだんの生活で困っていること、これからの困りごとについておたずねします

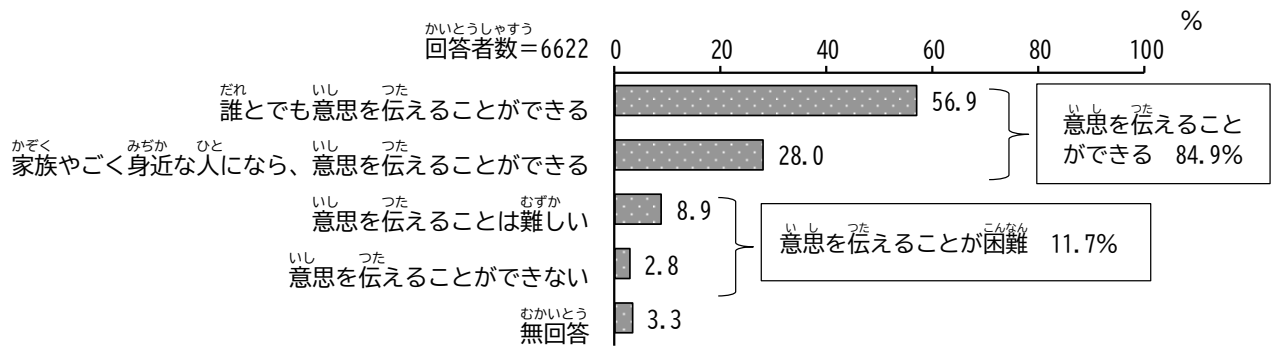
問12 あなたは、日常生活に介助を必要としますか。介助を必要とする項目すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

日常生活に介助を必要とする項目は、「家事（食事の支度、洗濯、掃除など）をする」の割合が33.2%と最も高く、次いで「外出する」の割合が30.9%、「買い物をする」の割合が30.4%となっています。



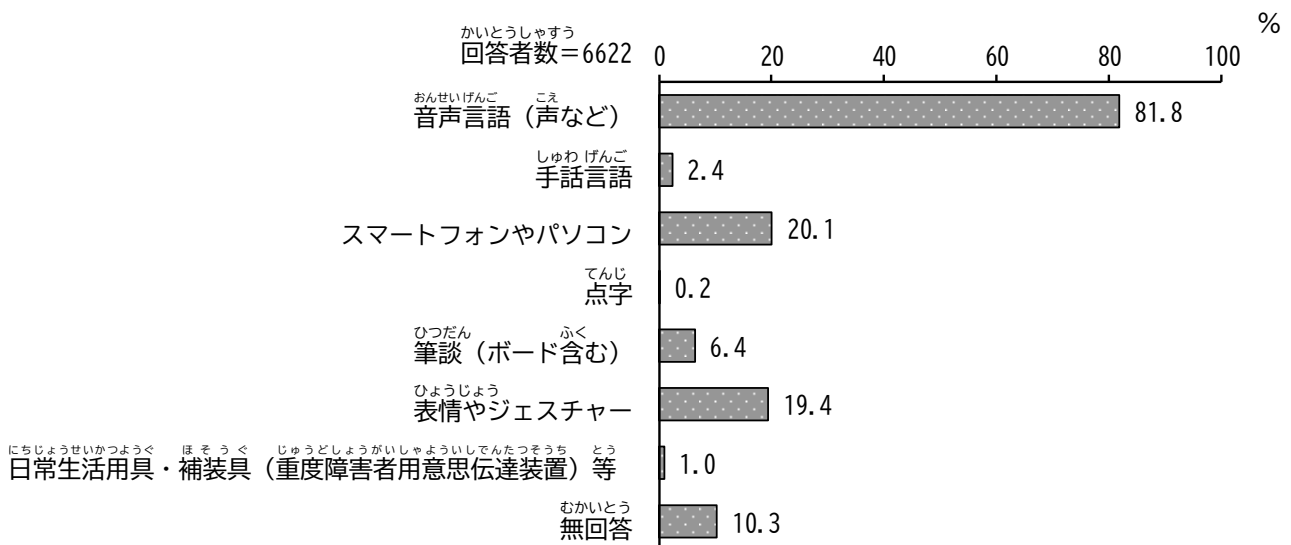
問13 あなたは、自分だけでまわりの人に意思を伝えることができますか。(○は1つだけ)

「誰でも意思を伝えることができる」の割合が56.9%と最も高く、次いで「家族やごく身近な人になら、意思を伝えることができる」の割合が28.0%となっています。



問13-1 あなたはどのような方法で意思を伝えていますか。(○はいくつでも)

「音声言語(声など)」の割合が81.8%と最も高く、次いで「スマートフォンやパソコン」の割合が20.1%、「表情やジェスチャー」の割合が19.4%となっています。

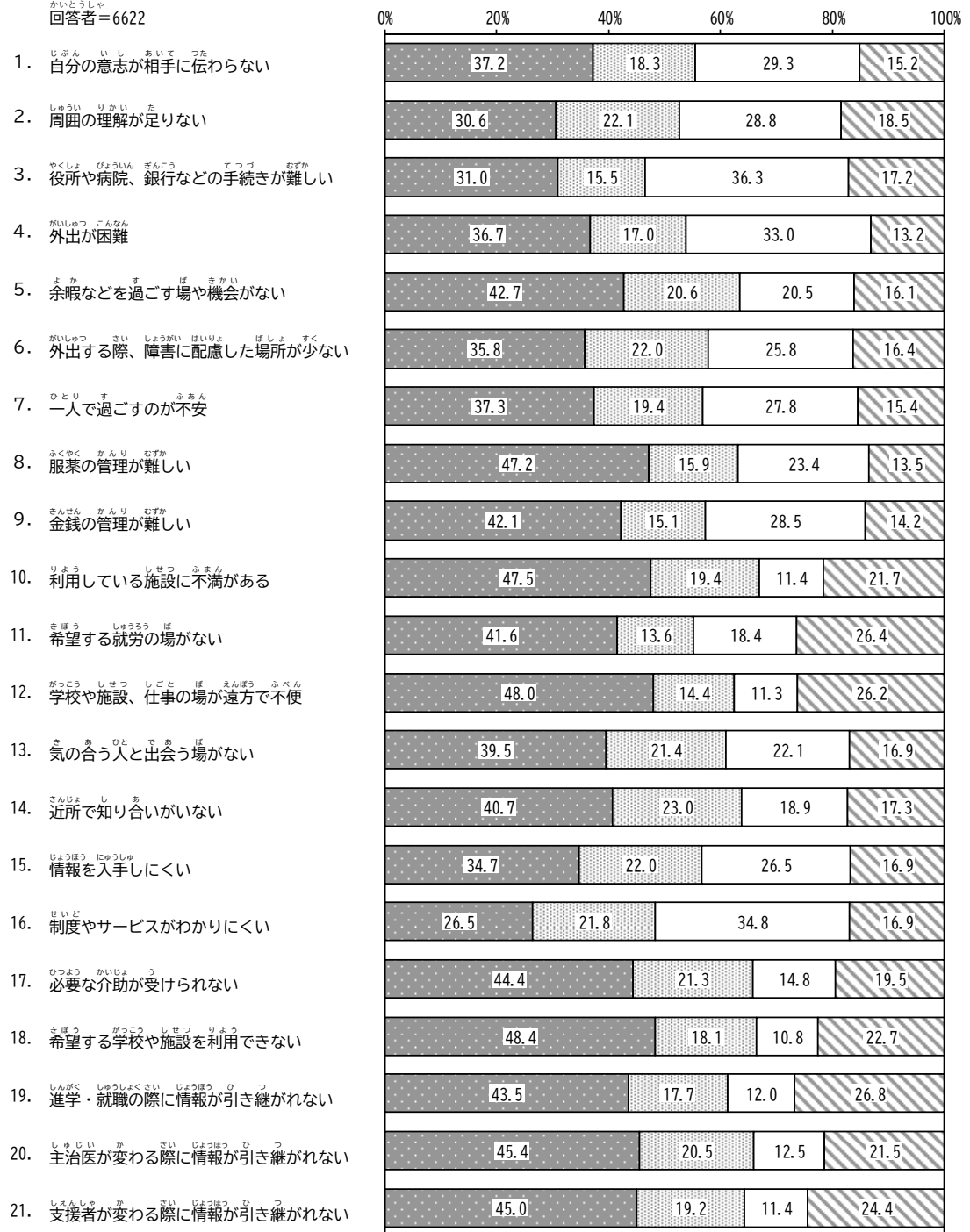


問14 「生活の中で困ること」について、①困りごとの有無、②困ったときの相談先を、教えてください。

①困りごとの有無（それぞれに○はひとつ）

生活の中で「困ることがある」の上位3項目は、「3. 役所や病院、銀行などの手続きが難しい」、「16. 制度やサービスがわかりにくい」、「4. 外出が困難」で、3割以上の方が挙げています。一方、「18. 希望する学校や施設を利用できない」「17. 必要な介助が受けられない」等は、6割以上の方が「困ることはない」「困ることはほとんどない」と回答しています。また、21項目中19項目で、5割以上の方が「困ることはない」「困ることはほとんどない」と回答しています。

■ 困ることはない □ 困ることはほとんどない □ 困ることがある ■ 無回答



②困ったときの相談先（それぞれに○はいくつでも）

※『①困りごとの有無』で「困りごとがある」と回答した回答者の、困ったときの相談先を表しています。

困ったときの相談先としては、全ての項目で「家族」が最も高くなっています。

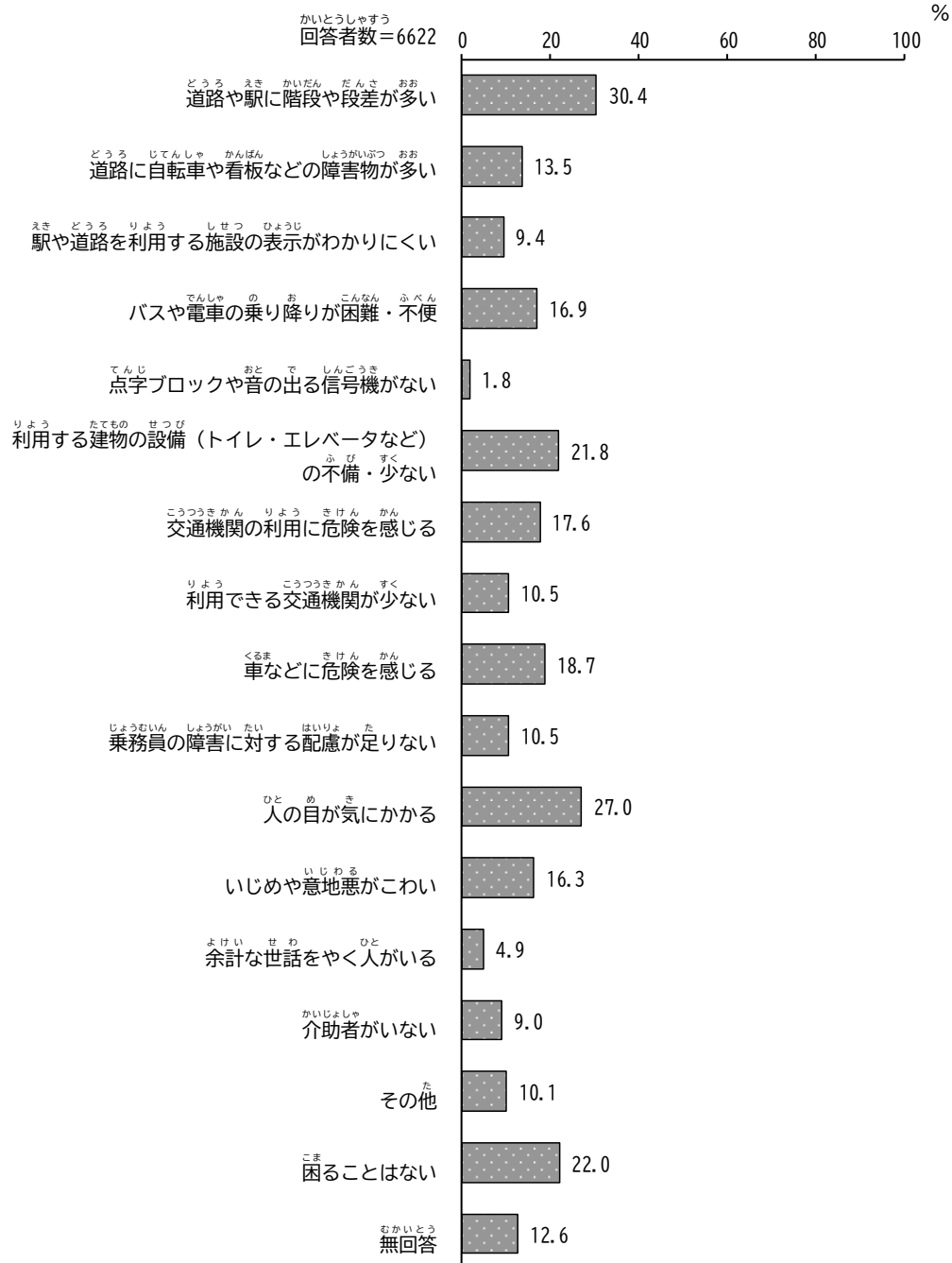
「19. 進学・就職の際に情報が引き継がれない」「20. 主治医が変わる際に情報が引き継がれない」については、「相談先がわからない」の割合が高い傾向にあります。また、「13. 気の合う人と出会う場がない」「14. 近所で知り合いがいない」については、他と比較すると「相談する相手がいない」の割合が高くなっています。

単位：%

	回答者数(件)	家族	友人	近所の人や自治会・町内会、民生委員等	支援者（医療機関・施設等の職員）	成年後見人等	当事者団体・親の会など	区役所（福祉保健センター）	基幹相談支援センター・生活支援センター	計画相談	地域ケアプラザ	地域療育センター	学校	相談先がわからない	相談する相手がいない	その他	無回答
1. 自分の意志が相手に伝わらない	1,939	72.0	9.8	1.7	36.9	1.4	1.3	5.3	3.4	7.7	1.4	4.6	11.7	2.5	4.2	5.5	6.4
2. 周囲の理解が足りない	1,908	63.0	11.3	1.6	30.8	0.9	1.4	4.8	3.5	6.1	0.8	3.5	9.8	4.1	8.5	6.5	8.4
3. 役所や病院、銀行などの手続きが難しい	2,404	73.8	3.7	1.0	20.0	1.8	0.5	8.4	2.5	5.3	1.2	1.4	1.9	2.5	3.1	3.7	7.9
4. 外出が困難	2,186	70.4	8.2	0.8	25.8	0.8	0.9	4.3	2.2	6.0	1.3	1.9	3.3	2.3	4.3	4.9	9.3
5. 余暇などを過ごす場や機会がない	1,360	61.1	9.0	1.0	25.4	0.6	1.8	3.6	2.9	7.7	1.1	1.5	2.6	5.7	8.8	5.7	11.4
6. 外出する際、障害に配慮した場所が少ない	1,707	57.9	7.7	0.9	20.0	0.5	1.5	4.3	2.2	5.2	1.1	1.7	2.6	7.7	8.4	6.0	12.8
7. 一人で過ごすのが不安	1,843	66.9	8.5	1.1	24.8	0.8	1.0	4.1	2.8	5.6	1.0	1.9	3.5	4.0	6.4	4.6	11.3
8. 服薬の管理が難しい	1,550	70.8	2.5	0.6	27.0	0.5	0.6	2.3	1.3	3.0	0.3	1.4	1.7	1.6	3.0	3.7	8.6
9. 金銭の管理が難しい	1,890	73.7	3.1	0.2	17.7	2.1	0.6	2.4	1.6	3.0	0.4	0.7	1.4	2.1	4.0	3.8	8.4
10. 利用している施設に不満がある	752	55.6	12.1	0.1	25.7	0.7	1.7	5.6	4.0	6.6	1.5	2.5	9.8	6.3	9.7	10.6	9.2
11. 希望する就労の場がない	1,221	47.6	8.4	0.7	21.4	0.2	1.0	7.0	3.7	6.0	0.7	1.2	9.3	11.2	12.2	9.6	13.2
12. 学校や施設、仕事の場が遠方で不便	751	55.5	8.5	0.9	17.7	0.4	0.5	5.5	3.7	6.0	0.3	2.1	7.3	8.1	12.1	11.5	10.7
13. 気の合う人と出会う場がない	1,464	46.4	9.7	0.8	15.1	0.3	1.0	2.5	2.9	4.0	1.0	1.3	2.9	12.3	16.1	6.2	15.5
14. 近所で知り合いがいない	1,252	47.0	6.3	1.8	12.9	0.4	0.7	2.2	2.2	3.3	1.0	0.6	1.6	10.3	15.9	6.8	17.5
15. 情報を入手しにくい	1,756	47.4	8.0	1.1	21.4	0.6	2.2	16.5	4.8	7.2	1.5	2.7	4.3	10.1	9.4	7.6	13.9
16. 制度やサービスがわかりにくい	2,302	46.0	6.3	1.0	20.5	0.8	1.8	20.6	4.4	6.8	1.6	2.4	3.2	9.8	8.0	6.5	15.3
17. 必要な介助が受けられない	980	45.0	5.1	0.9	19.8	0.9	1.2	15.2	4.9	9.6	1.7	2.0	2.9	10.4	11.7	6.8	14.3
18. 希望する学校や施設を利用できない	713	47.3	5.8	1.7	18.8	0.6	2.1	13.7	5.0	9.7	1.7	3.6	7.4	13.0	11.8	8.3	11.8
19. 進学・就職の際に情報が引き継がれない	792	47.9	5.9	0.8	20.1	0.5	1.1	7.7	3.4	6.4	1.0	3.7	11.7	13.5	11.9	9.0	10.4
20. 主治医が変わる際に情報が引き継がれない	829	47.4	5.1	0.7	25.3	0.4	0.5	4.7	2.4	4.0	0.5	1.8	1.6	12.2	12.2	8.3	12.3
21. 支援者が変わる際に情報が引き継がれない	753	47.8	4.0	0.8	27.1	0.8	1.2	9.2	4.1	7.8	1.3	2.5	3.7	11.7	10.5	8.0	11.0

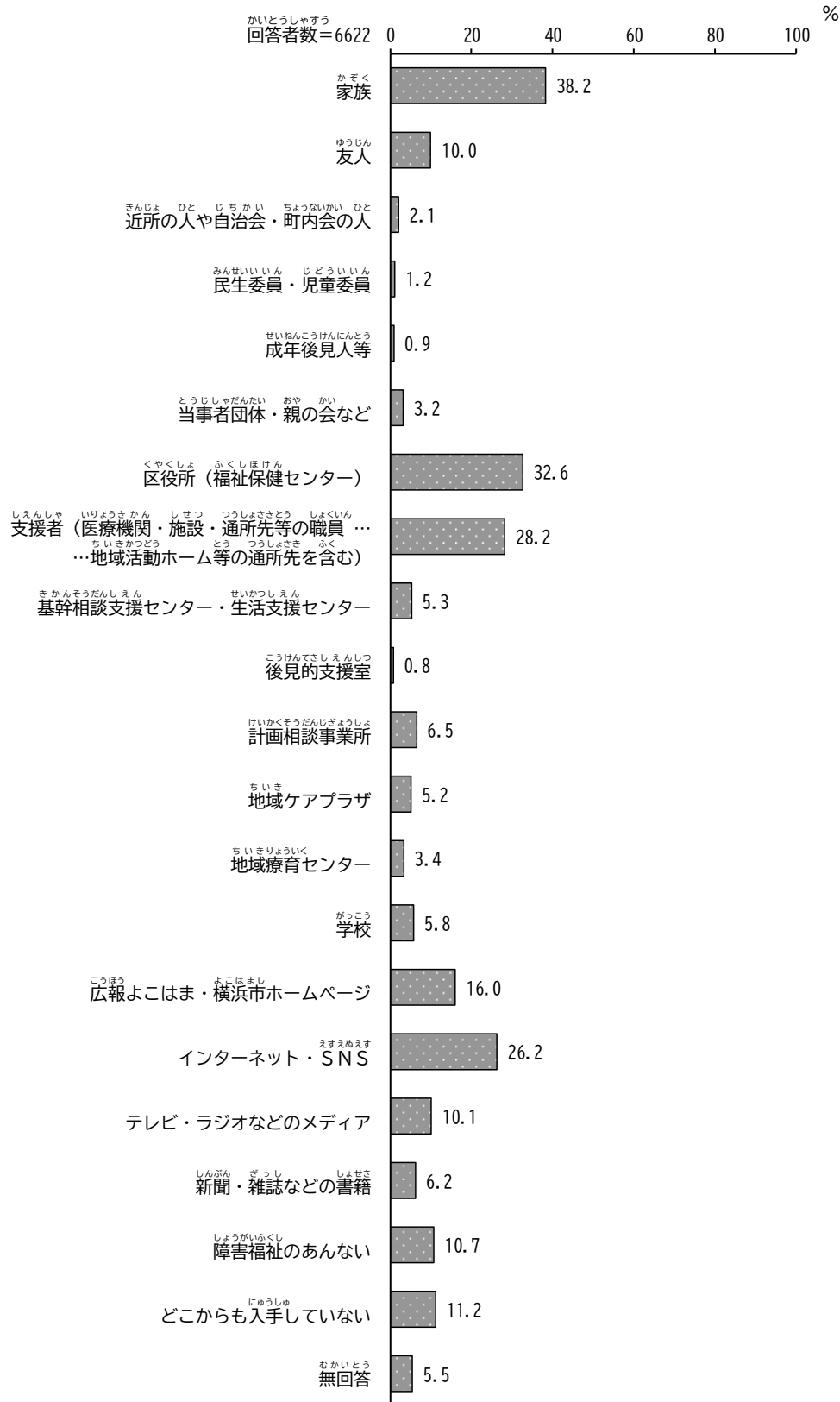
問15 普段の生活で外出する時や、外出したいと思う時に困ることはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

「道路や駅に階段や段差が多い」の割合が30.4%、「人の目が気にかかる」が27.0%、「利用する建物の設備（トイレ・エレベータなど）の不備・少ない」が21.8%の順に高くなっています。
一方、「困ることはない」の割合は22.0%となっています。



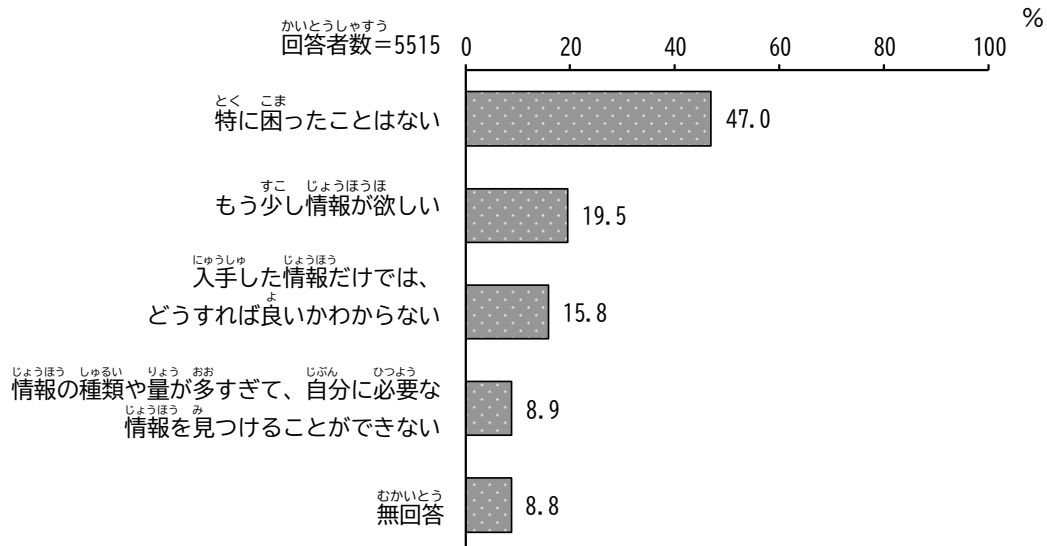
問16 現在、障害福祉にかかわる情報について、どこから（誰から）情報を入手していますか。（〇はいくつでも）

「家族」の割合が38.2%、「区役所（福祉保健センター）」32.6%、「支援者（医療機関・施設・通所先等の職員…地域活動ホームなどの通所先を含む）」28.2%の順に高くなっています。
一方、「どこからも入手していない」の割合は11.2%となっています。



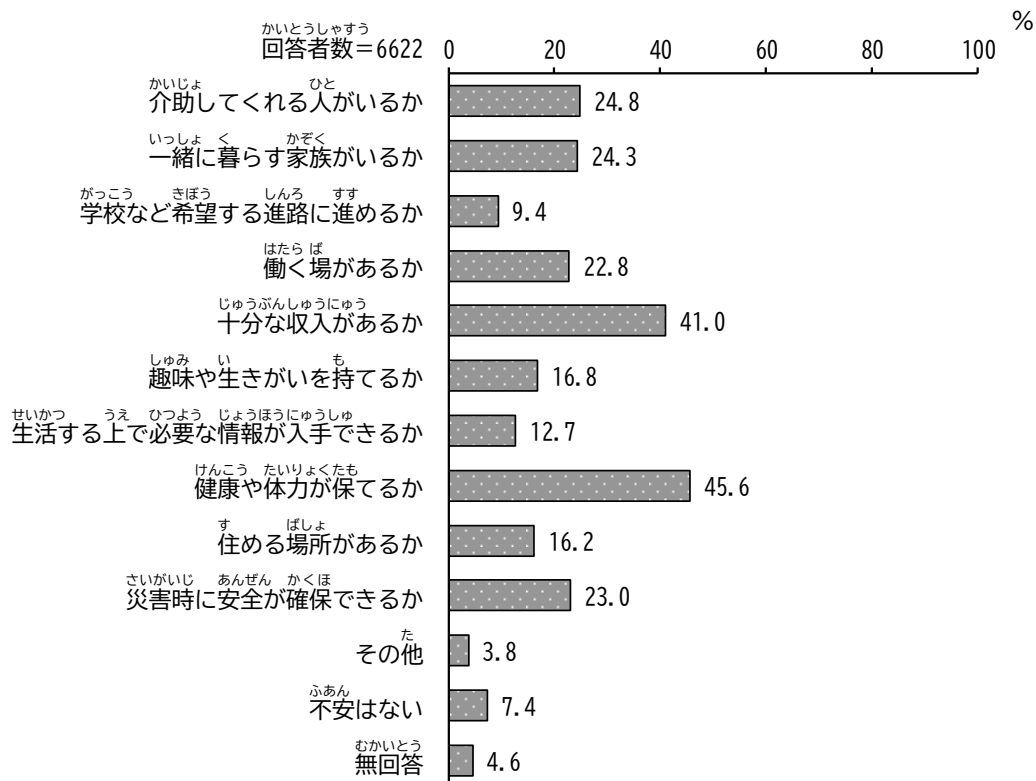
問16-1 問16の場所や人から入手した情報について、困ったことはありますか。(〇は1つだけ)

「特に困ったことはない」の割合が47.0%と最も高く、次いで「もう少し情報が欲しい」の割合が19.5%、「入手した情報だけでは、どうすれば良いかわからない」の割合が15.8%、「情報の種類や量が多すぎて、自分に必要な情報を見つけることができない」の割合が8.9%となっています。



問17 あなたは将来(6年後)に不安がありますか。とくに不安を感じることを次の中から3つまで選んで〇をつけてください。(〇は3つまで)

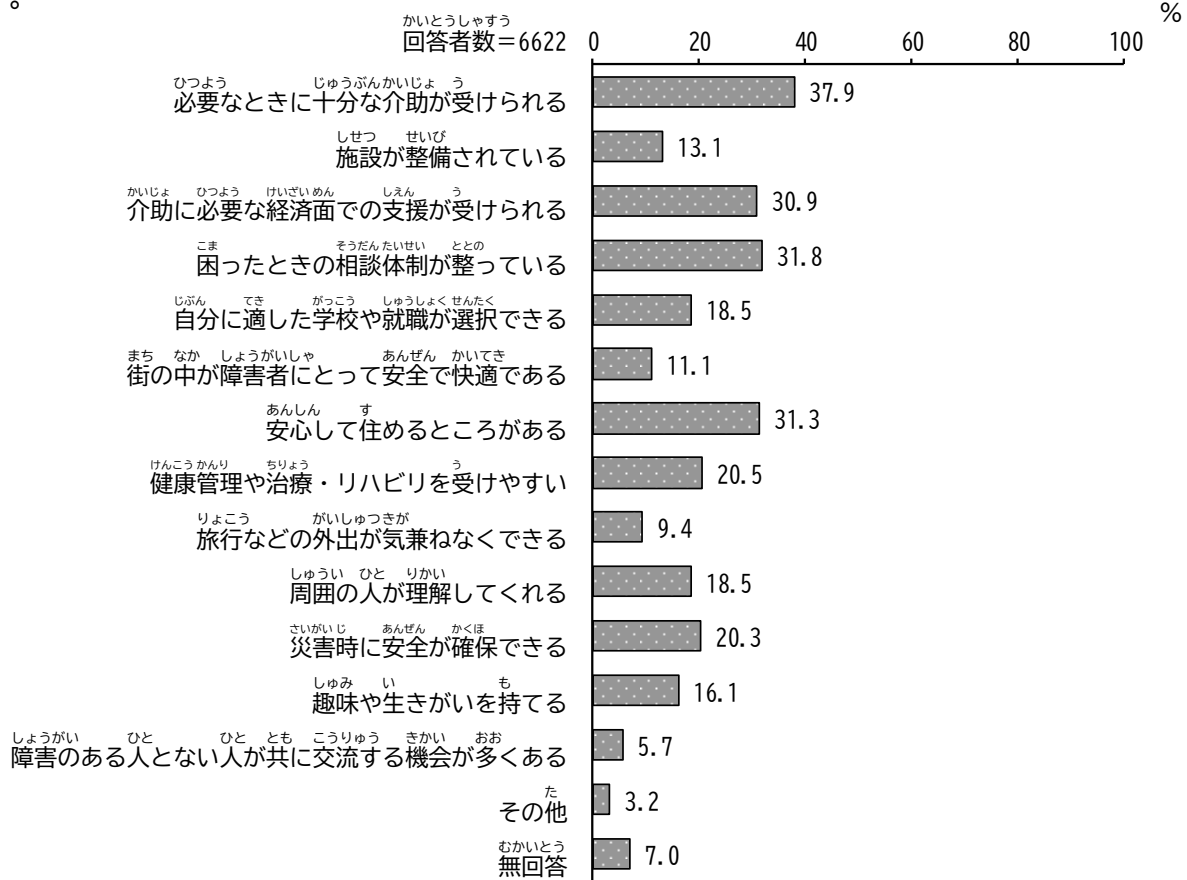
「健康や体力が保てるか」の割合が45.6%と最も高く、次いで「十分な収入があるか」の割合が41.0%、「介助してくれる人がいるか」の割合が24.8%となっています。



問18 将来（6年後）の理想の社会や生活を考えたとき、あなたが特に重要と思うものに3つまで○をつけてください。（○は3つまで）

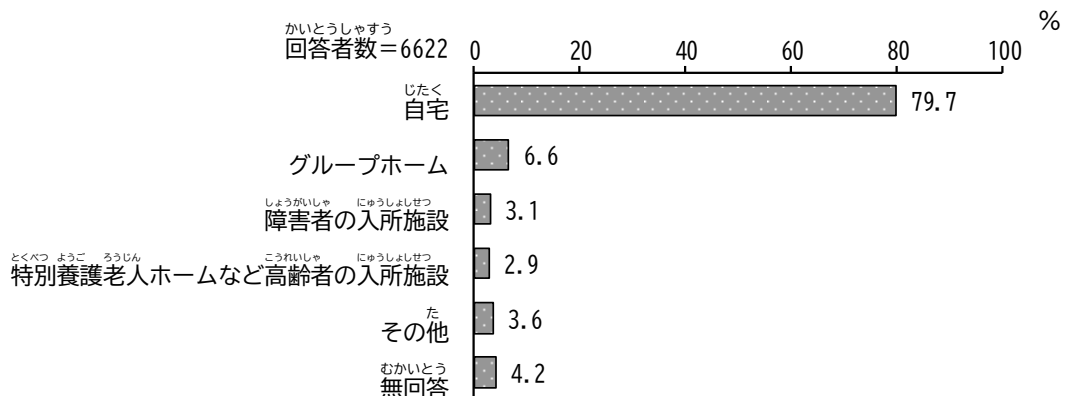
※障害者プランの計画期間が6年間のため、6年後の近い将来についてお聞きします。

「必要なときに十分な介助が受けられる」の割合が37.9%と最も高く、次いで「困ったときの相談体制が整っている」の割合が31.8%、「安心して住めるところがある」の割合が31.3%となっています。



問19 あなたは将来（6年後）どこで生活したいと考えますか。（○は1つだけ）

「自宅」の割合が79.7%と最も高く、次いで「グループホーム」の割合が6.6%と高くなっています。「障害者の入所施設」「特別養護老人ホームなど高齢者の入所施設」は1割以下で拮抗しています。



【記入者別と将来生活したいところのクロス】

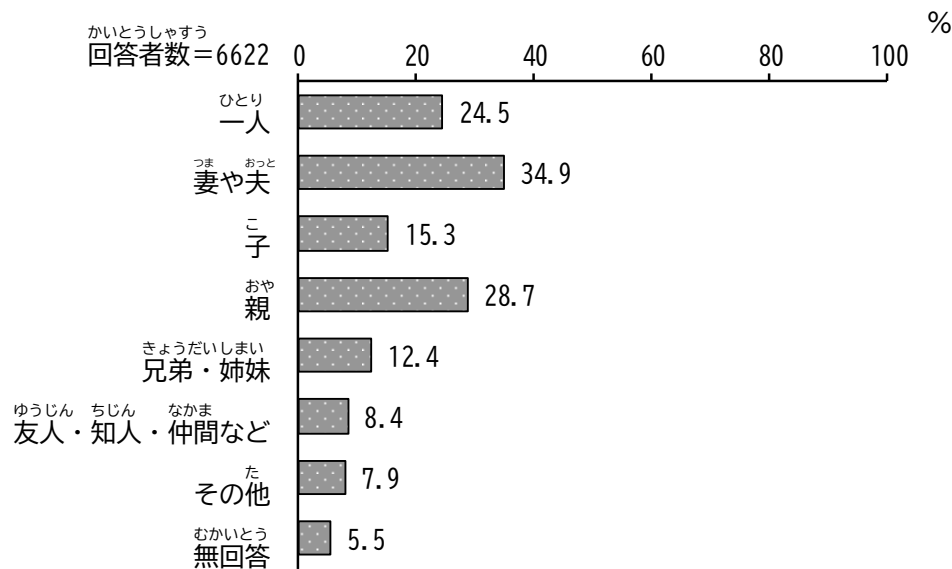
記入者別にみると、「支援者（施設・医療機関の職員等）」・「成年後見人等」で「グループホーム」の割合が高くなっています。

単位：％

	回答者数 (件)	問19 将来、生活したいところ						
		自宅	グループホーム	障害者の入所施設	高齢者の入所施設	特別養護老人ホームなど	その他	無回答
全体	6,622	79.7	6.6	3.1	2.9	3.6	4.2	
問1 アンケート記入者	ご本人	4,452	86.3	3.1	1.3	2.2	3.9	3.2
	ご家族	1,927	70.7	11.4	6.4	3.7	2.4	5.4
	支援者（施設・医療機関の職員等）	123	14.6	46.3	13.8	10.6	5.7	8.9
	成年後見人等	26	11.5	30.8	19.2	15.4	11.5	11.5
	その他	24	54.2	12.5	12.5	12.5	4.2	4.2

問19-1 将来（6年後）どなたと暮らしたいですか。（○はいくつでも）

「妻や夫」の割合が34.9%と最も高く、次いで「親」の割合が28.7%、「一人」の割合が24.5%となっています。



【記入者別と将来暮らしたい人のクロス】

記入者別にみると、「ご本人」で「妻や夫」、「ご家族」で「親」「兄弟・姉妹」、「支援者（施設・医療機関の職員等）」で「友人・知人・仲間など」、「成年後見人等」で「一人」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問19-1 将来、暮らしたい人							無回答
			一人	妻や夫	子	親	兄弟・姉妹	仲間など	友人・知人	
全体		6,622	24.5	34.9	15.3	28.7	12.4	8.4	7.9	5.5
問1 アンケート記入者	ご本人	4,452	31.2	45.6	19.4	17.1	7.5	7.1	6.3	4.1
	ご家族	1,927	9.4	13.4	7.4	57.9	24.4	10.1	9.2	7.1
	支援者（施設・医療機関の職員等）	123	11.4	4.9	0.0	4.9	4.1	25.2	37.4	18.7
	成年後見人等	26	34.6	0.0	0.0	15.4	11.5	15.4	30.8	19.2
	その他	24	41.7	12.5	8.3	8.3	8.3	20.8	8.3	8.3

【居住別と将来暮らしたい人のクロス】

居住別にみると、「自宅（親など家族と同居）」では「妻や夫」「親」、「自宅（一人暮らし）」では「一人」、「グループホーム」では「友人・知人・仲間など」の割合が高くなっています。

単位：％

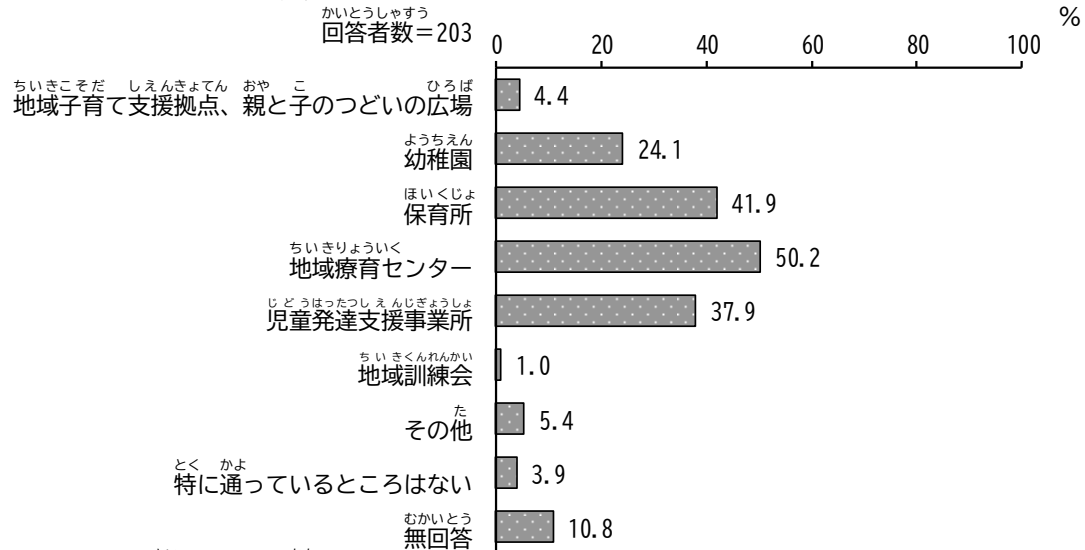
		回答者数 (件)	問19-1 将来、暮らしたい人							無回答
			一人	妻や夫	子	親	兄弟・姉妹	仲間など	友人・知人	
全体		6,622	24.5	34.9	15.3	28.7	12.4	8.4	7.9	5.5
問3 現在暮らしている場所	自宅（親など家族と同居）	4,898	14.5	42.6	18.4	36.9	15.3	6.7	5.5	4.0
	自宅（一人暮らし）	1,076	69.5	15.5	7.3	2.5	3.5	9.1	8.3	5.0
	グループホーム	306	28.4	4.2	1.0	9.8	6.9	30.7	26.5	11.4
	障害児・者の入所施設（児童養護施設を含む）	84	13.1	2.4	0.0	8.3	1.2	19.0	32.1	29.8
	高齢者施設、高齢者向け住宅	119	32.8	15.1	11.8	0.0	3.4	5.9	25.2	17.6
	病院（入院中）	81	16.0	22.2	12.3	24.7	8.6	7.4	22.2	18.5

あなたの地域での生活状況についておたずねします

問20 あなたが普段通っている場所について教えてください。(〇はいくつでも)

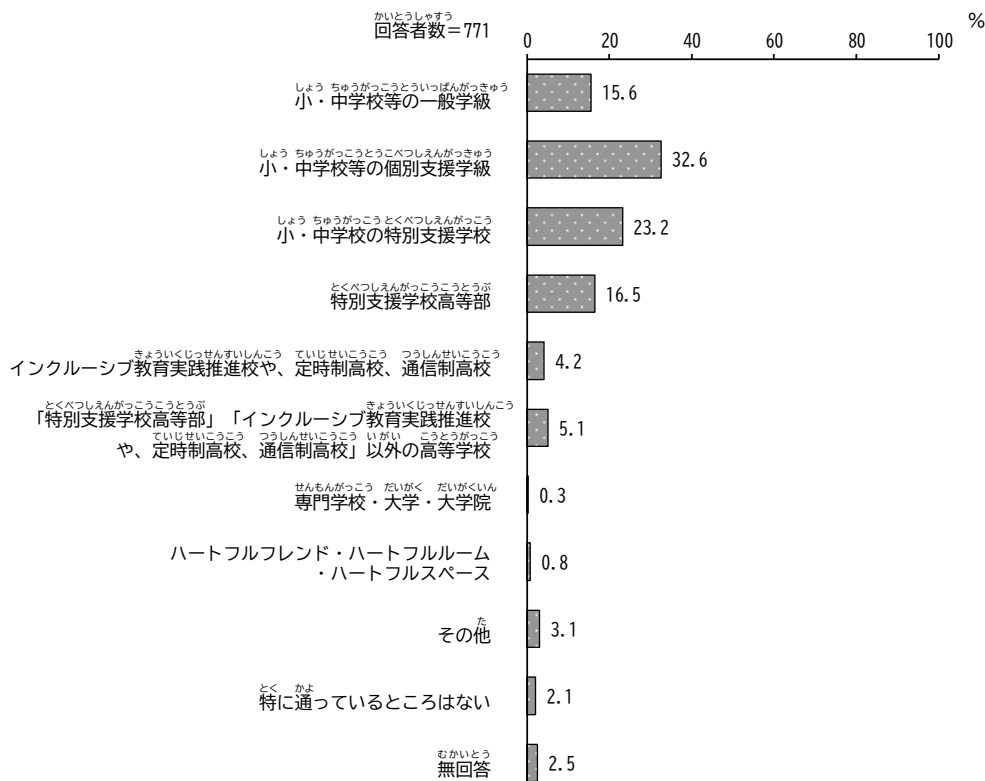
【未就学（おおむね6歳まで）の方】

「未就学（おおむね6歳まで）の方」では、「地域療育センター」が50.2%、「保育所」が41.9%、「児童発達支援事業所」が37.9%の順となっており、一方、「特に通っているところはない」の割合は3.9%となっています。



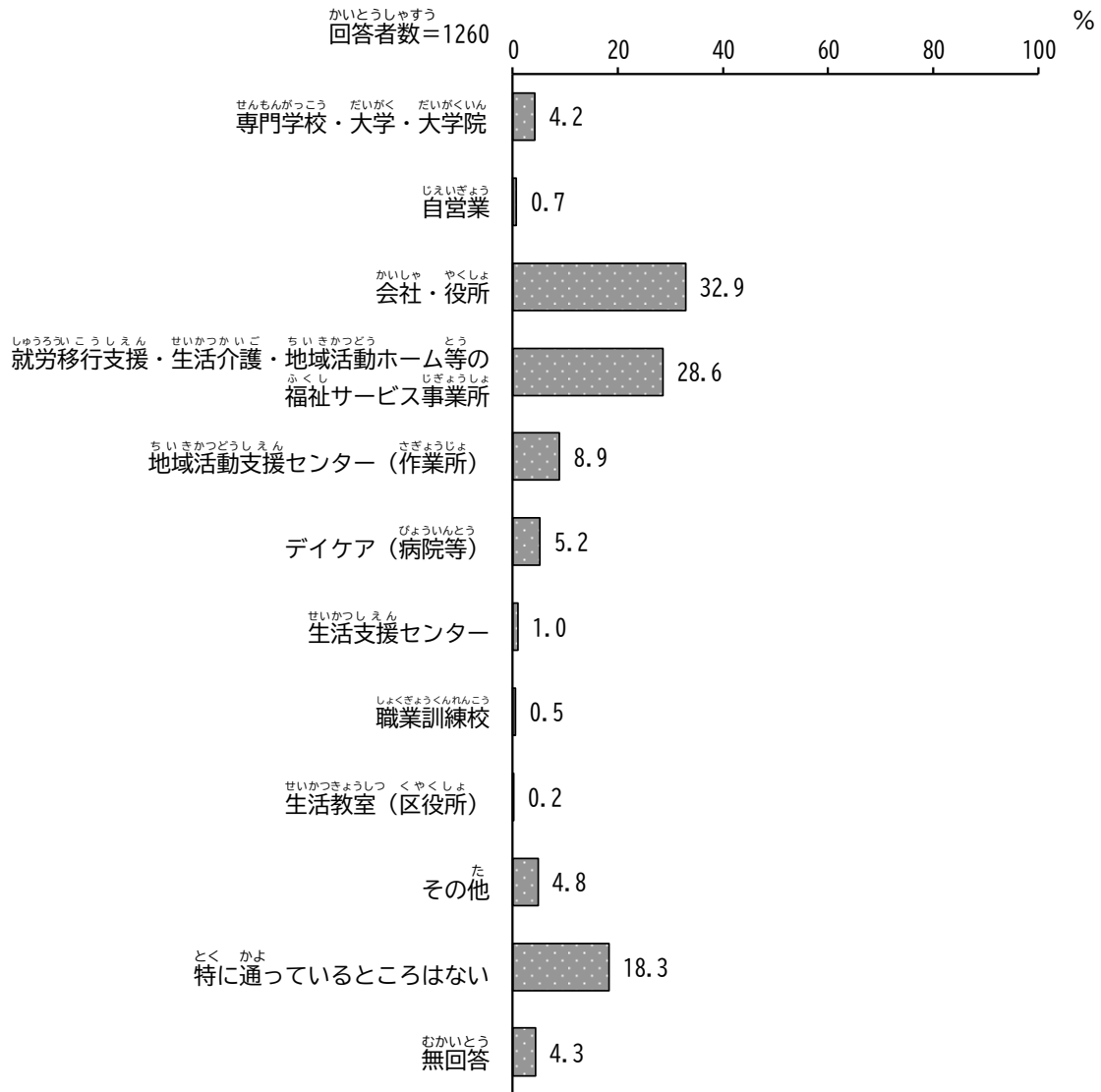
【学齢期（おおむね18歳まで）の方】

「学齢期（おおむね18歳まで）の方」では、「小・中学校等の個別支援学級」が32.6%、「小・中学校の特別支援学校」が23.2%、「特別支援学校高等部」が16.5%の順となっています。一方、「特に通っているところはない」の割合は2.1%となっています。



【青年期（おおむね 18歳以上）以降の方】

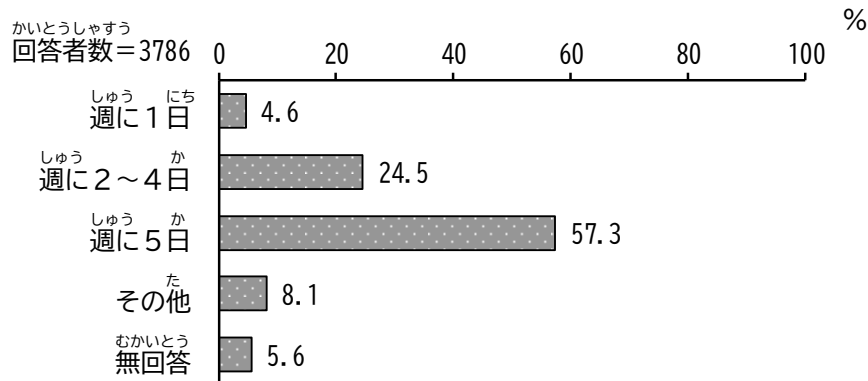
「青年期（おおむね 18歳以上）以降の方」では、「会社・役所」が 32.9%、「就労移行支援・生活介護・地域活動ホーム等の福祉サービス事業所」28.6%等の順となっており、一方、「特に通っているところはない」の割合は 18.3%となっています。



※次からの設問（問20-1～問20-7）は、最も多く通っているところについてお答えください。

問20-1 利用の回数は、週に何回ですか。（○は1つだけ）

「週に5日」の割合が57.3%と最も高く、次いで「週に2～4日」の割合が24.5%、「週に1日」の割合が4.6%となっています。



【年齢区分別と利用回数のクロス】

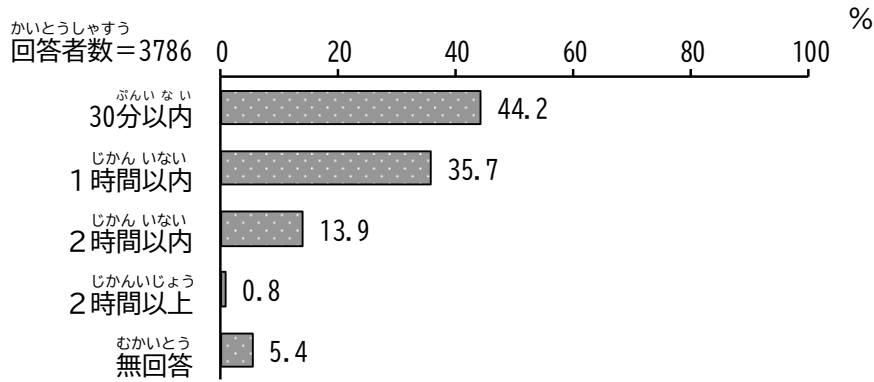
年齢区分別にみると、「未就学」「学齢期」「青年期」について「週に5日」の割合がそれぞれ57.8%、82.9%、65.7%と、最も高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問20-1 普段通っている場所の利用回数は、週に何回か					
		週に1日	週に2～4日	週に5日	その他	無回答	
全体	3,786	4.6	24.5	57.3	8.1	5.6	
問2 年齢	未就学	173	3.5	35.8	57.8	1.2	1.7
	学齢期	736	1.4	7.6	82.9	4.3	3.8
	青年期	976	2.3	21.0	65.7	6.5	4.6

問20-2 通園・通学・通勤・通所には片道でどのくらいの時間がかかりますか。最も多く通
 っているところについてお答えください。(○は1つだけ)

「30分以内」の割合が44.2%と最も高く、次いで「1時間以内」の割合が35.7%、「2時間以内」
 の割合が13.9%となっています。



【年齢区別と通学・通勤等時間】

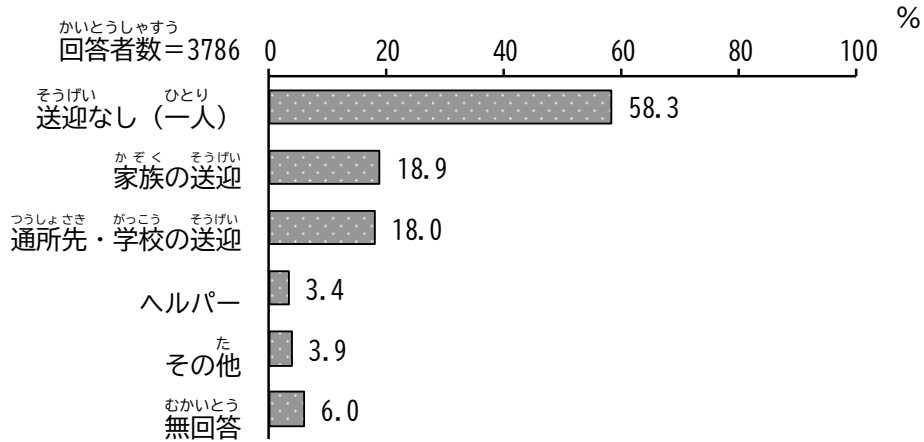
年齢区別にみると、年齢区分が上がるほど「1時間以内」「2時間以内」の割合が高くなり、「30分
 以内」の割合が低くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問20-2 通園・通学・通勤・通所には片道でどのくらいの時間がかかるか					
		30分以内	1時間以内	2時間以内	2時間以上	無回答	
全体	3,786	44.2	35.7	13.9	0.8	5.4	
問2 年齢	未就学	173	78.0	17.3	3.5	0.0	1.2
	学齢期	736	63.5	28.4	6.3	0.1	1.8
	青年期	976	36.8	43.2	15.6	0.6	3.8

問20-3 通園・通学・通勤・通所に送迎がありますか。(〇はいくつでも)

「送迎なし(一人)」の割合が58.3%と最も高く、次いで「家族の送迎」の割合が18.9%、「通所先・学校の送迎」の割合が18.0%となっています。



【年齢区分別と通勤・通学等の送迎のクロス】

年齢区分別にみると、「未就学」では「家族の送迎」が85.0%、「学齢期」では「家族の送迎」が42.5%、「送迎なし(一人)」が39.9%、「青年期」では「送迎なし(一人)」が65.1%で高くなっています。

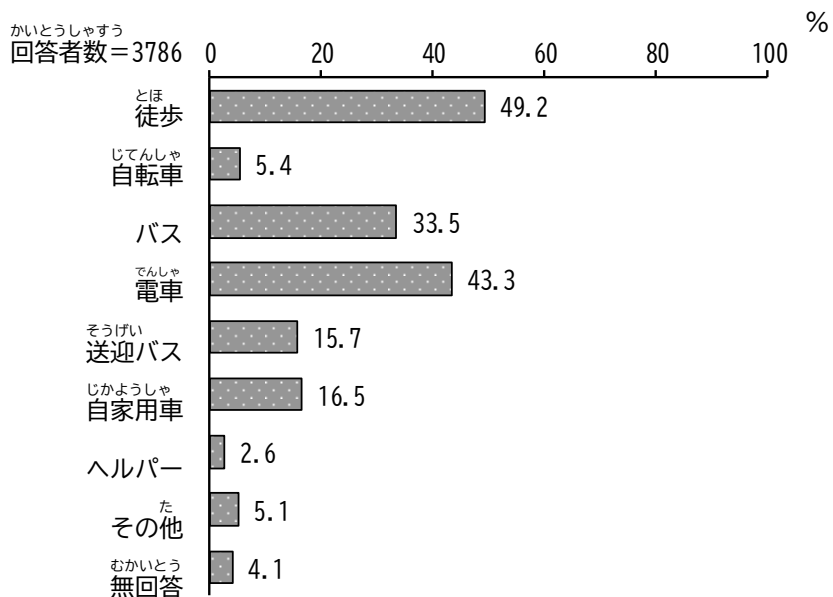
単位：%

	回答者数(件)	問20-3 通園・通学・通勤・通所に送迎があるか						
		送迎なし(一人)	家族の送迎	通所先・学校の送迎	ヘルパー	その他	無回答	
全体	3,786	58.3	18.9	18.0	3.4	3.9	6.0	
問2 年齢	未就学	173	0.6	85.0	31.2	0.0	0.6	0.6
	学齢期	736	39.9	42.5	27.2	4.9	4.3	1.9
	青年期	976	65.1	15.8	15.6	5.3	2.6	4.9

問20-4 現在、通園・通学・通勤・通所の際には、何を利用していますか。

(〇はいくつでも)

「徒歩」の割合が49.2%と最も高く、次いで「電車」の割合が43.3%、「バス」の割合が33.5%となっています。



【年齢区別と通学・通勤等に利用するもののクロス】

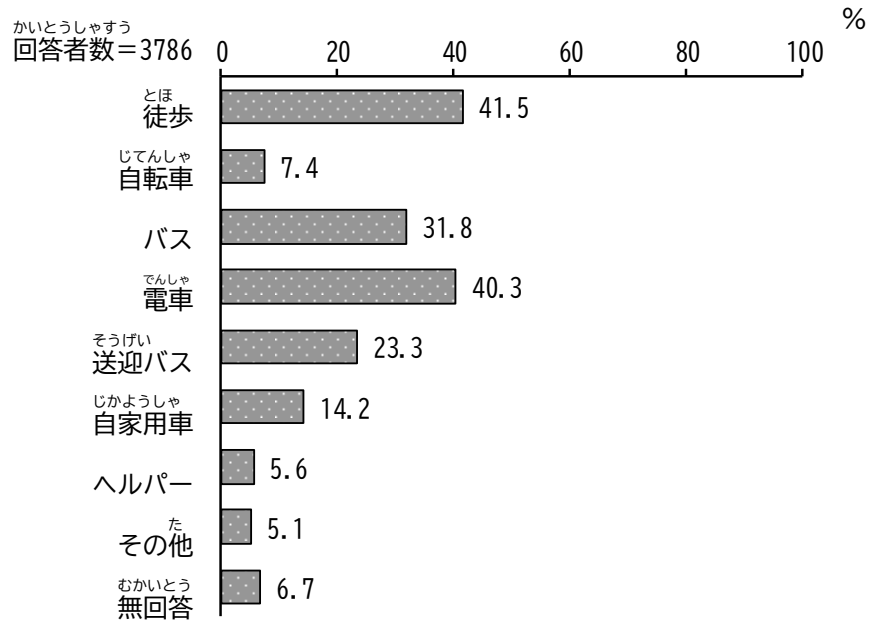
年齢区別にみると、「未就学」では「自家用車」が38.7%、「学齢期」では「徒歩」が65.5%、「青年期」では「電車」が59.6%で高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問20-4 通園・通学・通勤・通所時に利用するもの									
		徒歩	自転車	バス	電車	送迎バス	自家用車	ヘルパー	その他	無回答	
全体	3,786	49.2	5.4	33.5	43.3	15.7	16.5	2.6	5.1	4.1	
問2 年齢	未就学	173	33.5	27.7	15.6	11.6	30.1	38.7	0.0	2.9	0.6
	学齢期	736	65.5	3.5	19.7	19.4	21.5	23.6	4.5	5.6	1.5
	青年期	976	53.9	4.1	38.9	59.6	13.7	14.0	4.2	3.6	3.1

問20-5 今後、通園・通学・通勤・通所の際には、できれば何を利用したいですか。(〇はいくつでも)

「徒歩」の割合が41.5%と最も高く、次いで「電車」の割合が40.3%、「バス」の割合が31.8%となっています。



【年齢区別と通学・通勤等に利用したいもののクロス】

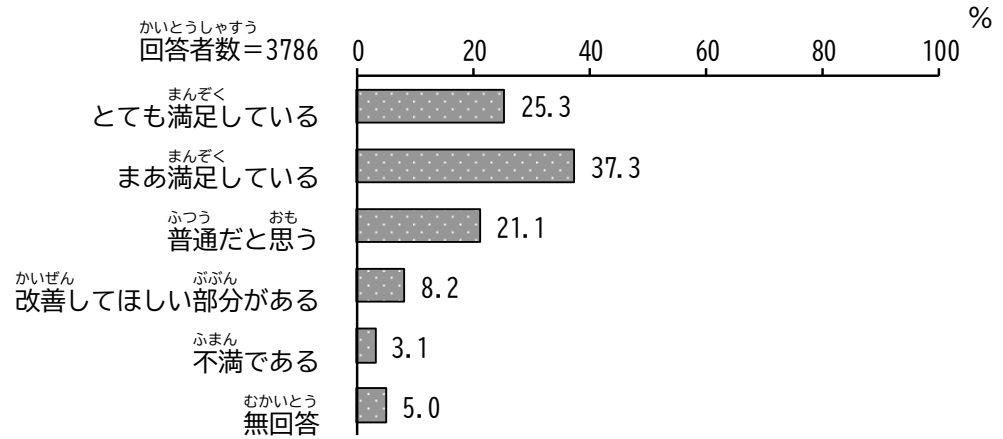
年齢区別にみると、「未就学」では「送迎バス」が53.8%、「学齢期」では「徒歩」が50.7%、「青年期」では「電車」が54.3%で高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問20-5 通園・通学・通勤・通所時に利用したいもの									
		徒歩	自転車	バス	電車	送迎バス	自家用車	ヘルパー	その他	無回答	
全体	3,786	41.5	7.4	31.8	40.3	23.3	14.2	5.6	5.1	6.7	
問2 年齢	未就学	173	38.2	22.0	13.3	10.4	53.8	19.1	7.5	2.3	2.3
	学齢期	736	50.7	7.7	25.8	28.1	30.8	13.6	11.8	3.8	4.1
	青年期	976	48.1	5.9	36.7	54.3	19.5	9.5	6.9	3.9	5.3

問20-6 主に利用している学校、仕事の間、施設（問20の回答）には満足していますか。
（○は1つだけ）

「とても満足している」「まあ満足している」を合わせた“満足している”の割合が62.6%となっています。



【年齢区分別と通学・通勤先の満足度のクロス】

年齢区分別にみると、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた“満足している”は、「未就学」で79.8%、「学齢期」で73.2%、「青年期」では67.1%となっています。一方、「改善してほしい部分がある」は「学齢期」で8.7%、「青年期」で8.7%と、「未就学」に比べて高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問20-6 主に利用している学校、仕事の間、施設の満足度					無回答
			ている	とても満足している	まあ満足している	普通だと思う	改善してほしい部分がある	
全体		3,786	25.3	37.3	21.1	8.2	3.1	5.0
問2 年齢	未就学	173	40.5	39.3	9.2	3.5	1.7	5.8
	学齢期	736	32.2	41.0	13.2	8.7	2.7	2.2
	青年期	976	27.7	39.4	18.1	8.2	3.1	3.5

【普段通っているところ別（未就学）と満足度のクロス】

普段通っているところ別にみると、「未就学」では「地域子育て支援拠点、親と子のつどいの広場」「地域療育センター」、「幼稚園」で「とても満足している」の割合が高くなっています。一方、「幼稚園」「児童発達支援事業所」で「改善してほしい部分がある」が他より高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問20-6 主に利用している学校、仕事の場、施設の満足度					
		とても満足している	まあ満足している	普通だと思っ	改善してほしい部分がある	不満である	無回答
全体	3,786	25.3	37.3	21.1	8.2	3.1	5.0
問20 普段通っているところ（未就学）	地域子育て支援拠点、親と子のつどいの広場	9	55.6	44.4	0.0	0.0	0.0
	幼稚園	52	36.5	34.6	9.6	9.6	0.0
	保育所	85	37.6	41.2	11.8	1.2	3.5
	地域療育センター	104	42.3	40.4	9.6	1.9	1.9
	児童発達支援事業所	79	38.0	41.8	7.6	5.1	1.3
	地域訓練会	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	19	21.1	36.8	26.3	10.5	5.3

【普段通っているところ別（学齢期）と満足度のクロス】

普段通っているところ別にみると、「学齢期」では、「特別支援学校高等部」、「インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校」以外の高等学校で「とても満足している」の割合が高く、「小・中学校の特別支援学校」「ハートフルフレンド・ハートフルルーム・ハートフルスペース」は、満足度も高い一方、「改善して欲しい部分がある」の割合も比較的高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問20-6 主に利用している学校、仕事の場、施設の満足度							
		とても満足している	まあ満足している	普通だと思っ	ある	改善してほ	不満である	無回答	
全体	3,786	25.3	37.3	21.1		8.2	3.1	5.0	
問20 普段通っているところ（学齢期）	小・中学校等の一般学級	125	23.2	38.4	24.0		9.6	0.8	4.0
	小・中学校等の個別支援学級	254	22.0	45.7	12.6		12.6	3.9	3.1
	小・中学校の特別支援学校	180	45.0	37.8	7.8		6.7	1.1	1.7
	特別支援学校高等部	128	35.2	41.4	10.2		7.8	2.3	3.1
	インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校	32	34.4	34.4	18.8		3.1	9.4	0.0
	「特別支援学校高等部」「インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校」以外の高等学校	39	51.3	33.3	7.7		2.6	2.6	2.6
	専門学校・大学・大学院	2	0.0	100.0	0.0		0.0	0.0	0.0
	ハートフルフレンド・ハートフルルーム・ハートフルスペース	6	33.3	33.3	16.7		16.7	0.0	0.0
	その他	24	16.7	50.0	16.7		8.3	8.3	0.0

【普段通っているところ別（青年期）と満足度のクロス】

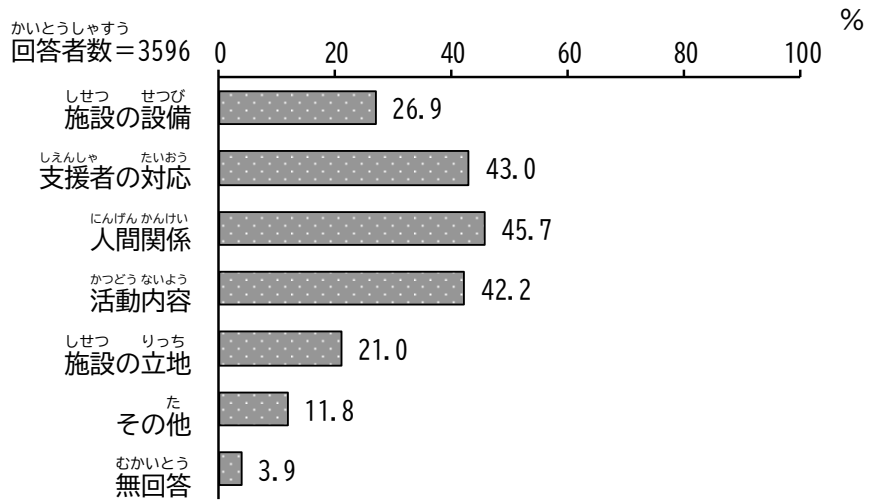
普段通っているところ別にみると、「青年期」では、「就労移行支援・生活介護・地域活動ホーム等の福祉サービス事業所」「地域活動支援センター（作業所）」で「とても満足している」「まあ満足している」の割合が高く、「生活支援センター」、「職業訓練校」で「不満である」の割合が他より比較的高くなっています。

単位：％

	回答者数 (件)	問20-6 主に利用している学校、仕事の場、施設の満足度						
		とても満足している	満足している	まあ満足している	普通だと思える	改善してほしい部分がある	不満である	無回答
全体	3,786	25.3	37.3	21.1	8.2	3.1	5.0	
問20 普段通っているところ（青年期）	専門学校・大学・大学院	78	24.4	30.8	26.9	5.1	6.4	6.4
	自営業	93	18.3	24.7	25.8	6.5	2.2	22.6
	会社・役所	1,304	21.2	33.9	27.8	10.7	3.9	2.5
	就労移行支援・生活介護・地域活動ホーム等の福祉サービス事業所	626	27.8	42.8	18.8	5.9	2.1	2.6
	地域活動支援センター（作業所）	291	25.8	40.2	18.6	9.3	3.8	2.4
	デイケア（病院等）	396	19.9	36.1	24.0	9.1	3.0	7.8
	生活支援センター	76	23.7	31.6	17.1	5.3	9.2	13.2
	職業訓練校	12	25.0	25.0	33.3	0.0	8.3	8.3
	生活教室（区役所）	14	0.0	35.7	28.6	0.0	7.1	28.6
	その他	295	18.0	33.6	21.0	8.1	4.1	15.3

問20-7 問20-6で回答した理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「人間関係」の割合が45.7%と最も高く、次いで「支援者の対応」の割合が43.0%、「活動内容」の割合が42.2%となっています。



【年齢区分別と満足度の理由のクロス】

年齢区分別にみると、「未就学」「学齢期」「青年期」の「支援者の対応」の割合がそれぞれ79.1%、59.9%、49.8%と、最も高くなっています。

単位：%

	回答者数(件)	問20-7 満足度の理由							
		施設の設備	支援者の対応	人間関係	活動内容	施設の立地	その他	無回答	
全体	3,596	26.9	43.0	45.7	42.2	21.0	11.8	3.9	
問2 年齢	未就学	163	27.0	79.1	41.1	60.7	22.1	3.1	1.2
	学齢期	720	25.6	59.9	48.5	53.2	20.1	7.6	3.1
	青年期	942	27.0	49.8	48.3	46.1	23.2	10.8	3.5

【普段通っているところ別（未就学）と満足度の理由のクロス】

普段通っているところ別にみると、「未就学」では、「その他」を除く、すべてで「支援者の対応」の割合が高く、次いで「活動内容」の割合が高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問20-7 満足度の理由							
		施設の設備	対応	支援者の	人間関係	活動内容	施設の立地	その他	無回答
全体	3,596	26.9	43.0	45.7	42.2	21.0	11.8	3.9	
問20 普段通っているところ（未就学）	地域子育て支援拠点、 親と子のつどいの広場	9	22.2	88.9	44.4	44.4	22.2	11.1	0.0
	幼稚園	47	29.8	72.3	42.6	55.3	12.8	4.3	4.3
	保育所	81	27.2	76.5	43.2	58.0	27.2	3.7	0.0
	地域療育センター	100	25.0	83.0	38.0	60.0	21.0	1.0	2.0
	児童発達支援事業所	74	29.7	87.8	33.8	63.5	21.6	5.4	1.4
	地域訓練会	2	0.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	その他	19	10.5	47.4	31.6	52.6	26.3	5.3	5.3

【普段通っているところ別（学齢期）と満足度の理由のクロス】

普段通っているところ別にみると、「学齢期」では、「小・中学校の特別支援学校」で「支援者の対応」、「インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校」で「人間関係」、「小・中学校の特別支援学校」、「特別支援学校高等部」「インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校」以外の高等学校」で「活動内容」の割合が高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問20-7 満足度の理由							
		施設の設備	支援者の対応	人間関係	活動内容	施設の立地	その他	無回答	
全体	3,596	26.9	43.0	45.7	42.2	21.0	11.8	3.9	
問20 普段通っているところ（学齢期）	小・中学校等の一般学級	120	28.3	37.5	55.8	30.0	21.7	5.8	10.0
	小・中学校等の個別支援学級	246	14.6	63.8	48.8	51.6	20.3	7.7	2.4
	小・中学校の特別支援学校	177	33.9	75.1	41.8	65.5	17.5	5.6	1.1
	特別支援学校高等部	124	29.8	65.3	46.8	54.0	18.5	4.8	1.6
	インクルーシブ教育実践推進校 や、定時制高校、通信制高校	32	28.1	43.8	65.6	65.6	18.8	15.6	3.1
	「特別支援学校高等部」 「インクルーシブ教育実践 推進校や、定時制高校、 通信制高校」以外の高等学校	38	28.9	31.6	52.6	57.9	21.1	13.2	5.3
	専門学校・大学・大学院	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0
	ハートフルフレンド・ハートフル ルーム・ハートフルスペース	6	66.7	83.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	その他	24	29.2	75.0	79.2	50.0	29.2	12.5	0.0

【普段通っているところ別（青年期）と満足度の理由のクロス】

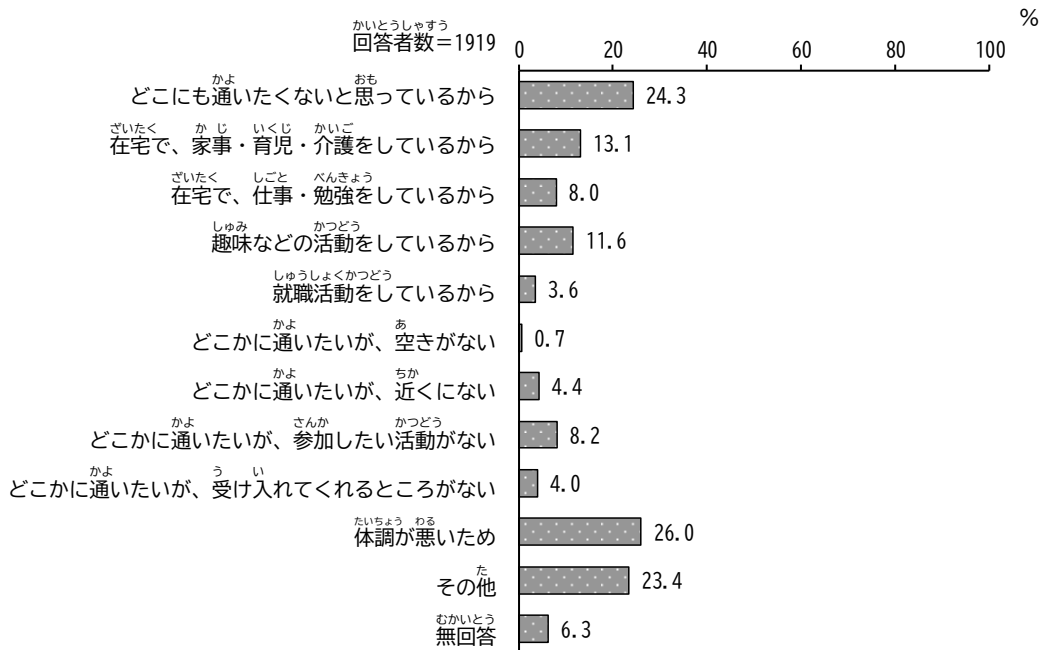
普段通っているところ別にみると、「青年期」では、「就労移行支援・生活介護・地域活動ホーム等の福祉サービス事業所」「地域活動支援センター（作業所）」「デイケア（病院等）」「生活支援センター」で「支援者の対応」の割合が高いのに対し、「専門学校・大学・大学院」「自営業」「会社・役所」では「人間関係」の割合が最も高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問20-7 満足度の理由							
		施設の設備	支援者の対応	人間関係	活動内容	施設の立地	その他	無回答	
全体	3,596	26.9	43.0	45.7	42.2	21.0	11.8	3.9	
問20 普段通っているところ（青年期）	専門学校・大学・大学院	73	34.2	28.8	52.1	32.9	13.7	8.2	8.2
	自営業	72	13.9	9.7	37.5	34.7	19.4	30.6	8.3
	会社・役所	1,271	26.4	16.1	55.6	30.8	19.5	16.8	4.5
	就労移行支援・生活介護・地域活動ホーム等の福祉サービス事業所	610	26.4	70.8	36.6	55.7	24.9	5.7	3.8
	地域活動支援センター（作業所）	284	21.8	58.5	40.8	48.6	21.1	8.8	2.8
	デイケア（病院等）	365	37.5	50.1	37.8	34.8	24.9	9.3	3.8
	生活支援センター	66	39.4	54.5	42.4	31.8	30.3	9.1	6.1
	職業訓練校	11	27.3	54.5	54.5	45.5	27.3	18.2	0.0
	生活教室（区役所）	10	20.0	30.0	50.0	40.0	40.0	10.0	0.0
	その他	250	27.2	32.4	39.6	36.8	22.8	24.8	2.0

問20-8 問20で「特に通っているところはない」と答えた方は、通っていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「体調が悪いため」の割合が26.0%と最も高く、次いで「どこにも通いたくないと思っているから」の割合が24.3%、「在宅で、家事・育児・介護をしているから」の割合が13.1%となっています。



【年齢区分別とどこにも通っていない理由のクロス】

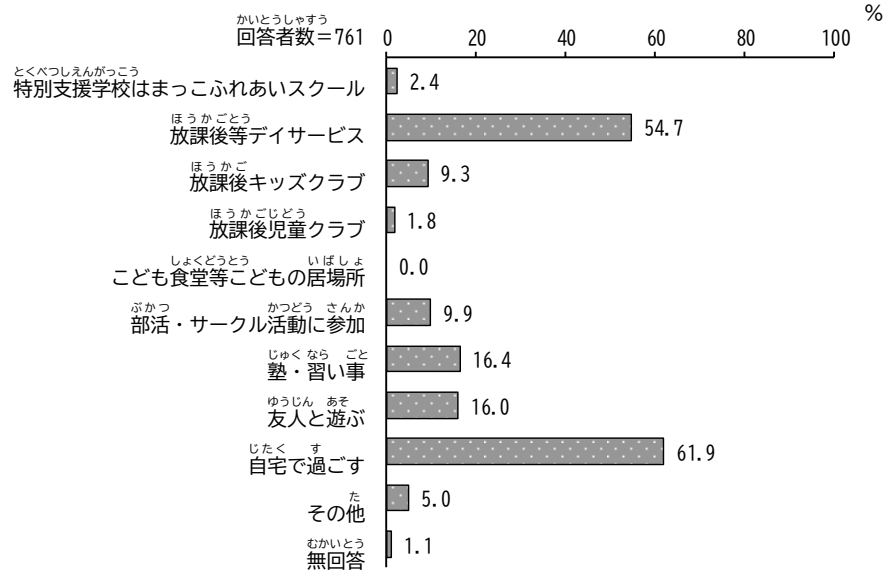
年齢区分別にみると、「学齢期」では「どこにも通いたくないと思っているから」の割合が43.8%で最も高く、「青年期」では、「体調が悪いため」の割合が32.6%、「どこにも通いたくないと思っているから」が24.3%、「在宅で、家事・育児・介護をしているから」が13.9%の順に高くなっています。

単位：%

	回答者数(件)	問20-8 普段どこにも通っていない理由																							
		いるから	どこにも通いたくないと思っているから	いるから	在宅で、家事・育児・介護をしているから	在宅で、仕事・勉強をしているから	趣味などの活動をしているから	就職活動をしているから	どこかに通いたいが、空気がない	どこかに通いたいが、近くにない	どこかに通いたいが、参加したい活動がない	どこかに通いたいが、受け入れてくれるところがない	どこかに通いたいが、参加したい活動がない	体調が悪いため	その他	無回答									
全体	1,919	24.3	24.3	13.1	13.1	8.0	8.0	11.6	11.6	3.6	3.6	0.7	0.7	4.4	4.4	8.2	8.2	4.0	4.0	26.0	26.0	23.4	23.4	6.3	6.3
問2 年齢	未就学	8	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	75.0	75.0	12.5	12.5	12.5	12.5
	学齢期	16	43.8	43.8	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	18.8	18.8	6.3	6.3
	青年期	230	24.3	24.3	13.9	13.9	10.0	10.0	13.0	13.0	7.0	7.0	1.7	1.7	7.0	7.0	10.9	10.9	4.8	4.8	32.6	32.6	20.4	20.4	5.2

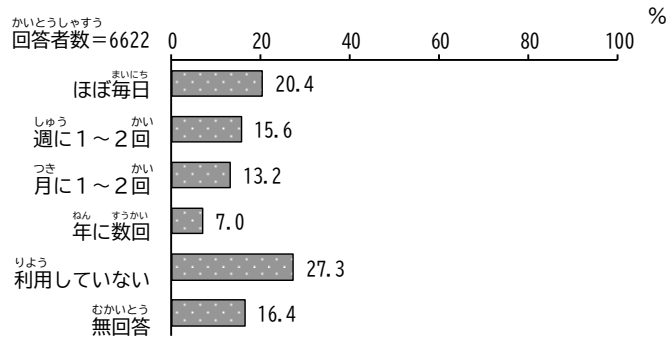
問21 学齢期（小・中・高校など）の方におたずねします。放課後は主にどのように過ごしていますか。（○はいくつでも）

「自宅で過ごす」の割合が61.9%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス」の割合が54.7%、「塾・習い事」の割合が16.4%となっています。



問22 あなたは福祉特別乗車券をどのくらい利用していますか。（○は1つだけ）

「利用していない」の割合が27.3%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」の割合が20.4%、「週に1～2回」の割合が15.6%となっています。



【年齢区分別と福祉特別乗車券をどのくらい利用しているかのクロス】

年齢区分別にみると、年齢区分が上がるほど「ほぼ毎日」「週に1～2回」の割合が高く、「利用していない」は、年齢が上がるほど割合が低くなっています。

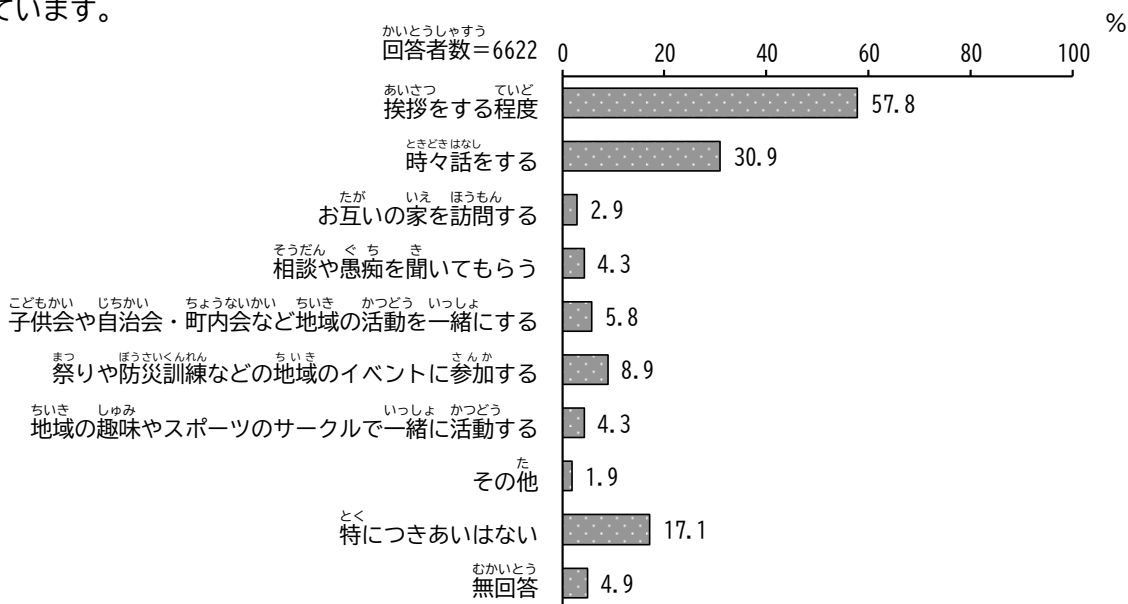
単位：%

	回答者数 (件)	問22 福祉特別乗車券をどのくらい利用しているか						
		ほぼ毎日	1～2週に	1～2月に	年に数回	利用していない	無回答	
全体	6,622	20.4	15.6	13.2	7.0	27.3	16.4	
問2 年齢	未就学	203	0.5	3.9	4.9	4.9	57.6	28.1
	学齢期	771	15.2	14.3	13.9	10.0	45.0	1.7
	青年期	1260	33.3	16.0	11.5	5.4	24.4	9.4

近所の人とのおつきあいや余暇についておたずねします

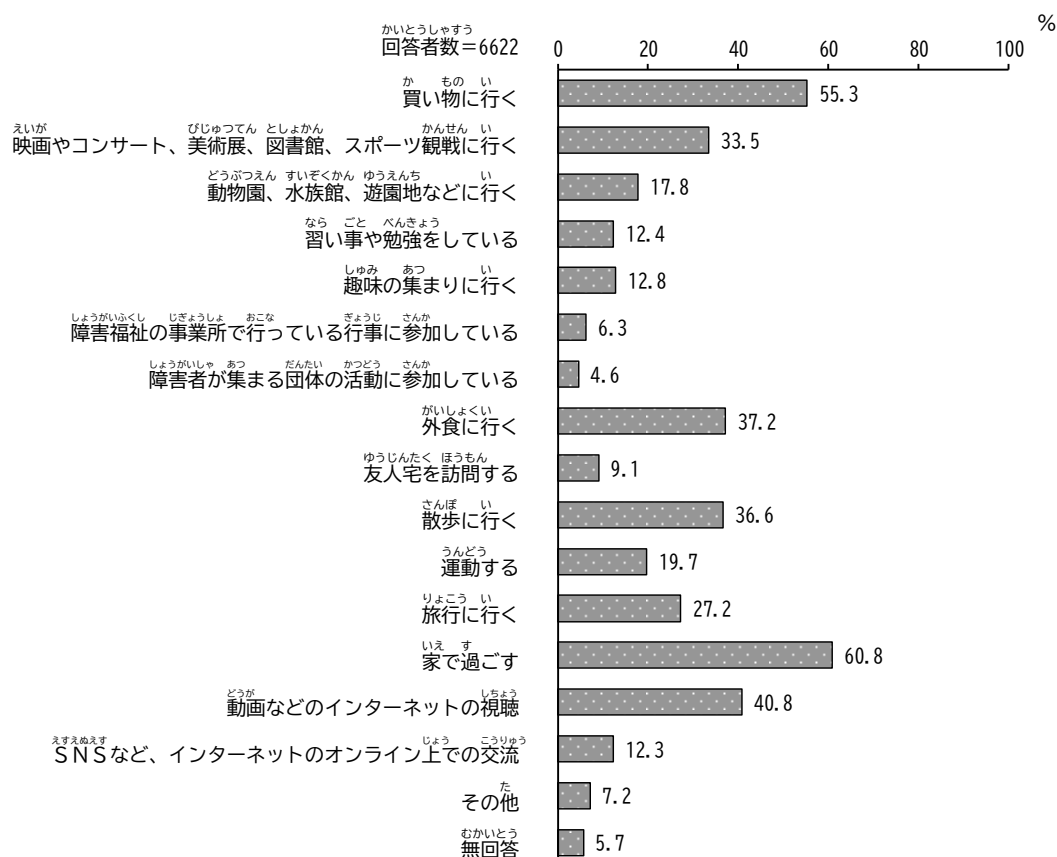
問23 あなたは近所の人とどのようなおつきあいをしたいと思っていますか。(〇はいくつでも)

「挨拶をする程度」の割合が57.8%と最も高く、次いで「時々話をする」の割合が30.9%となっています。



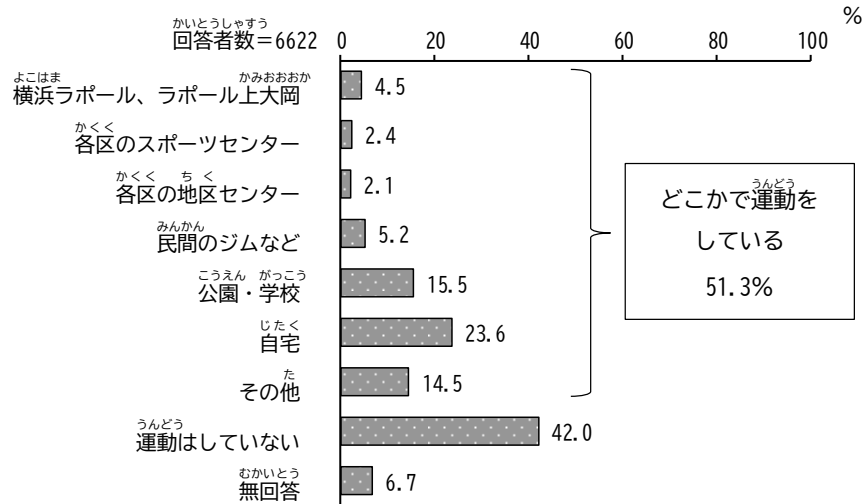
問24 あなたは自由時間や余暇時間をどのように過ごしたいですか。(〇はいくつでも)

「家で過ごす」の割合が60.8%と最も高く、次いで「買い物に行く」の割合が55.3%、「動画などのインターネットの視聴」の割合が40.8%となっています。



問24-1 あなたは、運動をどこでしていますか。(〇はいくつでも)

どこかで運動をしている方は全体の51.3%で、運動をしている場所は、「自宅」の割合が23.6%、「公園・学校」15.5%、「その他」14.5%の順に高くなっています。
一方、「運動はしていない」の割合は42.0%となっています。



【運動をする場所別と健康・医療について必要なことのクロス】

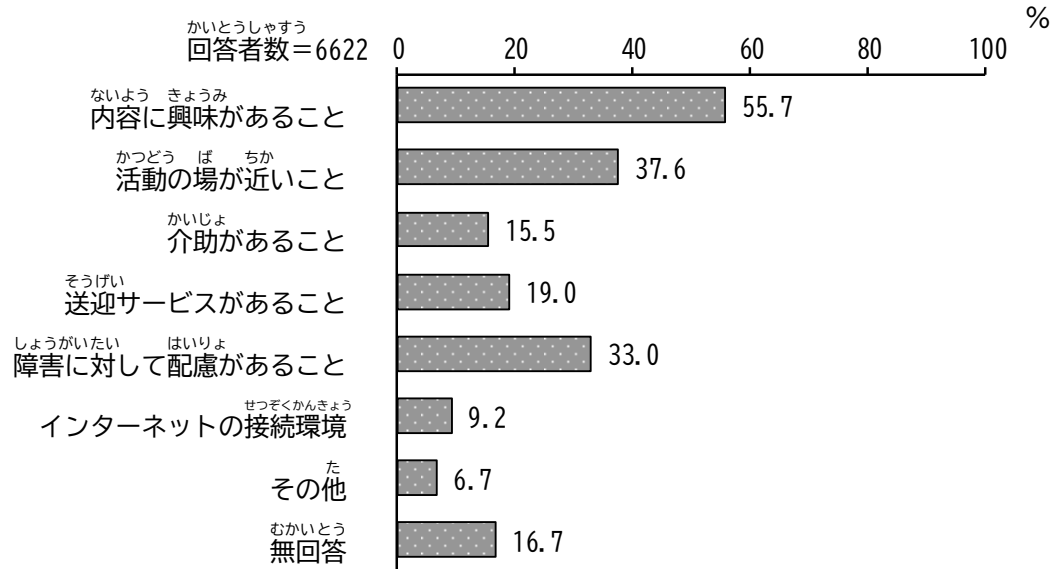
運動をする場所別にみると、「公園・学校」を除くすべての場所で、「適度な運動」、次いで「十分な睡眠と休養」の割合が高くなっています。一方、「公園・学校」では、「十分な睡眠と休養」の割合が最も高くなっています。

たんい：%

	回答者数 (件)	問31 健康・医療について、必要なこと											
		薬の管理	栄養面での管理・指導	口腔ケア・嚥下機能の維持	医療の利用	訪問看護や往診など、在宅で、相談できる場所	自分の障害・病気について、相談できる場所	自分の体調について、相談できる場所	定期的な健康診断	適度な運動	十分な睡眠と休養	特に何も無い	無回答
全体	6,622	38.5	23.6	20.6	11.5	28.6	26.4	35.3	46.1	47.5	12.0	6.2	
問24-1 運動をする場所	横浜ラポール、ラポール上大岡	299	46.8	31.1	26.4	11.7	29.1	34.4	44.1	54.5	45.8	12.0	2.7
	各区のスポーツセンター	156	41.7	27.6	21.8	5.1	32.1	36.5	50.0	63.5	55.1	8.3	2.6
	各区の地区センター	137	40.1	26.3	17.5	8.0	25.5	25.5	40.1	56.2	51.1	10.9	2.9
	民間のジムなど	343	35.0	23.9	19.2	5.2	31.2	29.4	39.4	64.4	61.2	10.8	3.2
	公園・学校	1,024	40.2	24.9	24.2	8.2	37.1	28.3	38.0	53.8	55.8	12.0	3.2
	自宅	1,566	38.9	26.1	22.3	12.5	32.4	30.7	40.8	60.3	55.6	10.3	3.2
	その他	958	39.8	26.5	22.7	12.1	32.3	30.4	41.3	56.1	53.3	12.5	2.9
	運動はしていない	2,780	39.9	23.7	20.6	13.3	27.9	26.7	34.2	38.6	45.3	12.8	3.9

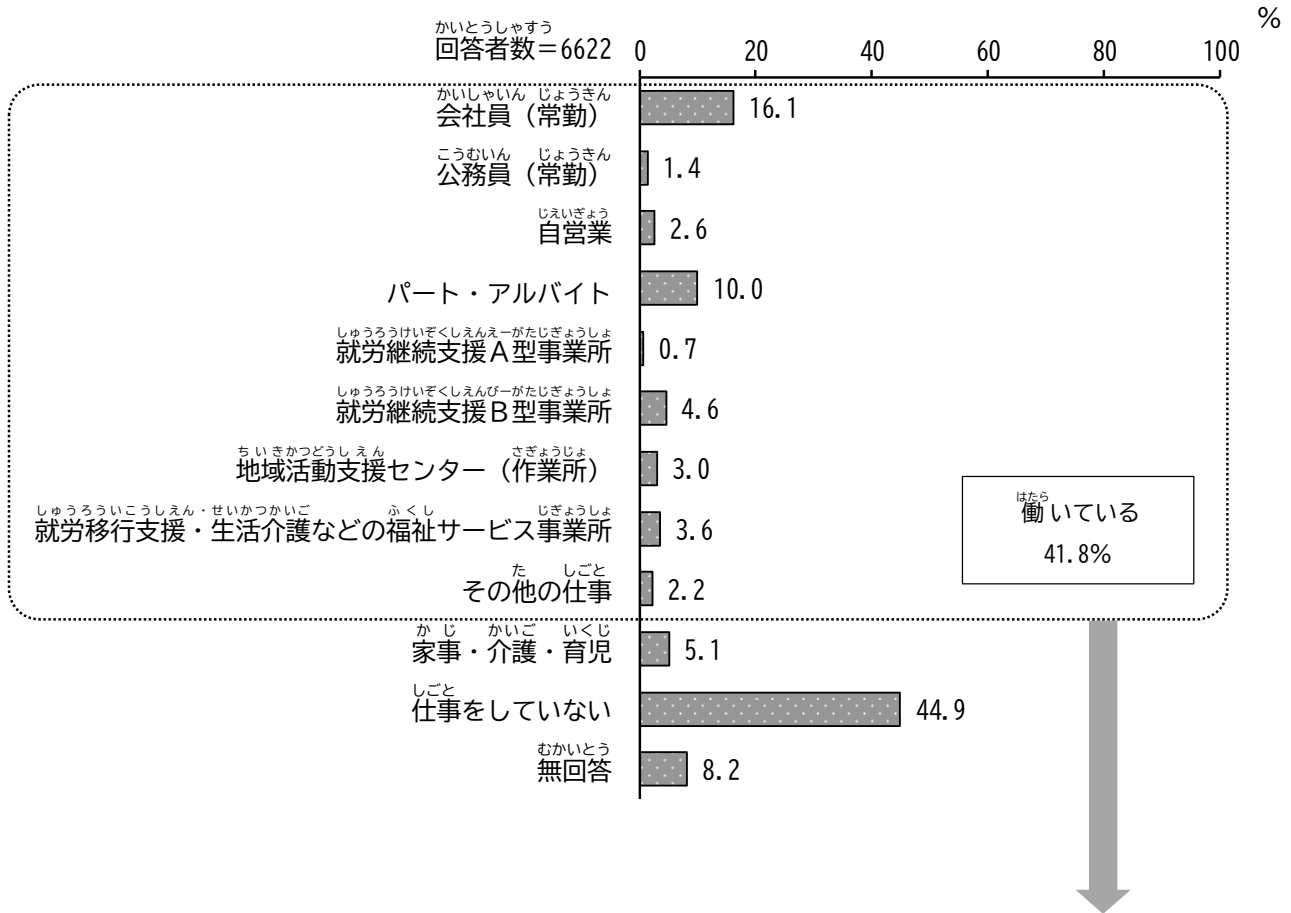
問24-2 今後、学校や職場以外での活動に参加するにはどのようなことが必要ですか。(〇は
いくつでも)

「内容に興味があること」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「活動の場が近いこと」の割合が
37.6%、「障害に対して配慮があること」の割合が 33.0%となっています。



問25 あなたは、現在どのような仕事をしていますか。(○はいくつでも)

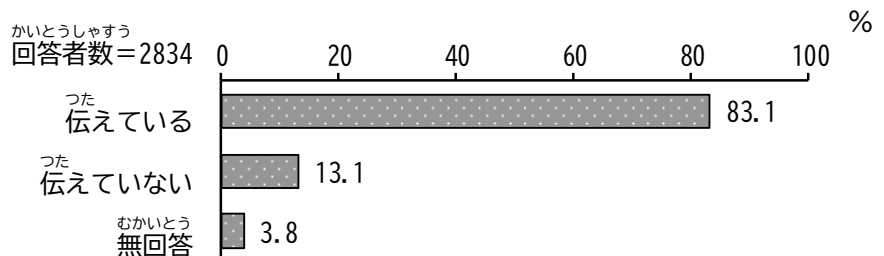
現在働いている方は全体の41.8%、内訳は「会社員(常勤)」の割合が16.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が10.0%となっています。



問25で「会社員(常勤)」から「その他の仕事」までに回答した方にうかがいます。「家事・介護・育児」、「仕事をしていない」を回答した方は問25-6へ。

問25-1 自分の障害のことを仕事場の人に伝えてありますか。(○は1つだけ)

「伝えている」の割合が83.1%、「伝えていない」の割合が13.1%となっています。



【就労状況別と仕事での困っていることのクロス】

就労状況別にみると、「会社員（常勤）」「公務員（常勤）」は「仕事場までの通勤が大変」の割合が高くなっています。また、「自営業」「パート・アルバイト」「就労継続支援A型事業所」「就労継続支援B型事業所」は「休むと収入がない」の割合が高く、「地域活動支援センター（作業所）」「就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所」は、「仕事場でのコミュニケーションがうまくとれない」の割合が高くなっています。

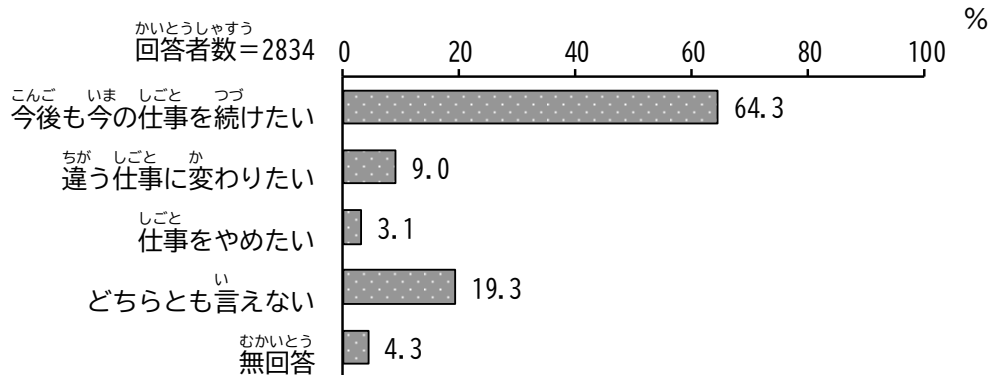
単位：%

		回答者数 (件)	問25-2 仕事をしていて困っていること									
			仕事 がむずか し	ぎ る	仕事 がやさ し	休 むと 収入 が	休 みが 少な い	休 みが 多 すぎ る	え ない	理 解を して もら ない	障 害に つ いて	通 勤が 大 変
全 体		2,834	7.0	2.8	19.7	5.8	1.3		7.5			14.5
問25 現在 の仕事	会社員（常勤）	1,069	8.3	2.4	10.9	8.4	0.3		9.6			20.3
	公務員（常勤）	96	8.3	4.2	7.3	8.3	0.0		18.8			25.0
	自営業	174	4.6	0.0	26.4	5.2	0.6		2.9			9.2
	パート・アルバイト	663	6.6	2.1	38.5	5.7	2.6		8.7			11.2
	就労継続支援A型事業所	48	2.1	2.1	29.2	10.4	2.1		10.4			10.4
	就労継続支援B型事業所	305	5.2	5.2	21.6	2.6	1.3		3.0			10.8
	地域活動支援センター (作業所)	197	7.1	3.6	15.2	0.5	3.0		2.5			8.6
	就労移行支援・生活介護 などの福祉サービス事業所	240	4.2	2.9	10.0	2.1	1.7		2.5			4.6
	その他の仕事	144	9.0	5.6	23.6	3.5	2.8		9.7			18.8

		回答者数 (件)	問25-2 仕事をしていて困っていること								
			配 慮が 足 り な い	仕 事 場 の 建 物 や 設 備 に 関 心 が あ る	相 談 す る と こ ろ が な い	仕 事 場 や 仕 事 に つ い て の こ と が な い	シ ョ ン が う ま く と れ な い	仕 事 場 で の コ ミ ュ ニ ケ シ ョ ン が う ま く と れ な い	な ど に 差 が あ る	障 害 が な い 人 と 比 べ て 仕 事 の 内 容 や 昇 進 の 機 会 が あ る	そ の 他
全 体			5.0	6.2		14.2		8.5	11.8	38.0	5.4
問25 現在 の仕事	会社員（常勤）		6.2	7.9		14.4		12.7	9.6	40.1	2.2
	公務員（常勤）		11.5	9.4		12.5		11.5	17.7	41.7	1.0
	自営業		1.7	4.6		5.2		2.9	14.9	40.2	10.3
	パート・アルバイト		5.7	6.9		15.1		9.5	13.4	31.7	2.4
	就労継続支援A型事業所		6.3	0.0		16.7		4.2	12.5	37.5	6.3
	就労継続支援B型事業所		4.3	2.3		16.1		3.0	5.2	38.7	8.2
	地域活動支援センター (作業所)		2.5	3.0		15.7		2.0	13.2	36.0	18.8
	就労移行支援・生活介護 などの福祉サービス事業所		2.1	3.3		15.4		2.1	14.2	41.7	14.6
	その他の仕事		4.2	11.1		13.9		9.0	20.8	34.0	3.5

問25-3 今後も今の仕事を続けたいかについておたずねします。(○は1つだけ)

「今後も今の仕事を続けたい」の割合が64.3%、「どちらとも言えない」19.3%の順に高くなっています。一方、「仕事をやめたい」の割合は3.1%となっています。



【就労状況別と今の仕事を継続したいかのクロス】

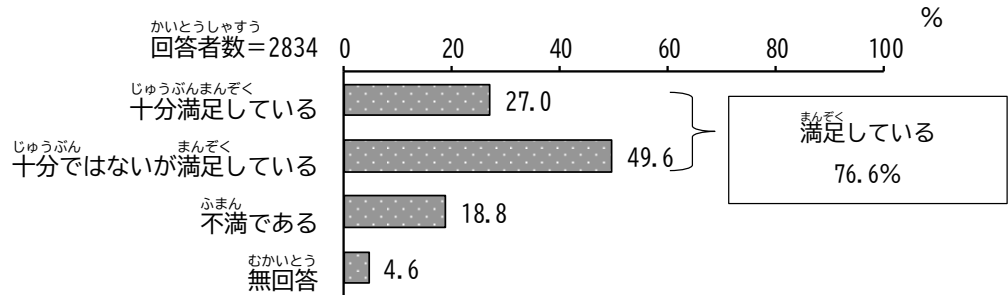
就労状況別にみると、すべての仕事で「今後も今の仕事を続けたい」が最も高くなっています。一方、「パート・アルバイト」「就労継続支援A型事業所」では、「違う仕事に変わりたい」の割合が他よりやや高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問25-3 今後も今の仕事を続けたいか					無回答
		今後も今の仕事を続けたい	違う仕事に変わりたい	仕事をやめたい	ない	どちらとも言えない	
全体	2,834	64.3	9.0	3.1	19.3	4.3	
問25 現在の仕事	会社員(常勤)	1,069	68.2	9.3	3.5	18.1	1.0
	公務員(常勤)	96	65.6	7.3	7.3	17.7	2.1
	自営業	174	69.5	4.0	4.0	15.5	6.9
	パート・アルバイト	663	56.7	12.2	3.9	24.0	3.2
	就労継続支援A型事業所	48	62.5	18.8	4.2	10.4	4.2
	就労継続支援B型事業所	305	66.9	8.5	1.6	17.0	5.9
	地域活動支援センター(作業所)	197	61.4	7.1	1.0	16.2	14.2
	就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所	240	63.3	5.8	1.3	16.7	12.9
	その他の仕事	144	55.6	4.9	1.4	33.3	4.9

問25-4 今の仕事でもらえるお金（賃金・給料・工賃など）についておたずねします。（○は1つだけ）

「十分満足している」「十分ではないが満足している」を合わせた“満足している”の割合が76.6%となっています。一方、「不満である」の割合は18.8%となっています。



【就労状況別と今の仕事でもらえるお金の満足度のクロス】

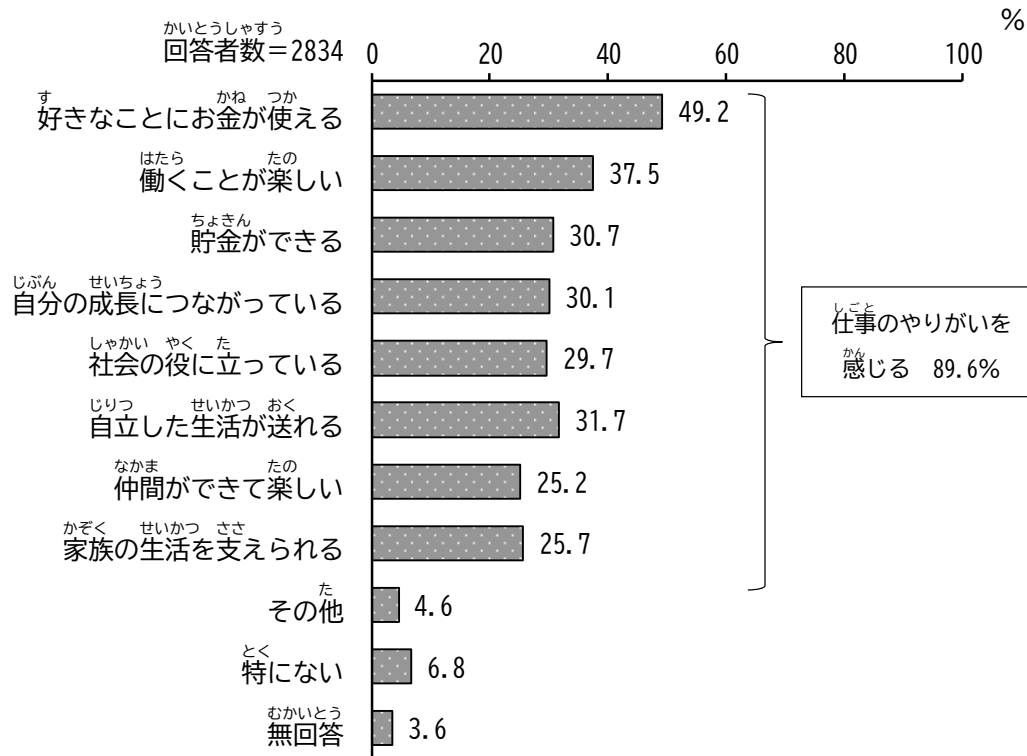
就労状況別にみると、「公務員（常勤）」「会社員（常勤）」で、“満足している”の割合が高くなっています。一方、「地域活動支援センター（作業所）」「就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所」について「不満である」の割合が、他と比較してやや高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問25-4 今の仕事でもらえるお金の満足度				
			している 十分満足	している 十分ではないが満足	不満である	無回答	
全体		2,834	27.0	49.6	18.8	4.6	
問25 現在の仕事	会社員（常勤）	1,069	35.8	48.8	14.0	1.3	
	公務員（常勤）	96	41.7	46.9	10.4	1.0	
	自営業	174	24.1	46.6	22.4	6.9	
	パート・アルバイト	663	20.8	57.5	19.8	2.0	
	就労継続支援A型事業所	48	35.4	37.5	22.9	4.2	
	就労継続支援B型事業所	305	19.7	53.1	20.7	6.6	
	地域活動支援センター（作業所）	197	15.7	43.7	25.9	14.7	
	就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所	240	17.1	41.7	25.8	15.4	
	その他の仕事	144	22.9	46.5	22.9	7.6	

問25-5 あなたが感じる仕事のやりがいについておたずねします。(〇はいくつでも)

仕事のやりがいを感じている人は 89.6%で、具体的には「好きなことにお金を使える」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「働くことが楽しい」の割合が 37.5%、「自立した生活を送れる」の割合が 31.7%となっています。



【就労状況別と仕事のやりがいのクロス】

就労状況別にみると、「会社員（常勤）」「自営業」「パート・アルバイト」「就労継続支援A型事業所」「就労継続支援B型事業所」は「好きなことにお金を使える」が、「公務員」は「社会の役に立っている」が、「地域活動支援センター（作業所）」「就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所」は「働くことが楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問25-5 仕事のやりがい											
		好きなことにお金 を使える	働くことが 楽しい	貯金が できる	自分の 成長につな がっている	社会の 役に立っ ている	自立した 生活が送 れる	仲間が できて楽 しい	家族の 生活を 支えられる	その他	特 に ない	無 回 答	
全体	2,834	49.2	37.5	30.7	30.1	29.7	31.7	25.2	25.7	4.6	6.8	3.6	
問25 現在の 仕事	会社員（常勤）	1,069	57.1	36.0	38.6	32.7	35.1	39.5	21.8	39.7	3.0	4.8	1.2
	公務員（常勤）	96	40.6	34.4	34.4	44.8	55.2	46.9	26.0	44.8	4.2	3.1	2.1
	自営業	174	40.2	37.4	24.1	31.6	33.9	33.9	21.3	29.9	6.3	8.0	5.7
	パート・アルバイト	663	53.8	38.2	33.3	29.6	33.9	32.4	23.2	23.4	5.7	6.3	1.7
	就労継続支援 A型事業所	48	54.2	39.6	37.5	39.6	20.8	31.3	37.5	20.8	8.3	8.3	4.2
	就労継続支援 B型事業所	305	47.9	42.0	24.6	28.5	16.4	21.0	32.5	5.9	3.0	7.9	4.9
	地域活動支援セン ター（作業所）	197	31.0	36.5	11.2	19.3	13.2	11.7	29.4	6.6	6.6	11.2	13.2
	就労移行支援・ 生活介護などの福祉 サービス事業所	240	25.8	37.1	10.4	21.3	12.5	12.1	33.3	4.2	7.1	15.8	10.8
	その他の仕事	144	51.4	42.4	33.3	38.9	36.8	43.1	29.9	17.4	10.4	4.2	2.8

【将来暮らしたい人別と仕事のやりがいのクロス】

将来暮らしたい人別にみると、「一人」、「妻や夫」、「親」、「兄弟・姉妹」で「好きなことにお金を使える」の割合が高くなっています。「友人・知人・仲間など」は「好きなことにお金を使える」以外に「働くことが楽しい」「仲間ができて楽しい」について、他と比較して高い割合になっています。また、「一人」では「自立した生活が送れる」「貯金ができる」、「妻や夫」では「自分の成長につながっている」も比較的高い割合になっています。「子」では「家族の生活を支えられる」の割合が最も高くなっています。

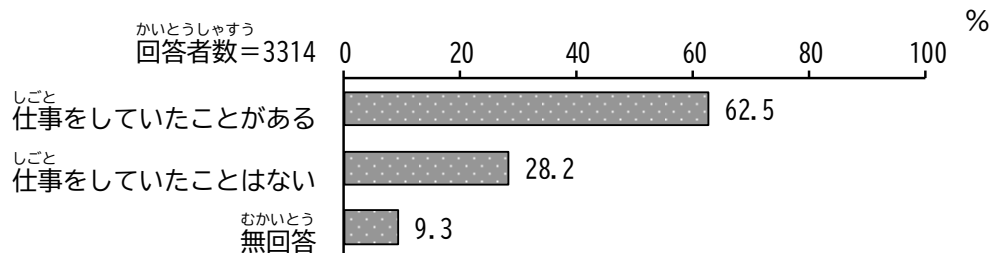
単位：%

	回答者数 (件)	問25-5 仕事のやりがい											
		好きなことにお金を使える	働くことが楽しい	貯金ができる	自分の成長につながっている	社会の役に立っている	自立した生活が送れる	仲間ができて楽しい	家族の生活を支えられる	その他	特にない	無回答	
全体	2,834	49.2	37.5	30.7	30.1	29.7	31.7	25.2	25.7	4.6	6.8	3.6	
問19-1 将来暮らしたい人	一人	765	55.2	37.3	38.3	32.9	31.9	43.8	23.3	12.9	5.2	6.7	2.9
	妻や夫	1,180	50.9	41.3	34.2	35.9	39.1	36.8	25.3	45.4	2.7	4.3	1.8
	子	470	49.6	39.8	30.2	33.4	35.5	32.3	24.7	52.3	3.6	3.8	1.7
	親	689	55.3	36.9	34.1	30.5	24.8	22.1	27.6	18.6	4.6	8.1	3.2
	兄弟・姉妹	268	53.7	34.7	29.9	26.1	26.1	24.6	29.5	21.3	5.2	9.3	4.5
	友人・知人・仲間など	327	47.4	45.3	25.4	31.2	26.6	28.4	41.3	8.3	5.2	6.1	5.8
	その他	239	40.6	35.1	25.1	22.2	23.4	25.1	21.3	10.5	15.5	13.4	3.3

問25で「家事・介護・育児」「仕事をしていない」と回答した方にかがいます。

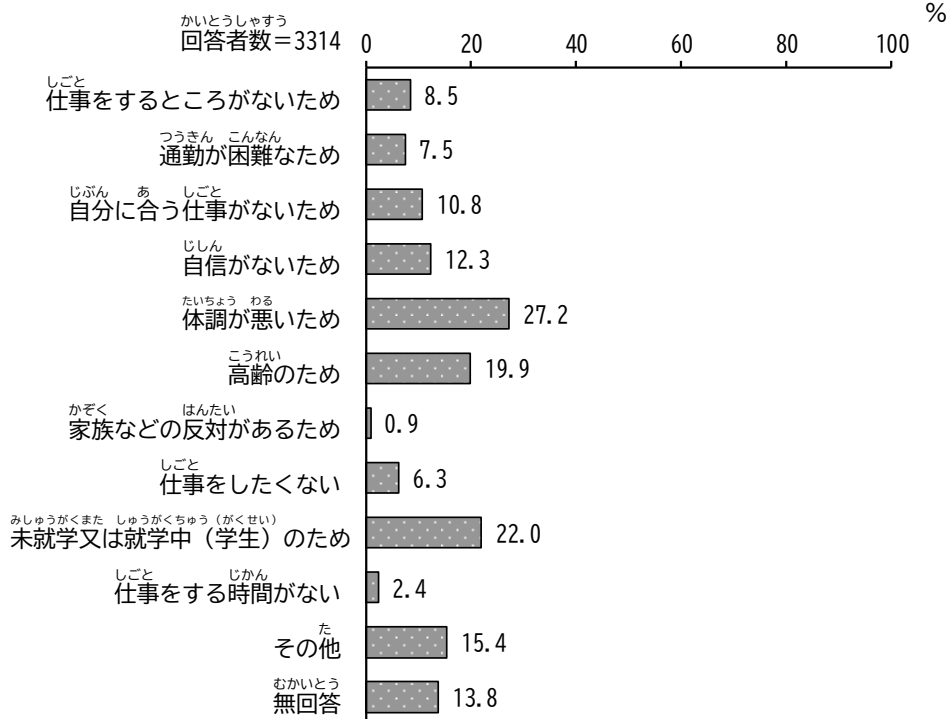
問25-6 あなたは過去に仕事をしていたことがありますか。(○は1つだけ)

「仕事をしていたことがある」の割合が62.5%、「仕事をしていたことはない」の割合が28.2%となっています。



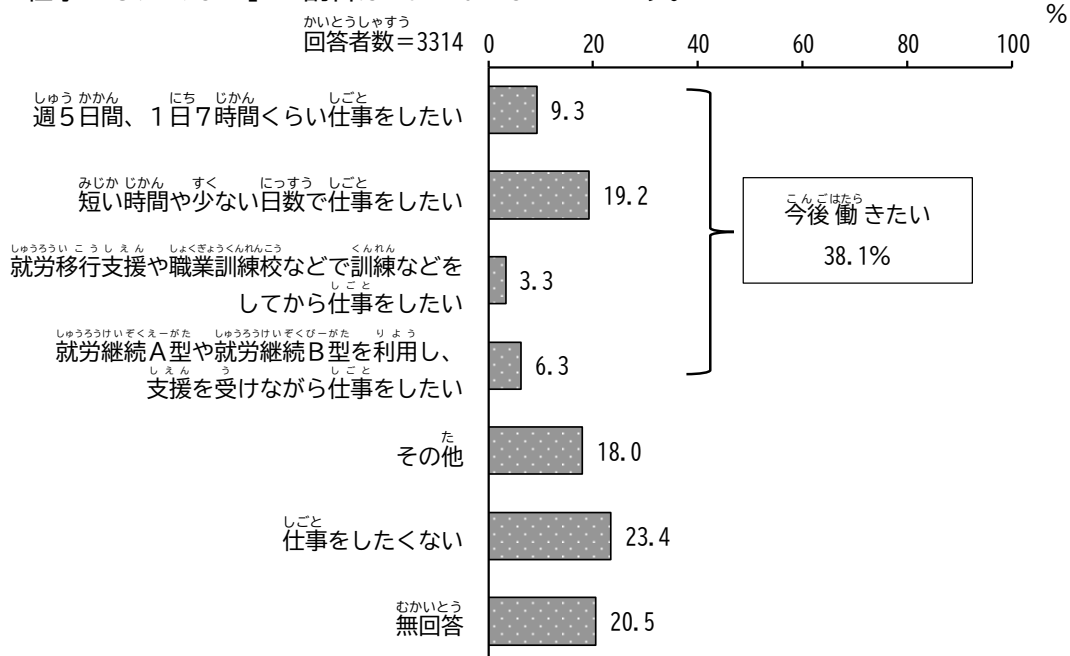
問25-7 仕事をしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「体調が悪い」の割合が27.2%、「未就学又は就学中(学生)のため」が22.0%、「高齢のため」が19.9%の順に高くなっています。
一方、「仕事をしたくない」の割合は6.3%となっています。



問25-8 今後の仕事の希望についておたずねします。(〇は1つだけ)

今後働きたい方は38.1%、具体的には、「短い時間や少ない日数で仕事をしたい」の割合が19.2%、「週5日間、1日7時間くらい仕事をしたい」が9.3%、「就労継続A型や就労継続B型を利用し、支援を受けながら仕事をしたい」が6.3%の順に高くなっています。
一方、「仕事をしたくない」の割合は23.4%となっています。



【年齢区分別と今後の就労希望のクロス】

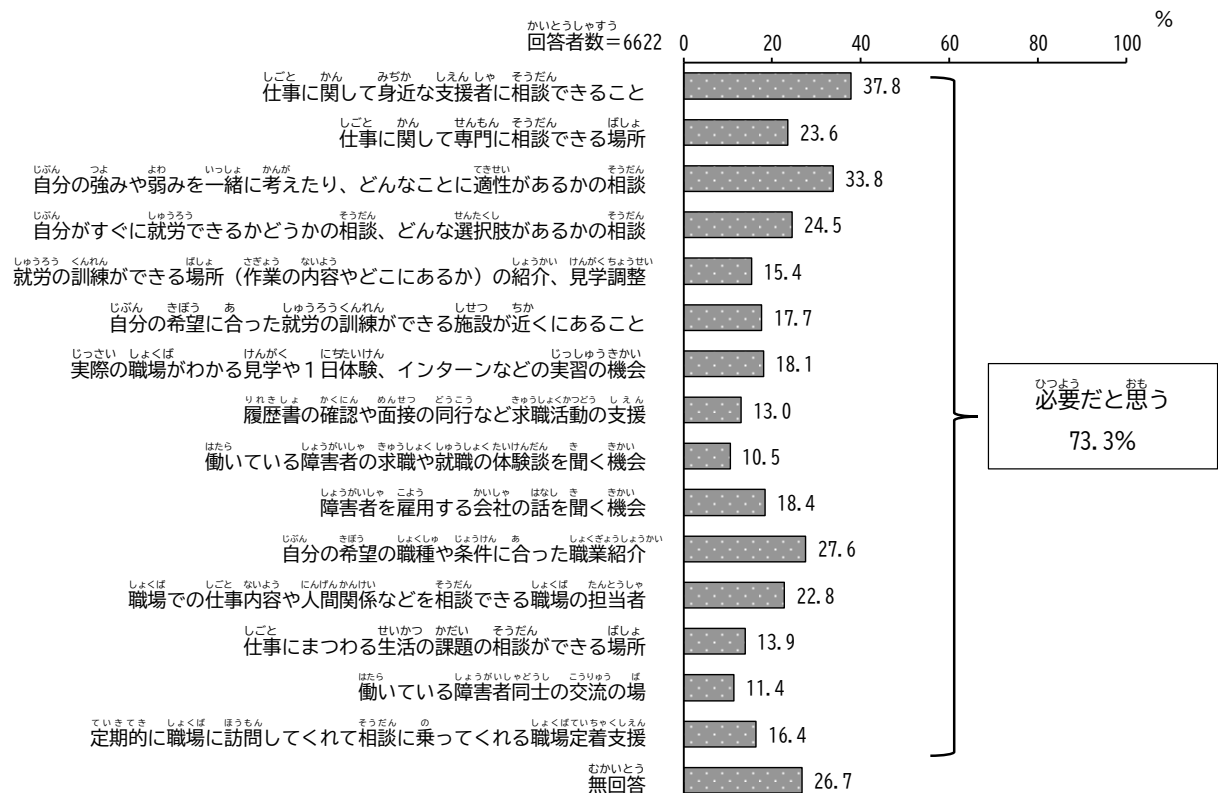
年齢区分別にみると、「20歳未満」「20～30歳代」「40歳代」で「今後働きたい」の割合が高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問25-8 今後の就労希望			
			今後働きたい	その他	仕事をしたくない	無回答
全 体		3,314	38.1	18.0	23.4	20.5
問2 年齢	20歳未満	781	60.1	18.7	2.9	18.3
	20～30歳代	302	56.0	17.5	12.9	13.6
	40歳代	273	48.7	20.5	15.4	15.4
	50歳代	550	41.8	23.5	20.0	14.7
	60歳以上	1,371	17.6	15.2	40.9	26.3

問26 全ての方におたずねします。仕事について、仕事を続けるために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

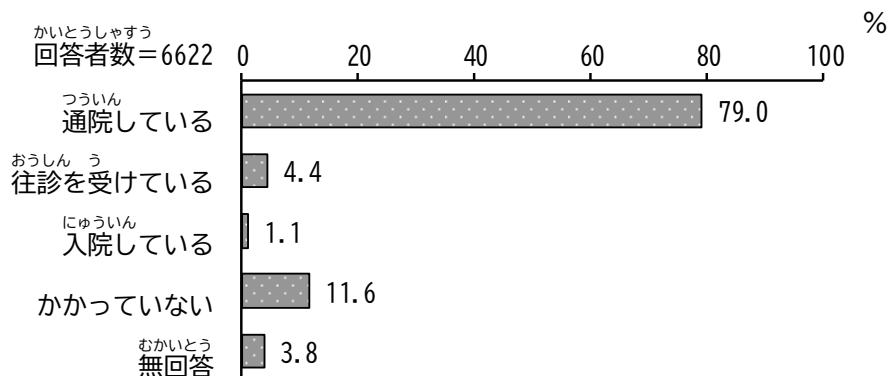
仕事について、仕事を続けるために何らかの支援が必要だと思う人は、73.3%。具体的には、「仕事に関して身近な支援者に相談できること」の割合が37.8%と最も高く、次いで「自分の強みや弱みを一緒に考えたり、どんなことに適性があるかの相談」の割合が33.8%、「自分の希望の職種や条件に合った職業紹介」の割合が27.6%となっています。



医療と健康についておたずねします

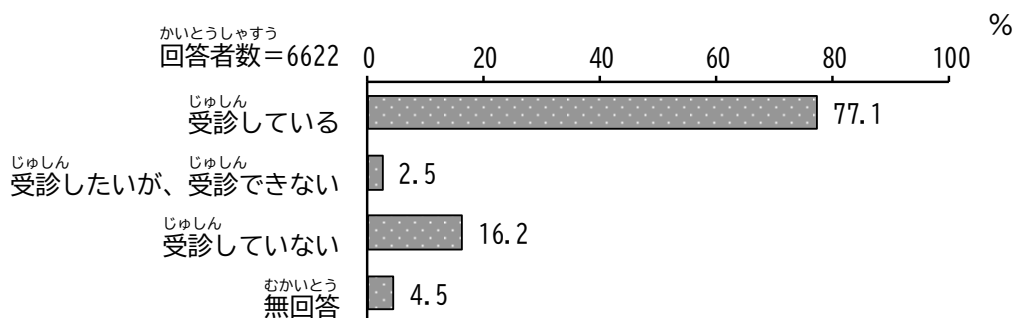
問27 あなたは現在医療機関にかかっていますか。(○は1つだけ)

「通院している」の割合が79.0%、「往診を受けている」は4.4%、「入院している」は1.1%の順に高くなっています。一方、「かかっていない」の割合は11.6%となっています。



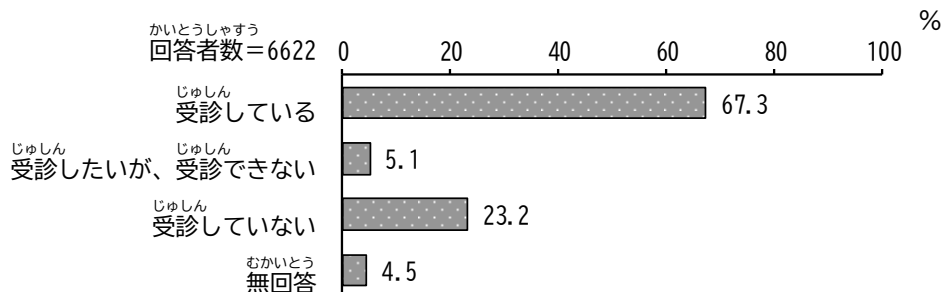
問28 あなたは、障害を専門に診察してくれる主治医の他に、風邪をひいた時などに診察を受ける近くのクリニックなどへ受診していますか。(○はいくつでも)

「受診している」の割合が77.1%、「受診したいが、受診できない」の割合が2.5%、「受診していない」の割合が16.2%となっています。



問29 あなたは、障害を専門に診察してくれる主治医の他に、歯や口の健康のことで診察を受けるために近くの歯科クリニックへ受診していますか。(○はいくつでも)

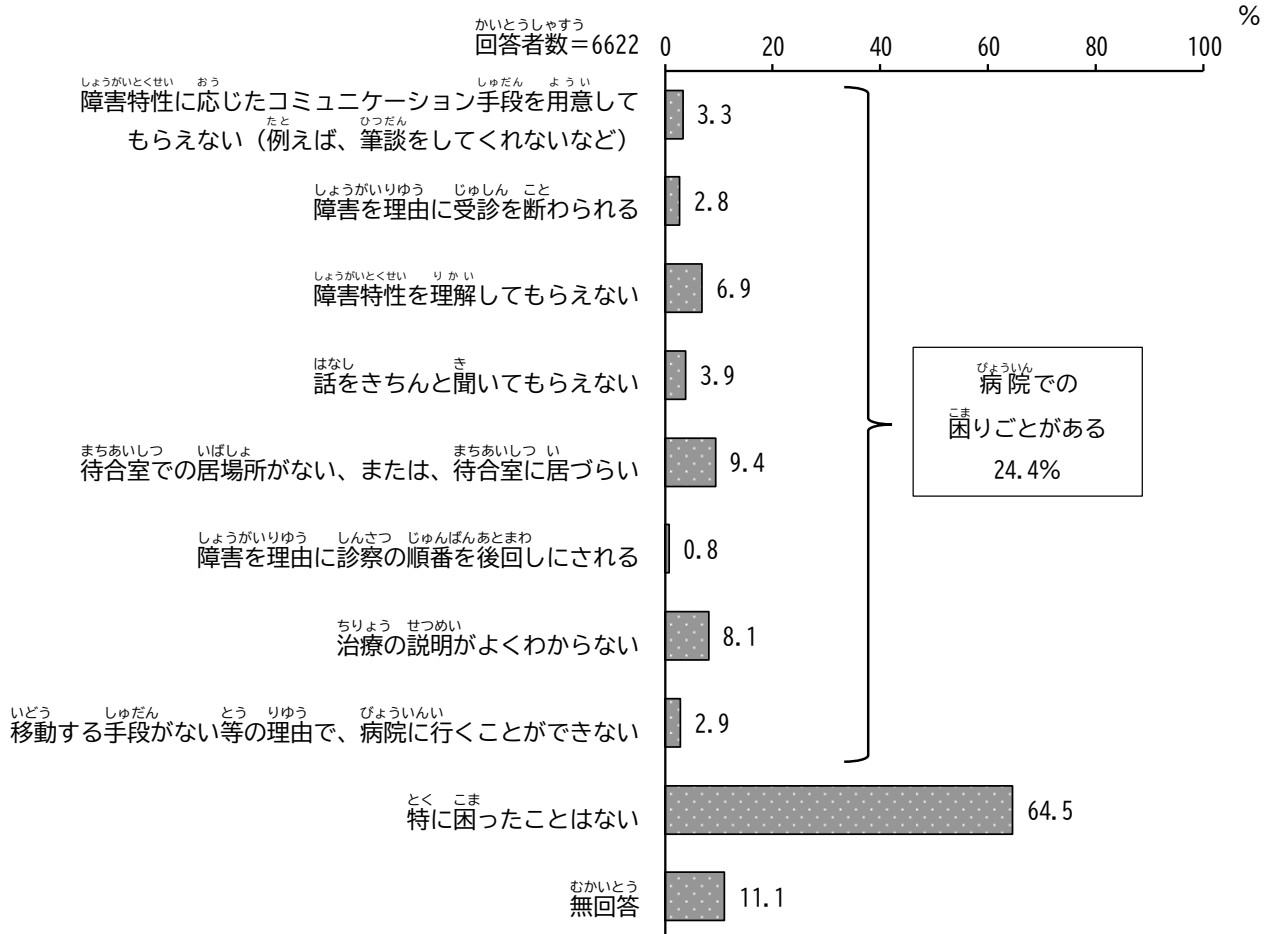
「受診している」の割合が67.3%、「受診したいが、受診できない」の割合が5.1%、「受診していない」の割合が23.2%となっています。



問30 病院での困りごとはなんですか。(〇はいくつでも)

病院での困りごとがある方は 24.4%、具体的には、「待合室での居場所がない、または、待合室に居づらい」の割合が 9.4%、「治療の説明がよくわからない」が 8.1%、「障害特性を理解してもらえない」が 6.9% の順に高くなっています。

一方、「特に困ったことはない」の割合は 64.5%となっています。



【歯科受診別と病院での困りごとのクロス】

歯や口の健康のことでの歯科クリニックの受診別にみると、「受診したいが、受診できない」と回答した方では、「障害特性を理解してもらえない」「待合室での居場所がない、または、待合室に居づらい」「治療の説明がよくわからない」の割合が高くなっています。

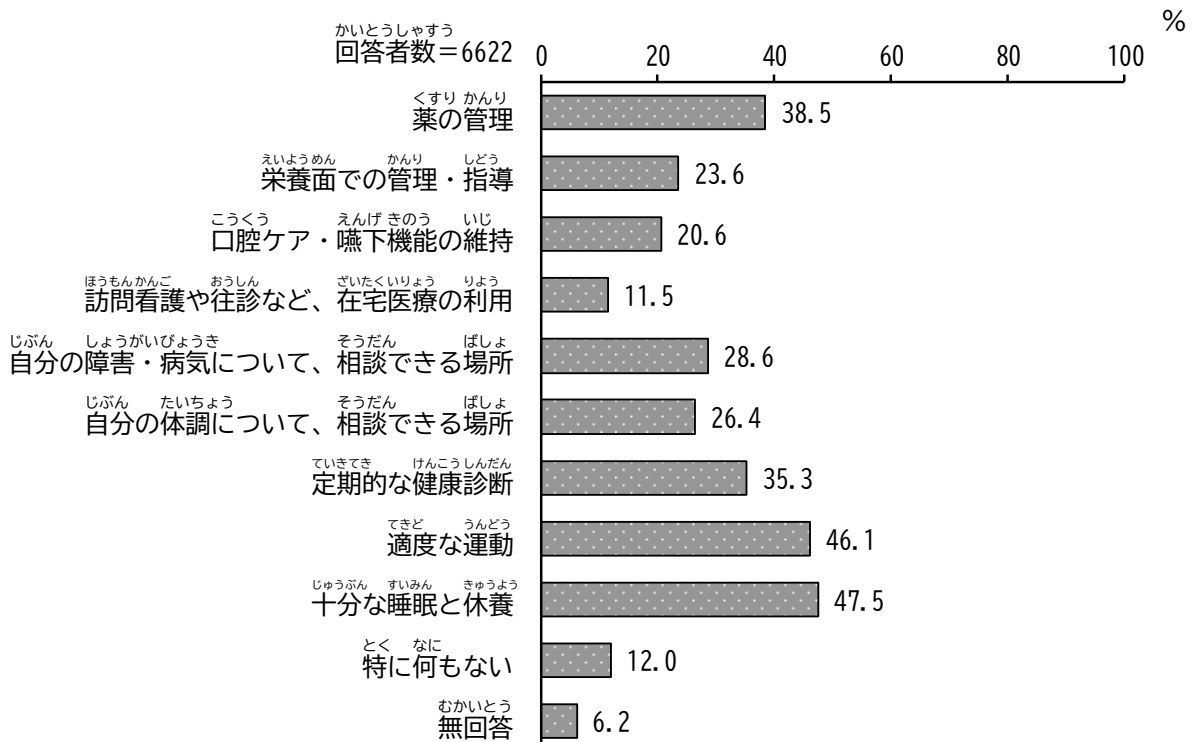
単位：%

	回答者数(件)	問30 病院での困りごと					
		筆談をしてくれないなど)	障害特性に依じたコミュニケーション手段を用意してもらえない(例えば、)	障害を理由に受診を断られる	えない	障害特性を理解してもらえない	話をきちんと聞いてもらえない
全体	6,622		3.3	2.8	6.9	3.9	9.4
問29 歯科受診 状況	受診している	4,455	3.2	2.6	6.3	3.4	8.1
	受診したいが、受診できない	339	10.6	10.6	22.1	11.5	29.8
	受診していない	1,536	2.7	2.3	6.5	4.3	10.0

		問30 病院での困りごと				
		順番を後回しにされる	障害を理由に診察のない	治療の説明がよくわからない	移動する手段がない等の理由で、病院に行くことができない	特に困ったことはない
全体		0.8	8.1	2.9	64.5	11.1
問29 歯科受診 状況	受診している	0.7	8.3	2.0	69.7	7.5
	受診したいが、受診できない	4.1	13.3	13.9	31.6	9.4
	受診していない	0.7	7.8	3.6	65.8	8.9

問31 あなたの健康・医療について、必要だと思うことはなんですか。(〇はいくつでも)

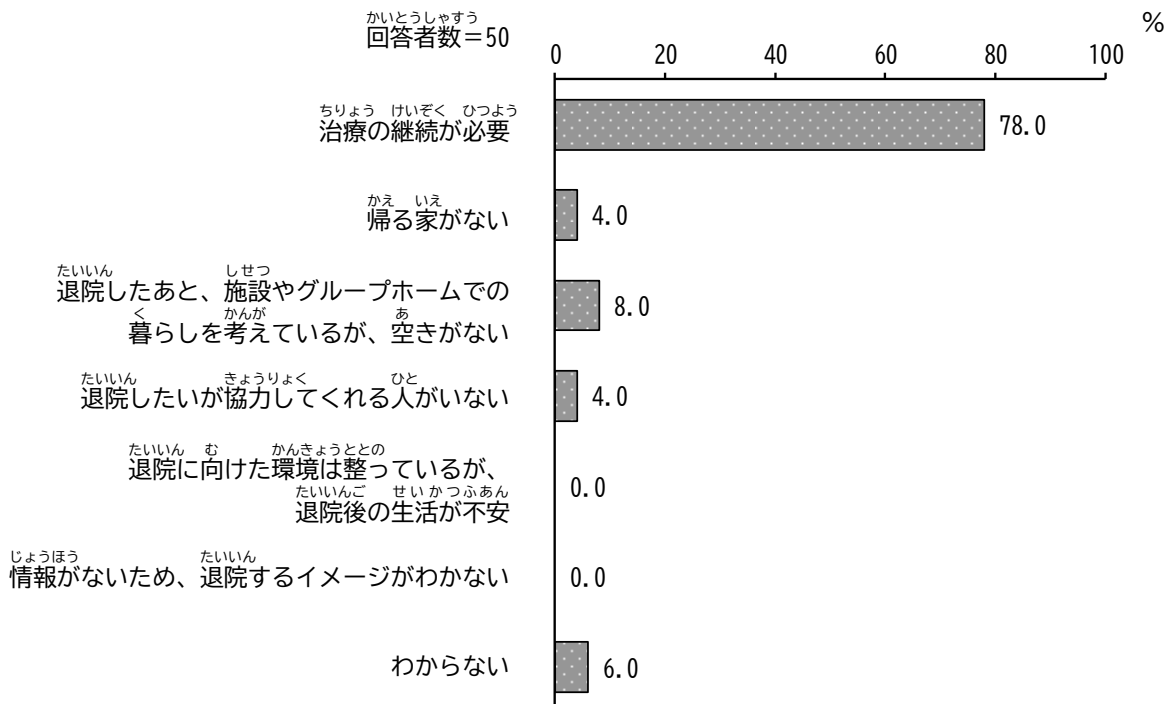
「十分な睡眠と休養」の割合が47.5%、「適度な運動」46.1%、「薬の管理」38.5%の順に高くなっています。
一方、「特に何もなし」の割合は12.0%となっています。



※1年以上、病院で過ごしている方にうかがいます。

問32 病院での生活が長くなっている理由は何のようなものですか。(〇は1つだけ)

「治療の継続が必要」の割合が78.0%と最も高くなっています。

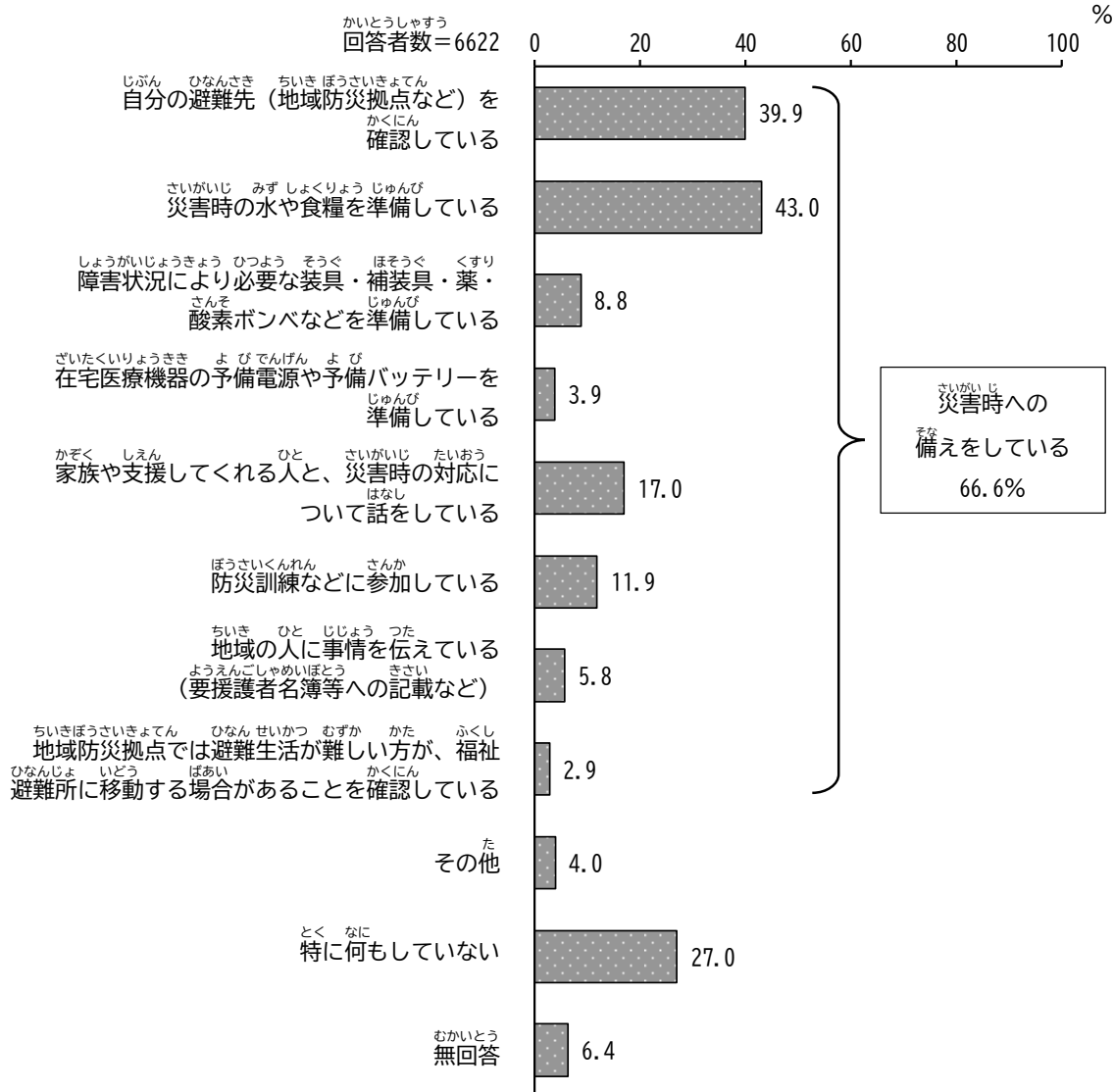


さいがいかんけい 災害関係についておたずねします

問33 さいがいじ そな 災害時への備えとして、どんなことをしていますか。(〇はいくつでも)

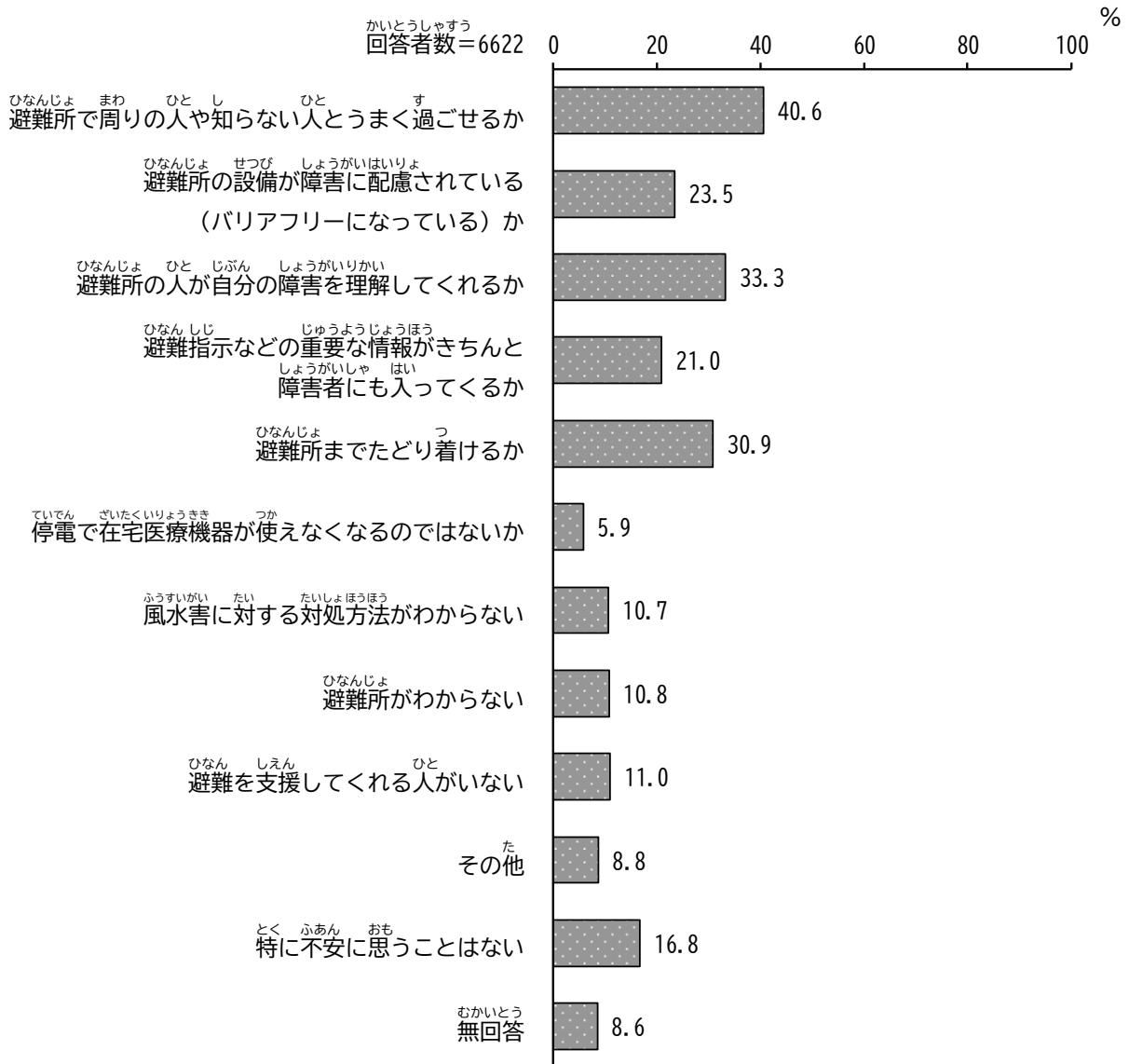
さいがいじ そな 災害時への備えをしている方は66.6%、具体的には、「さいがいじ みず しょくりょう じゅんぴ 災害時の水や食糧を準備している」の割合が43.0%、「じぶん ひなんさき ちいきぼうさいきよてん かくにん 自分の避難先(地域防災拠点など)を確認している」が39.9%、「かぞく しえん 家族や支援してくれる人と、さいがいじ たいおう 災害時の対応について、はなし 話をしている」が17.0%の順に高くなっています。

いっぼう とく なに 一方、「特に何もしていない」の割合は27.0%となっています。



問34 災害に備えていても、不安に思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

「避難所で周りの人や知らない人とうまく過ごせるか」の割合が40.6%と最も高く、次いで「避難所
の人が自分の障害を理解してくれるか」の割合が33.3%、「避難所までたどり着けるか」の割合が
30.9%となっています。



その他、自由意見など

【問35】 このアンケートで、「その他」や選択肢に当てはまるものがなかったもの、問にはないけれど伝えたいことや、横浜市の障害福祉の取組についてのご意見・ご要望があれば、ご自由にお書きください。

アンケート調査票の自由記述欄において、多数の意見を寄せていただきました。

具体的に設問番号を記載されたもののうち、同じ趣旨のご意見をまとめて掲載します。掲載に際しては、文言の体裁を整えるため、原文そのままではありません。また、個人情報や個人が特定されるおそれがある内容は除いて掲載しています。

【問1】 アンケートの代筆や記入のサポートが必要な理由

- ・ 意思表示はできるが、質問の理解が困難な場合は説明をしながら、聞きとりをしました。
- ・ 1問ずつ長時間熟考するので時間がかかりました。
- ・ 視力が落ちて読解に支障があるためです。

【問12】 日常生活（移動や家事など）で困ること

- ・ 字が読みづらいため、買い物や外出時は大変で時間がかかります。間違えてしまうこともあります。拡大鏡やスマホの拡大鏡アプリは必須です。
- ・ 人混みや初めて訪問する場所。
- ・ 食べることはできるが声をかけないと食べ始めず、着ることはできるがえらべないです。

【問13】 意思の疎通について

- ・ 言葉が聞きとりづらく相手に理解してもらえないことが多いです。
- ・ 伝えることが上手くできないこともある。
- ・ 相手の方がマスクをしていると理解がむずかしい時があります。
- ・ 相手の方の声の質によって聞き取りにくい場合があります。
- ・ 耳の近くで会話をしています。

【問14】 生活上の不満や相談ごと

- ・ 障害者雇用の求人は短時間勤務や有期雇用などが多く、今の収入では生活が苦しく将来が不安です。職場も障害者を雇っているだけでひとりひとりを評価してくれない。障害者を一括りにしないで個人として尊重されたい。
- ・ どこへ相談したらよいのか、どのような情報があるのか見える化してほしいです。（専用のweb pageを作ってそのpageへアクセスすれば、すべての情報が入っているようにしてほしい）
- ・ 若かったり、外見からでは障害があると分からない場合、椅子にかけたり、休める場所が増えるとありがたいです。
- ・ 子どもの特性、個性に合う施設に巡り合うことの難しさを感じています。文字情報として持っている子どもは通えるのか、から始まり、親は良くて、子どもはどうなんだろうと、問い合わせ前の

気持ちづくりがすごく気が重く、地区センターなどに出前体験ができる機会や、合同説明会などでマッチングを支援してほしいです。

【問15】交通機関や外出時における危険・困難

- ・歩道を歩いているとしばしば、自転車（電動付き）が猛スピードで前から後からも走ってくるのが怖いです。
- ・電車やバスが止まったりした時、車内にアナウンスが流れるが、難聴者は聞こえないため情報が得られず困ります。車内のテロップなどにも同時に表示するようにして頂きたいです。
- ・電車の優先席 優先される事はほとんどないです。
- ・障害者用のエリアに健全者が混雑のため利用している場合があり、いつでも使える状況ではありません。
- ・どのタクシーでも、いつでも車いすのまま乗れるタクシーにしてほしいです。

【問16】障害福祉にかかわる情報の入手方法

- ・障害福祉のあんないも読んでいますが、文字ばかりで読みにくいです。もっと分かりやすく、情報を広めてもらえれば、「初めて知った」「もっと早く知れたかった」ということが減らせると思います。身体障害や知的障害、子どもの障害福祉に関する情報の方が、市の広報やHPにたくさん載っているように思います。簡単に福祉や支援サービスの情報にアクセスできるように市のHPを改良してほしいです。

【問22】福祉特別乗車券について

- ・紙の乗車券でなく、自動改札口を使えるようにしてほしい。自分のSuicaに紐付け出来たらなお良い。駅員さんのいる改札口で紙の乗車券を見せるのは、他人の目も気になるし、緊張するので嫌です。
- ・電車は地下鉄とシーサイドラインしか利用できない。相鉄、京急、JRも利用できるようにしてほしいです。
- ・福祉特別乗車券は毎年利用しています。大変有り難く思っています。地下鉄バスと少し遠出も出来ます。これからも継続して下さい。
- ・乗車券を使うと全く運動しなくなるので、歩くようにしています。

【問24】余暇の過ごし方や情報アクセス

- ・家の周りを散歩や運動。
- ・テレビDVDの視聴。
- ・スポーツクラブのスクール(かけっこ教室)。

【問25】 仕事や就労に関する状況と希望

- ・ 自宅で自由な時間に仕事をしたいです。
- ・ 6時間の就労がほとんどで、8時間働くことが出来ないのが困りごとです。(パートアルバイトの仕事が多く収入としては健康で文化的な生活を営むには少ない賃金です。)
- ・ 外見では、私の障害は分かりにくいので、仕事をしていても(障害のことを伝えていても)健聴者と思われ、仕事がなかなかスムーズにいくことが少ないです。
- ・ 病気で障害者になった直後のフォローがほしかったです。仕事が見つかるまで、又はそのままその職場で働く事ができる様手続き、アドバイスがあるとうれしかった。

【問30】 病院受診時の困りごと

- ・ 待ち時間が長い。
- ・ いつ自分の名前が呼ばれるのか聞きもらしてはいけないと思い、ストレスがたまります。
- ・ 自分の症状を医師に上手く伝えられないです。
- ・ 対応してくれる歯科はなかなか無く、何件も断られてしまう。

【問34】 災害時の備えや不安

- ・ 災害時に、心だん飲んでる薬が切れなにか心配です。
- ・ トイレの確保ができるか心配です。
- ・ 多くの人が集まる場や、知らない人が集まる場にとっても強い緊張と不安があるので、その精神的な部分からトイレに行く事が出来なくなってしまいます。
- ・ 避難所で内部障害だと、周りから見たら要支援者と見られず、また自分からも伝えづらいので無理をしてしまいそう。
- ・ 人工内耳を使用しているので、バッテリーが切れた際、充電する電源が無くなった場合には、通常のコミュニケーションが取れなくなる不安があります。